



Quality **Forward**

# ユーザマニュアル

VERISERVE

最終更新日 : 2023/07/31

# 目次

第 1 章 はじめに.....	11
1.1. テスト管理クラウド QualityForward.....	11
1.2. サポート環境 .....	11
ブラウザ.....	11
外部連携.....	11
第 2 章 テナント管理.....	12
2.1. テナント設定の変更.....	12
2.1.1. 表示言語設定.....	12
2.1.2. IP アドレス制限 .....	13
2.1.3. BASIC 認証.....	13
2.1.4. パスワードの有効期限 .....	13
2.1.5. 自動ログアウト.....	13
第 3 章 ユーザ管理.....	15
3.1. ユーザサインイン.....	15
3.1.1. パスワード再設定 .....	16
3.1.2. アカウントロックの解除 .....	17
3.2. ユーザ管理 .....	18
3.2.1. ユーザを招待する .....	18
3.2.2. ユーザをテナントから削除する .....	22
3.3. ユーザ設定を変更する.....	23
3.3.1. プロフィール設定を変更する.....	23
3.3.2. 言語設定を変更する .....	24

3.3.3.	パスワードを変更する .....	25
3.4.	テナントを切り替える .....	26
3.5.	アクセス権限を付与する .....	27
3.5.1.	アクセス権限一覧 .....	27
3.5.2.	テナントのユーザ権限を変更する .....	29
3.6.	テナントの使用量 .....	31
3.7.	お知らせを見る .....	32

## 第 4 章 初期設定..... 33

4.1.	新規プロジェクトを作成する .....	34
4.1.1.	プロジェクトの基本設定 .....	34
4.2.	プロジェクトのユーザ管理 .....	35
4.2.1.	プロジェクトにユーザを追加する .....	35
4.2.2.	プロジェクト参加ユーザの権限を変更する.....	37
4.3.	プロジェクト設定を変更・削除する.....	38
4.3.1.	プロジェクト設定を変更する.....	38
4.3.2.	祝日を設定する .....	39
4.3.3.	法定祝日を一括登録する .....	41
4.3.4.	テストブロッカーを設定する.....	43
4.3.5.	テストスイートのデフォルト項目ラベルを設定する .....	43
4.3.6.	テスト結果部のデフォルト項目ラベルを設定する .....	44
4.3.7.	テスト結果補足を設定する.....	45
4.3.8.	テスト結果のラベルを設定する .....	46
4.3.9.	進捗の対象から除外する .....	47
4.3.10.	実行の対象から除外する .....	48
4.3.11.	BTS 連携のデフォルト値を指定する.....	49

4.3.12.	API キーを発行する .....	50
4.3.13.	プロジェクトを複製する .....	51
4.3.14.	プロジェクトをアーカイブする .....	52
4.3.15.	プロジェクト設定を削除する .....	54

## 第 5 章 進捗管理..... 56

5.1.	ダッシュボード .....	56
5.1.1.	本日の実績消化数（プロジェクト全体） .....	56
5.1.2.	本日の予測消化数 .....	57
5.1.3.	本日の実績消化数 .....	57
5.1.4.	フェーズ一覧 .....	58
5.1.5.	フェーズ毎の本日の予測消化数 .....	58
5.1.6.	フェーズ毎の本日の実績消化数 .....	58
5.1.7.	成分バーと期限バー .....	59
5.1.8.	前日のデータを見る .....	59
5.2.	ワークスペースで自分のタスクを確認する .....	60

## 第 6 章 テストケースの管理..... 62

6.1.	テスト要求ツリーを利用する .....	62
6.1.1.	要求ツリーを作成する .....	62
6.1.2.	ツリーを編集する .....	63
6.1.3.	テストスイートと要求ツリーを紐付ける .....	65
6.1.4.	テストの実装状況を確認する .....	67
6.1.5.	紐付けられたテストスイートを確認する .....	68
6.2.	テストスイートを作成する .....	69
6.2.1.	テストスイートの基本設定 .....	69

6.2.2.	テスト定義の項目を設定する.....	70
6.2.3.	カバレッジパネルの集計に利用する項目設定.....	71
6.2.4.	テスト結果の自由項目を設定する.....	72
6.2.5.	テストブロッカーの集計に利用する項目を指定する.....	74
6.2.6.	初期バージョンを設定する.....	75
6.2.7.	ファイルを添付する.....	76
6.2.8.	テストスイートを検索する.....	77
6.2.9.	テストスイートの装飾形式設定.....	79
	テストケースのデフォルト装飾形式設定方法.....	80
6.3.	テストケース取込.....	80
6.3.1.	テストケース取込.....	81
	列の追加.....	84
6.4.	Excel インポート.....	85
6.4.1.	Excel インポート.....	86
6.5.	テストケース作成.....	90
6.5.1.	オンライン編集.....	90
6.5.2.	テストケース編集画面上にコメントを表示する.....	93
6.6.	テストスイート設定を変更・削除する.....	93
6.6.1.	テストスイート設定を変更する.....	94
6.6.2.	テストスイートをアーカイブする.....	94
6.6.3.	テストスイートを削除する.....	95
6.6.4.	テストフェーズとの紐付けの解除方法.....	96
6.7.	テストスイートにヘッダを追加する.....	99
6.8.	新しいバージョンのテストスイートを作成する.....	101
6.8.1.	新しいバージョンの基本設定.....	101
6.8.2.	テストスイートバージョンにタグ付けをする.....	103

6.8.3.	テストスイートバージョンのステータスを設定する .....	105
6.9.	テストスイートバージョン設定を変更・削除する .....	105
6.10.	テストスイートをロックする .....	106
6.11.	テストスイートをダウンロードする.....	108
6.12.	カバレッジパネルを利用する .....	109
6.13.	テストスイートにコメントを残す .....	111
6.14.	テストスイートのレビューのワークフロー .....	113
6.14.1.	レビュー依頼を送る .....	113
	レビュー依頼者の操作.....	113
	レビュワーの操作.....	115
6.15.	テストスイートの差分確認 .....	116

## 第 7 章 テストフェーズの管理..... 118

7.1.	テストフェーズを作成する .....	118
7.1.1.	テストフェーズの基本設定.....	118
7.1.2.	対象のテストスイートバージョンを設定する.....	119
7.2.	BTS 連携を行う .....	120
7.3.	欠陥予測を管理する.....	121
7.3.1.	欠陥予測を入力する .....	121
7.4.	テストフェーズ設定を変更・削除する.....	122
7.4.1.	テストフェーズ設定を変更する .....	122
7.4.2.	テストフェーズをアーカイブする .....	123
7.4.3.	テストフェーズを削除する.....	124

## 第 8 章 テストサイクルの管理..... 125

8.1.	テストサイクルを作成する .....	125
8.2.	テスト実施時に自動入力される値を設定する .....	127

8.3.	テスト結果欄の検証設定をする .....	128
8.4.	進捗予測を管理する .....	129
8.4.1.	進捗予測を入力する .....	129
8.4.2.	進捗予測設定を初期化する .....	131
8.5.	テストサイクル設定を変更・削除する .....	131
8.5.1.	テストサイクル設定を変更する .....	131
8.5.2.	テストサイクルを削除する .....	132
8.6.	テストサイクルをエクスポートする .....	132
8.7.	テストサイクルの再テストを行う .....	133
8.8.	テストサイクルの進捗情報をコピーする .....	135
8.9.	アサイン表でテスト担当者を管理する .....	136

## 第 9 章 マルチサイクルの管理.....137

9.1.	マルチサイクルを作成する .....	137
9.2.	テスト実施時に自動入力される値を設定する .....	139
9.2.1.	環境を追加する .....	140
9.3.	進捗予測を管理する .....	140
9.3.1.	進捗予測を入力する .....	140
9.3.2.	進捗予測設定を初期化する .....	141
9.4.	マルチサイクルの環境を管理する .....	142
9.4.1.	環境設定を変更・削除する .....	142
	環境設定を変更する .....	142
	環境を削除する .....	143
9.5.	マルチサイクル設定を変更・削除する .....	145
9.5.1.	マルチサイクル設定を変更する .....	145
9.5.2.	マルチサイクルを削除する .....	146

## 第 10 章 テスト実行管理.....149

10.1. テストサイクルを実行する .....	149
10.1.1. 実行対象外の結果を入力する.....	151
10.1.2. テスト実行画面上にコメントを表示する .....	152
10.2. テスト結果にファイルを添付する .....	153
10.3. テストを実行しながら BTS に起票する.....	154
10.4. 文字列の配置を変更する .....	155
10.5. 列の表示・非表示を切り替える .....	155
10.6. テスト結果補足の設定内容を確認する.....	157
10.7. テストケースを編集する .....	158
10.8. テスト結果をエクスポートする .....	159
10.9. テスト結果をインポートする .....	161
10.10. 掲示板でテスト状況の報告を行う.....	163
10.11. レビューのワークフロー .....	164
10.11.1. レビューを依頼する .....	164
10.11.2. レビュー依頼を差し戻す.....	166
10.11.3. レビューを完了する .....	168
10.12. テストサイクルの状態を変更する.....	170
10.13. 関連ファイルを確認する .....	171
10.14. テストの実行時間を確認する.....	171
10.15. 更新履歴管理.....	172

## 第 11 章 マルチサイクルの実行管理.....173

11.1. マルチサイクルを実行する .....	173
11.1.1. テスト実行画面上にコメントを表示する .....	174

11.2.	テスト結果にファイルを添付する .....	175
11.3.	テストを実行しながら BTS に起票する.....	176
11.4.	文字列の配置を変更する .....	177
11.5.	列の表示・非表示を切り替える .....	177
11.6.	テスト結果補足の設定内容を確認する.....	179
11.7.	テストケースを編集する .....	180
11.8.	掲示板でテスト状況の報告を行う .....	181
11.9.	レビューのワークフロー .....	182
11.9.1.	レビューを依頼する .....	183
11.9.2.	レビュー依頼を差し戻す .....	184
11.9.3.	レビューを完了する .....	186
11.10.	マルチサイクルの状態を変更する.....	187
11.11.	関連ファイルを確認する .....	188

## 第 12 章 レポート管理.....189

12.1.	プロジェクト全体のレポート .....	189
12.1.1.	収束曲線（総数） .....	189
12.1.2.	収束曲線（変動） .....	190
12.1.3.	テストケース総数を確認する.....	191
12.1.4.	プロジェクト全体のカバレッジパネル .....	192
12.1.5.	フェーズ一覧.....	194
12.1.6.	プロジェクトのイベント設定.....	194
12.2.	フェーズごとレポート.....	195
12.2.1.	フェーズごとのカバレッジパネル.....	195
12.2.2.	収束曲線（総数） .....	197
12.2.3.	収束曲線（変動） .....	198

12.2.4.	テストフェーズのテストケース総数を確認する .....	199
12.2.5.	チャートにフィルタをかける .....	200
12.2.6.	フィルタ設定を変更・削除する .....	202
12.2.7.	欠陥実績数を CSV で登録する .....	203
12.2.8.	過去の進捗実績結果を編集する .....	206
12.2.9.	テストフェーズのイベント設定 .....	208
12.2.10.	全欠陥情報の上書き同期 .....	209
12.2.11.	進捗の内訳 .....	210
12.2.12.	最近のインシデント .....	210
12.2.13.	バグ優先度別チャート .....	211
12.2.14.	ステータス別チャート .....	212
12.2.15.	テストブロッカーを確認する .....	213
12.2.16.	実績推移表 .....	214
12.2.17.	実績推移表をエクスポートする .....	215
12.3.	レポート設定 .....	216
12.3.1.	フッターのラベルを変更する .....	216
12.3.2.	レポートのラベルを変更する .....	217

## 第 13 章 チーム Wiki の管理.....220

13.1.	チーム Wiki の作成 .....	220
13.1.1.	ページを新規作成する .....	220
13.1.2.	ファイルを添付する .....	221
13.1.3.	ページを追加する .....	222
13.2.	チーム Wiki を編集・削除する .....	223
13.2.1.	ページを編集する .....	223
13.2.2.	ページを削除する .....	224

## 第 14 章 アラートセンターを利用する .....225

14.1. アラートを設定する.....	225
14.1.1. レビュー依頼時、テスト結果に空欄が残っている際に検知する.....	225
14.1.2. レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている際に検知する.....	227
14.1.3. テストフェーズの進捗に遅れがある際に検知する.....	228
14.2. アラートをアーカイブする.....	229

# 第1章 はじめに

このたびは、ベリサーブのクラウド、QualityForward へご興味をもってください誠にありがとうございます。本章では QualityForward をご利用いただく際に必要な基本情報をご説明します。

## 1.1. テスト管理クラウド QualityForward

QualityForward は高度なテストサービスを日々提供し、産学連携の技術開発にも貢献し続けるベリサーブのクラウドテスト管理サービスです。

現場の管理・分析・設計ノウハウ、および研究機関との共同開発の成果を、クラウド、そしてエンジニアを通じて、ご活用いただけます。

## 1.2. サポート環境

本節では、QualityForward がサポートするブラウザ、外部連携について説明します。

### ブラウザ

ブラウザ	備考
Google Chrome 最新版 (推奨)	
Microsoft Edge 最新版	

### 外部連携

Redmine 又は JIRA と同期することで、バグのオープンクローズチャートを QualityForward 上で確認することが可能です。

BTS	サポートバージョン	備考
Redmine	2.0 以上	Redmine の REST API を利用します
JIRA	7.0 以上	JIRA の REST API を利用します

## 第2章 テナント管理

本章ではテナント設定の管理について説明します。

### 2.1. テナント設定の変更

テナント管理者権限を持つユーザはテナントに関する設定を変更することができます。変更はテナントのトップ画面上部の“テナント設定”ボタンを押します。

The screenshot shows the QualityForward interface for tenant management. At the top right, there is a logo and user information. Below that, the page title is 'サンプルテナント'. There are three main buttons: 'テナントユーザ管理', 'テナント使用量確認', and 'テナント設定', which is highlighted with a red box. Below the buttons, there is a status bar indicating '現在4人登録中で、2人が承認待ちです'. The main section is titled 'プロジェクト一覧' and includes a '+プロジェクト追加' button. There are filters for 'アクティブ 1' and 'アーカイブ 0'. A search bar is present with the text '名前で検索' and a '検索' button. Below the search bar is a table with the following data:

プロジェクト名 ▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
サンプルプロジェクト	4件	3件	2人

#### 2.1.1. 表示言語設定

テナントごとに表示言語の設定を変更することができます。表示言語はユーザごとに設定することも可能です。(ユーザごとの設定については手順 [3.3.2](#) をご覧ください。)

The screenshot shows the 'テナント設定' (Tenant Settings) page. The '基本設定' (Basic Settings) section is active. Under '表示言語' (Display Language), there is a dropdown menu currently showing '日本語'.

## 2.1.2. IP アドレス制限

指定した IP アドレスからのみ接続を許可する設定ができます。IP アドレスはカンマ区切りで複数の指定が可能です。設定時は自身が接続している IP アドレスを含める必要があります。

### IPアドレス制限

許可する接続元IPアドレス帯

## 2.1.3. BASIC 認証

ログイン時に二段階認証をかけることができます。“BASIC 認証を有効にする”のチェックを有効にし、任意の ID/パスワードを指定してください。

### BASIC認証

BASIC認証を有効にする

ID

パスワード

## 2.1.4. パスワードの有効期限

パスワードに有効期限を設けることができます。有効期限を過ぎてアクセスしたユーザはパスワード変更画面へ遷移します。

### パスワードの有効期限

パスワードの期限を有効にする

有効期限 (日数)

## 2.1.5. 自動ログアウト

テナントにログイン後、操作を行わずに 90 分が経過すると自動的にログアウトされる設定です。デフォルトは全てのテナントで有効になっています。

## 自動ログアウト

自動ログアウトを有効にする

更新する

# 第3章 ユーザ管理

本章では、ユーザ情報の管理について説明します。

## 3.1. ユーザサインイン

(1) トップ画面のログインをクリックします。



(2) 招待を承認済みのメールアドレスとパスワードを入力してサインインボタンを押します。

サインイン

メールアドレス

パスワード

半角英数記号8文字以上

[サインイン](#)

[パスワードをお忘れの場合](#)

### 3.1.1. パスワード再設定

パスワードを忘れてしまった場合はパスワードの再設定が必要です。ここでは、パスワードを再設定する方法を説明します。

- (1) サインイン画面より、“パスワードをお忘れの場合”をクリックしてください。



The screenshot shows a login form with the following elements:

- サインイン
- メールアドレス
- パスワード (with a note: 半角英数記号8文字以上)
- サインイン button
- ④パスワードをお忘れの場合 (highlighted with a red box)

- (2) パスワードを再設定したいアカウントのメールアドレスを入力し、パスワード再発行ボタンを押します。パスワード再設定のためのメールが入力されたメールアドレス宛に送付されます。



The screenshot shows a form titled "パスワードの再発行" with the following elements:

- メールアドレス
- パスワード再発行 button

- (3) 送信されたメールから、パスワード再設定のための URL をクリックします。



The screenshot shows an email with the following content:

- qualityf.user@gmail.comさん
- 以下のURLからパスワードの再設定を行えます。
- [https://aegis-staging.n2jk-apps.com/users/password/edit?reset\\_password\\_token=MhiJ44](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/users/password/edit?reset_password_token=MhiJ44) (highlighted with a red box)
- パスワードの再設定をリクエストした覚えのない方は、このメールを破棄して下さい。
- あなたが上記のURLにアクセスしない限り、パスワードの再設定は行われません。
- QualityForward  
<https://aegis-staging.n2jk-apps.com/>
- ※本メールは送信専用のメールアドレスから送信されているため返信はできません

- (4) パスワード欄と確認用パスワード欄に新しく設定したいパスワードを入力し、“パスワード

変更”ボタンを押します。



パスワードの変更

パスワード

確認用パスワード

パスワード変更

### 3.1.2. アカウントロックの解除

ログインに 5 回以上失敗した場合、アカウントにロックがかかります。ロックのかかったアカウントはユーザ名に🔒マークが付きます。テナント管理者がロックを解除することができます。

- (1) テナント管理者でログイン後、画面右上の“テナントのユーザ管理”ボタンをクリックします。



QualityForward

サンプルテナント

テナントユーザ管理

テナント使用量確認

テナント設定

現在4人登録中で、2人が承認待ちです

プロジェクト一覧

アクティブ 1

アーカイブ 0

名前を検索

検索

プロジェクト名 ▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
サンプルプロジェクト	4件	3件	2人

- (2) ロックのかかったアカウントの下に表示されている“ロックを解除”をクリックします。



🔒 QFuser6

🔓 ロックを解除

🔧 権限設定

- (3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

QFuser41さんのロックを解除してもよろしいですか？

OK

キャンセル

## 3.2. ユーザ管理

現状の QualityForward ではユーザは所属するプロジェクト以下の、テストフェーズ、サイクルに対し読み込み・書き込みの権限を持ちます。テスト業務をスムーズに遂行するために、プロジェクトに所属する要員であれば誰でも自由に資料にアクセスできた方が良く、という考え方が背景にあります。所属しないプロジェクトに関しては、読み込み・書き込みのどちらも行うことができません。

### 3.2.1. ユーザを招待する

ゲストがユーザとしてサインインを行うには、ユーザの招待が必要です。通常、招待されたユーザはいずれかのテナントに属します。ユーザの招待はテナント管理者権限を持つユーザのみが行え、プロジェクト管理者または一般ユーザは新たにユーザを招待することができません。本項ではテナント管理者が新しくユーザを招待する方法を説明します。

- (1) テナント管理者でログイン後、画面右上の“テナントのユーザ管理”ボタンをクリックします。

QualityForward

## サンプルテナント

テナントユーザ管理   テナント使用量確認   テナント設定

現在4人登録中で、2人が承認待ちです

### プロジェクト一覧

▶ アクティブ 1   ◻ アーカイブ 0

名前を検索   検索

プロジェクト名 ▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
サンプルプロジェクト	4件	3件	2人

(2) テナントのユーザー一覧の右上にある“ユーザ招待”ボタンを押します。

### サンプルテナントテナントのユーザー一覧

+ ユーザ招待

メールアドレスで検索   検索

名前	メールアドレス	最終ログイン日時
<small>テナント管理者</small> <small>承認済</small> QFuser21	qualityf.user+21@gmail.com	2019/11/14 19:11

権限設定   スイート一覧   テナントから外す

(3) 招待したいユーザのメールアドレスを入力します。メールアドレスをカンマ区切りで入力することで複数のユーザを同時に招待することも可能です。

### 新規ユーザの招待

#### 基本設定

**必須** メールアドレス

sample1@example.com,sample2@example.com

テナントの権限

テナント権限なし

#### 既存プロジェクトへの追加

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 追加	<input type="checkbox"/> 管理者として追加
サンプルプロジェクト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

招待メールを送る

基本設定

必須 メールアドレス

sample@xxxxx.com,sample@xxxxx.co.jp,aaa@xxxxx.com

(4) ユーザを招待する際に、テナント管理権限の有無を選択することができます。

新規ユーザの招待

基本設定

必須 メールアドレス

sample1@example.com,sample2@example.com

テナントの権限

テナント権限なし

テナント権限なし

テナント権限あり

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 追加	<input type="checkbox"/> 管理者として追加
サンプルプロジェクト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

招待メールを送る

(5) テナント管理権限がなしの場合、参加させるプロジェクトの選択ができ、プロジェクト管理者としての権限を与えることもできます。各権限での実行可能な機能については、手順 [3.5](#) をご覧ください。

招待するユーザにプロジェクト管理者としての権限を与えたい場合は、管理者のチェックボックスにチェックを入れます。

管理者権限が不要な場合は、参加のチェックボックスにのみチェックを入れます。管理者権限は後から変更することができます。

既存プロジェクトへの追加

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 追加	<input type="checkbox"/> 管理者として追加
サンプルプロジェクト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

招待メールを送る

(6) 招待メールを送るボタンを押します。

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 追加	<input type="checkbox"/> 管理者として追加
サンプルプロジェクト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

**招待メールを送る**

※テナントの権限で“テナント権限あり”を選択している場合、プロジェクト設定は表示されません。

テナントの権限

テナント権限あり

既存プロジェクトへの追加

すべてのプロジェクトの管理権限が付与されます

(7) 入力したメールアドレス宛に招待メールが送信されます。招待メールから、招待を承認するための URL をクリックします。

【QualityForward】 招待を承認するには 受信トレイ x

no-reply@cloud.veriserve.co.jp 3月13日 (10 日前) ☆

To 自分

こんにちは、[redacted] さん

<https://aegis-staging.n2jk-apps.com/> に招待されました。以下のリンクから承認できます。

[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/users/invitation/accept?invitation\\_token=1UoYezZB45kwsZrbEEYQ](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/users/invitation/accept?invitation_token=1UoYezZB45kwsZrbEEYQ)

招待を承認しない場合は、このメールを無視してください。  
あなたのアカウントは上記のリンク先にアクセスしパスワードを設定するまでは作成されません。

QualityForward  
<https://aegis-staging.n2jk-apps.com/>

(8) 名前とパスワードを入力し、続けるボタンを押します。

名前とパスワードの設定

\*名前

パスワード

確認用パスワード

※本画面で設定したお名前が、テスト結果のテスター欄に記入されます。お名前、メールアドレス、パスワードは後から変更可能です。

※招待メールを紛失した際はテナントのユーザ管理画面から招待 URL の再生成が可能です。

一般ユーザ 未認証  
**【名前未設定】**

### 3.2.2. ユーザをテナントから削除する

登録ユーザのアカウントを削除する方法について説明します。

- (1) テナント名横の“テナントのユーザ管理”ボタンをクリックします。

QualityForward

サンプルテナント

現在4人登録中で、2人が承認待ちです

プロジェクト一覧

▶ アクティブ 1

名前検索

プロジェクト名 ▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
サンプルプロジェクト	4件	3件	2人

- (2) 一覧から、停止するユーザのメールアドレス横にあるテナントから外すボタンを押します。

※ユーザはメールアドレス・権限でフィルタリングすることができます。

サンプルテナントテナントのユーザー一覧 + ユーザ招待

メールアドレスで検索 テナントの権限 全て 検索

名前	メールアドレス	権限	登録	最終ログイン日時 ▲	所属プロジェクト数	
QF太郎	qualityf.user+6@gmail.com	認証済		2022/12/26 10:26	1	<span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">自テナントから外す</span>

- (3) 停止の確認メッセージダイアログボックスが表示されたら OK ボタンを押します。

QFuser21さんをテナントから外してもよろしいですか？

OK キャンセル

## 3.3. ユーザ設定を変更する

ユーザ毎にアカウントの設定を変更することができます。

### 3.3.1. プロフィール設定を変更する

以下の手順でユーザの名前、メールアドレスの変更ができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“ユーザ設定”をクリックします。

QualityForward

ご利用中のテナント  
サンプルテナント

テナントの切り替え

ユーザ設定

サインアウト

- (2) 変更したい名前またはメールアドレスを入力します。



プロフィール設定

**必須** 名前  
QF太郎

**必須** メールアドレス  
xxxxxxx@sample.co.jp

プロフィール画像  
Q  
ファイルを選択 選択されていません

更新する

- (3) “ファイルを選択”ボタンを押し、プロフィールに設定したい画像を選択します。



プロフィール設定

**必須** 名前  
QF太郎

**必須** メールアドレス  
xxxxxxx@sample.co.jp

プロフィール画像  
Q  
**ファイルを選択** 選択されていません

更新する

- (4) 変更したい箇所の入力を終わったら更新するボタンを押します。

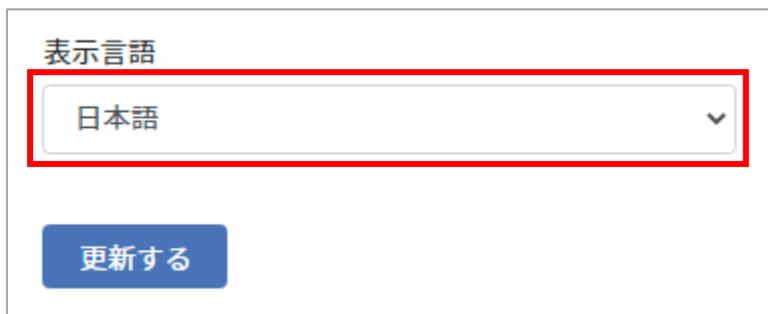
### 3.3.2. 言語設定を変更する

テナントの言語設定とは別に、個人で言語の設定を行うことができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“ユーザ設定”をクリックします。



(2) 表示言語で「日本語」または「英語」を選択します



(3) 言語を選択したら更新するボタンを押します。

※ユーザの言語設定を行わない場合、テナントの言語設定が反映されます。

### 3.3.3. パスワードを変更する

以下の手順でパスワードの変更ができます。

(1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“ユーザ設定”をクリックします。



- (2) 現在のパスワードと新しいパスワードを入力し、更新するボタンを押します。

A screenshot of a password change form titled "パスワード変更". It contains three input fields, each with a red "必須" (Required) label. The first field is labeled "現在のパスワード" (Current Password). The second field is labeled "パスワード" (Password) and has a placeholder text "半角英数記号8文字以上" (8 or more alphanumeric characters). Below this field is a small note: "パスワードの強度が色で表示されます。安全に利用するために緑色にするのがお薦めです。" (Password strength is displayed by color. It is recommended to use green for safe use). The third field is labeled "確認用パスワード" (Confirmation Password) and has a placeholder text "もう一度入力してください" (Please enter again). At the bottom of the form is a blue button labeled "更新する" (Update).

## 3.4. テナントを切り替える

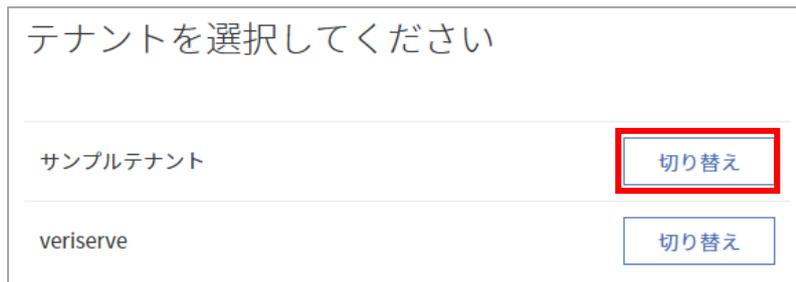
複数テナントに属するユーザはログインした状態でテナントを切り替えることができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントの切り替え”をクリックします。

※ユーザが属するテナントがひとつの場合、テナント切り替えメニューは表示されません。



(2) 切り替えたいテナント名の右側にある“切り替え”ボタンを押します。



## 3.5. アクセス権限を付与する

ユーザの権限レベルにより、ユーザをテナントへ招待したり、プロジェクトへの招待・管理者設定を行うことができます。

### 3.5.1. アクセス権限一覧

それぞれの権限での実行可能機能は以下の通りです。

テナントの管理に関する権限

	テナント管理者	プロジェクト管理者	一般ユーザ
ユーザの招待・削除	○	×	×
ユーザ権限の変更	○	×	×
テナントのユーザ数と結果数の確認	○	×	×

### プロジェクトの管理に関する権限

	テナント管理者	プロジェクト管理者	一般ユーザ
既存ユーザへのプロジェクト管理者権限の付与・はく奪	○	○	×
プロジェクトへのユーザの追加	○	○	×
プロジェクトの作成・削除	○	×	×
プロジェクトの複製	○	×	×
プロジェクトのアーカイブ	○	×	×
プロジェクトのAPIキー生成	○	○	×

### 各機能に関する権限

	テナント管理者	プロジェクト管理者	一般ユーザ
テナントのユーザ管理	○	×	×
テナントの使用量閲覧	○	×	×
プロジェクトの作成	○	×	×
プロジェクト設定の変更	○	○	○
プロジェクトの削除	○	×	×
APIキー生成	○	○	×
プロジェクトのアーカイブ	○	×	×
プロジェクトのユーザ管理	○	○	×
テストスイートの作成	○	○	○
テストスイートのアーカイブ	○	○	×
テストスイートバージョンのロック	○	○	×
テストフェーズの作成	○	○	○
テストフェーズ設定の変更	○	○	○
テストフェーズのアーカイブ	○	○	×
テストフェーズの削除	○	○	×
テストサイクルの作成	○	○	○
テストサイクル設定の変更	○	○	○
テストサイクルの状態変更	○	○	×
テストサイクルの削除	○	○	×
テストサイクルのコメント削除	○	○	×
アラートセンターの設定	○	○	×
アラートのアーカイブ	○	○	×

## 3.5.2. テナントのユーザ権限を変更する

ユーザの権限が「テナント管理者」の場合、他のユーザに対しテナント管理者権限の付与または一般ユーザへの変更を選択できます。各権限での実行可能な機能については、手順 [3.5](#) をご覧ください

さい。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントのユーザ管理”をクリックします。

The screenshot shows the QualityForward interface for a tenant named 'サンプルテナント'. At the top right, there are icons for QualityForward, a notification bell, and a help icon. Below the tenant name, there are three buttons: 'テナントユーザ管理' (highlighted with a red box), 'テナント使用量確認', and 'テナント設定'. A yellow banner indicates '現在4人登録中で、2人が承認待ちです'. Below this is a 'プロジェクト一覧' section with a '+プロジェクト追加' button. There are filters for 'アクティブ 1' and 'アーカイブ 0'. A search bar is present with the text '名前を検索' and a '検索' button. A table lists projects with columns: 'プロジェクト名 ▲', 'テストスイート', 'テストフェーズ', and '参加ユーザ'. The table has one row: 'サンプルプロジェクト', '4件', '3件', and '2人'.

- (2) テナントのユーザー一覧から権限を変更したいユーザ名の下の“権限設定”をクリックします。

The screenshot shows the 'テナントのユーザー一覧' page. At the top right is a '+ユーザ招待' button. Below is a search bar with 'メールアドレスで検索' and a '検索' button. A table lists users with columns: '名前', 'メールアドレス', and '最終ログイン日時'. The first user is 'QFuser21' with email 'qualityf.user+21@gmail.com' and login time '2019/11/14 19:11'. Below the user name, there are two links: '権限設定' (highlighted with a red box) and 'スイート一覧'. A red button '自テナントから外す' is also visible.

- (3) テナントの権限リストボックスから権限を選択します。

The screenshot shows the 'QFuser21さんの設定' page. Under the heading 'テナントの権限', there is a dropdown menu with three options: 'テナント管理者', 'テナント管理者', and '一般ユーザ'. The first 'テナント管理者' option is highlighted with a blue bar and a red box. A '更新する' button is located at the bottom right.

- (4) 更新するボタンを押します。

## 3.6. テナントの使用量

テナント全体の最大ユーザ数と最大テスト結果数を月毎に確認することができます。

- (1) 画面右上のアカウント名をクリックするとユーザメニューが表示されます。ここで“テナントの使用量”をクリックします。

プロジェクト名 ▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
サンプルプロジェクト	4件	3件	2人

- (2) 月毎の最大ユーザ数と最大テスト結果数がこちらで確認できます。

対象月	最大ユーザ数	最大テスト結果数
2017年09月	8人	4,245件
2017年08月	8人	4,228件

- (3) また、プロジェクト一覧でも登録済みユーザ数を確認することができます。

プロジェクト名 ▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
サンプルプロジェクト	4件	3件	3人

## 3.7. お知らせを見る

QualityForward からののお知らせはユーザメニューよりご確認ください。

※現在、日本語のみに対応しております。

- (1) 画面右上のアカウント名横にあるベルアイコンをクリックします。



- (2) お知らせ一覧が表示されるので、内容を確認したいお知らせのリンクをクリックします。

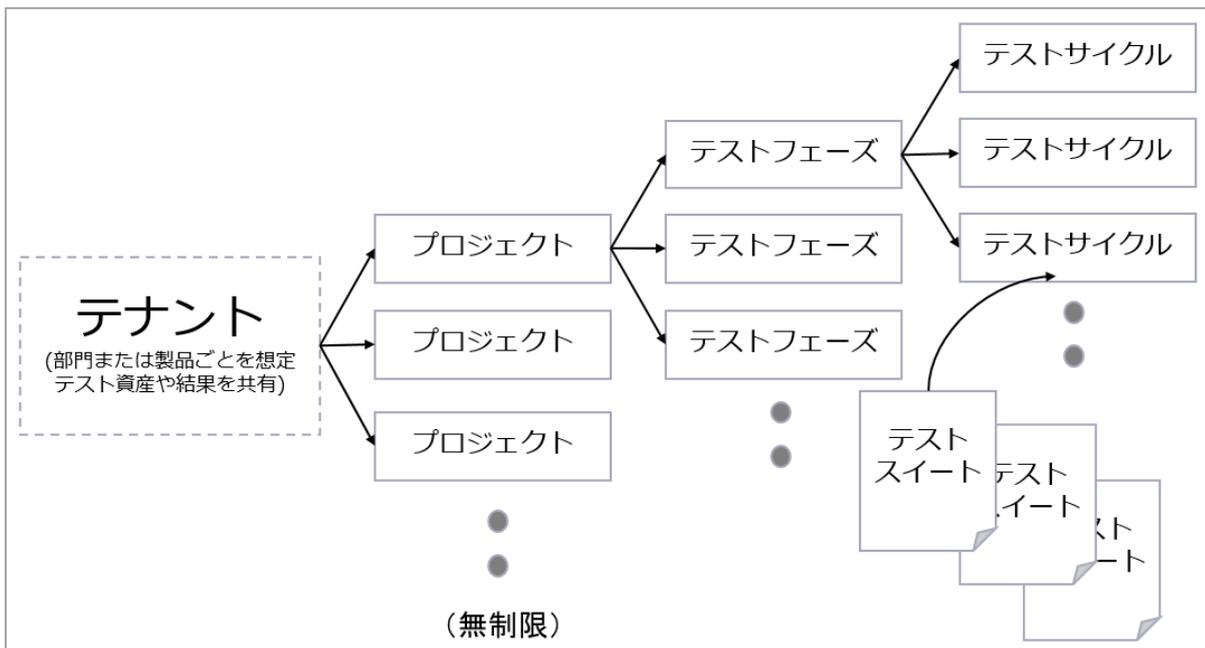
お知らせ一覧	
<b>お知らせ</b> Internet Explorer(IE)のサポート終了のお知らせ	2020/06/08
<b>アップデート告知</b> テストサイクルにテスト担当者が設定できるようになります	2020/06/05
<b>アップデート告知</b> 結果入力にデフォルト値が設定できるようになります	2020/04/23

## 第4章 初期設定

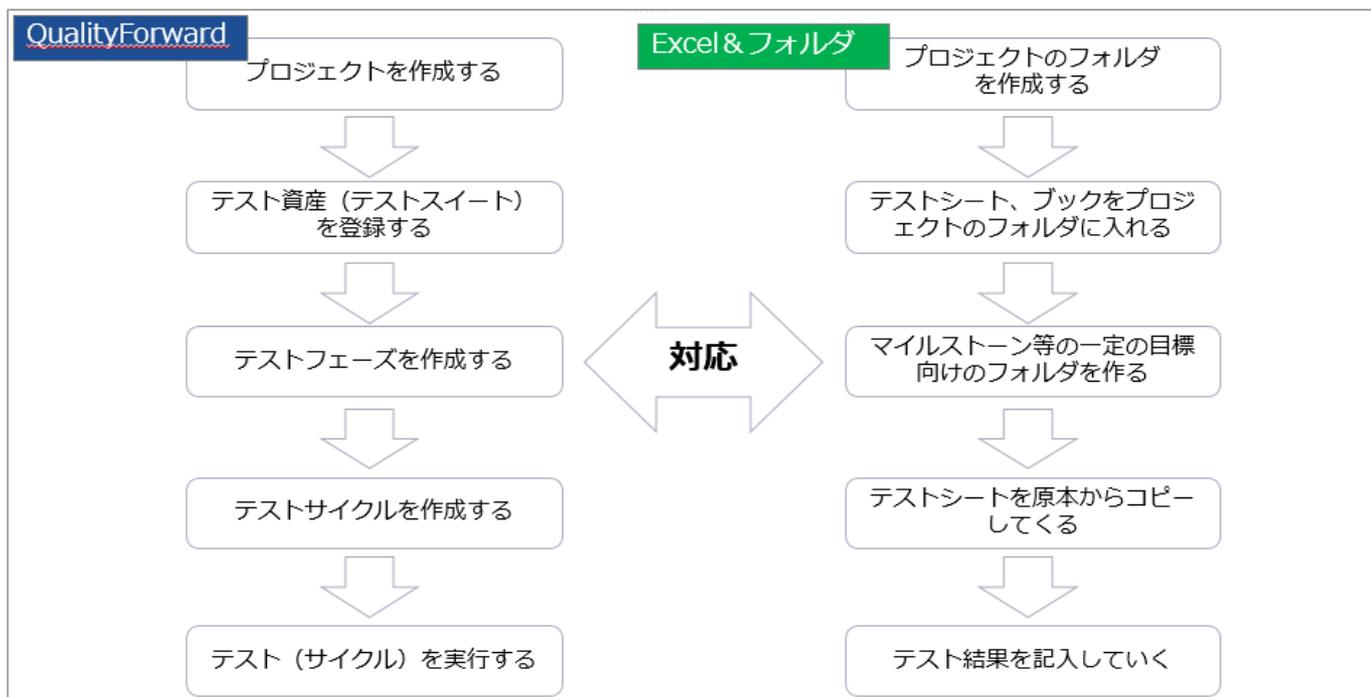
QualityForward におけるテストプロジェクトは以下のような構造を持っています。

テナントという仮想的なトップレベルの構造がお客様ごとに生成され、ログイン直後はこのテナントに属するプロジェクトの一覧が表示されます。テナントは製品ライン、プロジェクトはそのまま、一定の期間をもつプロジェクトとお考えください。

プロジェクトごとに、一定の期間、ボリュームが設定されたテストフェーズが存在し、フェーズの下に、プロジェクトのテストスイートから生成されたテストサイクル（テストの実行単位）が属します。



ファイルサーバのフォルダと Excel のシート、ブックを利用してプロジェクトを進める場合と、QualityForward を利用してプロジェクトを進める場合を下図で比較します。以下のように、フォルダと Excel での作業の流れとほぼ完全に対応しています。



## 4.1. 新規プロジェクトを作成する

プロジェクトの新規作成手順について説明します。プロジェクトの設定は後から変更可能です。

### 4.1.1. プロジェクトの基本設定

- (1) ユーザサインイン後に表示されるプロジェクト一覧の右上にあるプロジェクト追加ボタンを押します。



- (2) プロジェクトの基本情報を入力します。概要説明は HTML 形式での入力が可能です。

## プロジェクトの新規追加

### 基本設定

**必須** プロジェクト名

**必須** 概要説明

登録する

(3) 登録するボタンを押します。

## 4.2. プロジェクトのユーザ管理

テナント管理者またはプロジェクト管理者の権限を持つユーザは、テナント内のユーザをプロジェクトに招待することができます。またテナント管理者の権限を持つユーザはプロジェクト参加ユーザの権限を変更することができます。各権限での実行可能な機能については、手順 [3.5](#) をご覧ください。

### 4.2.1. プロジェクトにユーザを追加する

(1) プロジェクトのダッシュボードからユーザ管理ボタンを押します。

トップ / QFサンプルプロジェクト QualityForward@veriserve ▾

## QFサンプルプロジェクト

👤 ユーザ管理
✎ 設定

QualityForwardをご利用いただいておりますユーザー様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。

- この概要欄ではほとんどのHTMLタグが利用可能です。
- 画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます



(2) プロジェクト参加ユーザー一覧の右上のユーザ追加ボタンを押します。

トップ / QFサンプルプロジェクト / プロジェクトのユーザー一覧 QualityForward@veriserve ▾

### 参加ユーザー一覧

メールアドレスで検索   + ユーザ追加

名前	メールアドレス
<span style="background-color: #ffc107; padding: 2px;">テナント管理者</span> QFuser20	qualityf.user+20@gmail.com
<span style="background-color: #ffc107; padding: 2px;">テナント管理者</span> vmkwrđ (ユーザ権限5)	vmkwrđ+10@gmail.com
<span style="background-color: #ffc107; padding: 2px;">テナント管理者</span> QFuser13	qualityf.user+13@gmail.com
<span style="background-color: #ffc107; padding: 2px;">テナント管理者</span> QFuser12	qualityf.user+12@gmail.com

(3) 当該プロジェクトに参加していないユーザの一覧が表示されます。プロジェクトの管理者として参加させる場合は、追加するユーザの管理者欄にチェックに入れます（このとき、参加チェックボックスも自動でオンになります）。一般ユーザとして参加させる場合は、参加のチェックボックスのみチェックします。

### ユーザの追加

参加	管理者	名前	メールアドレス
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser1	qualityf.user+1@gmail.com
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser2	qualityf.user+2@gmail.com
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser3	qualityf.user+3@gmail.com
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser4	qualityf.user+4@gmail.com
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	QFuser5	qualityf.user+5@gmail.com

(4) 選択が完了したら、「選択したユーザを追加」ボタンを押します。

## 4.2.2. プロジェクト参加ユーザの権限を変更する

(1) プロジェクトのダッシュボードからユーザ管理ボタンを押します。



(2) 一覧から権限を変更したいユーザ名の横にある設定変更ボタンを押します。



(3) プロジェクトの権限を選択し、更新するボタンを押します。



## 4.3. プロジェクト設定を変更・削除する

作成したプロジェクトはいつでも変更することが可能です。プロジェクトの変更はどの権限のユーザでも行えますが、プロジェクトの削除はテナント管理者のみ実行可能です。

### 4.3.1. プロジェクト設定を変更する

- (1) トップ画面から変更したいプロジェクト名のリンクをクリックします。
- (2) プロジェクトのダッシュボード画面右上の設定ボタンを押します。



- (3) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押します。



The screenshot displays the 'プロジェクトの設定' (Project Settings) page. At the top, there are tabs for '一般' (General), 'テストスイート列' (Test Suite List), 'テスト結果列' (Test Result List), 'テスト結果ラベル' (Test Result Label), and 'BTS連携' (BTS Integration). The '一般' tab is selected. Below the tabs, there are several sections:

- 基本設定** (Basic Settings):
  - 必須** プロジェクト名 (Required Project Name): A text input field containing '01. サンプルプロジェクト'.
  - 必須** 概要説明 (Required Summary Description): A text area containing the text: 'QualityForwardをトライアルいただいておりますユーザー様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。この概要欄は自由に編集でき、<span style="color:red">ほとんどのHTMLタグ</span>が利用可能です。プロジェクトの説明や周知事項等にご利用ください。画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます'.
  - テストスイートのレビューのメールアドレス (Test Suite Reviewer's Email Address): An empty text input field.
  - プロジェクトの装飾設定 (Project Decoration Settings): A dropdown menu set to 'なし' (None).
- 祝日設定** (Holiday Settings): A link labeled '祝日設定を追加する' (Add Holiday Settings).
- テストブロッカーの集計設定** (Test Blocker Aggregation Settings): Two checkboxes, both unchecked:
  - BLOCKの結果を集計する (Aggregate BLOCK results)
  - Q&Aの結果を集計する (Aggregate Q&A results)

At the bottom right of the form, there is a blue button labeled '更新する' (Update).

## 4.3.2. 祝日を設定する

プロジェクト単位で祝日を設定することができます。祝日は進捗予測の自動割りで土日と同等の扱いとなり、進捗予測から除外されます。

- (1) プロジェクト設定を開きます。



- (2) プロジェクトの設定を開いたら「一般」タブを選択します。



- (3) 祝日を登録するリンクを押します。



- (4) 祝日として指定したい日付を選択し、登録するボタンを押します。

## 祝日の登録

**必須** 対象の日付

◀ 3月 2023 ▶

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

**登録する**

(5) 祝日は進捗予測設定画面や実績推移表で土日と同じようにグレーアウトで表示されます。

テストケース\_500件.xlsx - 1.0 1回目テスト(全513テストケース) 🔄 初期化 + サイクル一覧へ

の進捗予測設定

進捗予測	
2022/06/20(日)	410
2022/06/21(火)	410
2022/06/22(水)	308
2022/06/23(木)	205
2022/06/24(金)	103
2022/06/25(土)	103
2022/06/26(日)	103
2022/06/27(月)	0

## フェーズ2の実績推移表

		06/20(月)	06/21(火)	06/22(水)	06/23(木)
全体 	実績消化数	1	2	0	0
	予測消化数	151	0	254	253
	実績進捗率	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%
	予測進捗率	10.1%	10.1%	27.2%	44.2%
	実績消化累計数	12	14	14	14
	予測消化累計数	151	151	405	658
	PASS	12	14	14	14
	FAIL	4	6	6	6
	SKIP	0	2	2	2
	CUT	16	18	18	18
	BLOCK	0	6	6	6
	N/A	3	4	4	4
	Q&A	0	2	2	2
	累計バグ数	0	0	0	0
累計バグクローズ数	0	0	0	0	

### 4.3.3. 法定祝日を一括登録する

本機能では、日本の法定祝日を一括で登録することができます。法定祝日以外に休日を指定する場合は、手順 [4.3.2](#) をご参照ください。

- (1) プロジェクト設定を開きます。



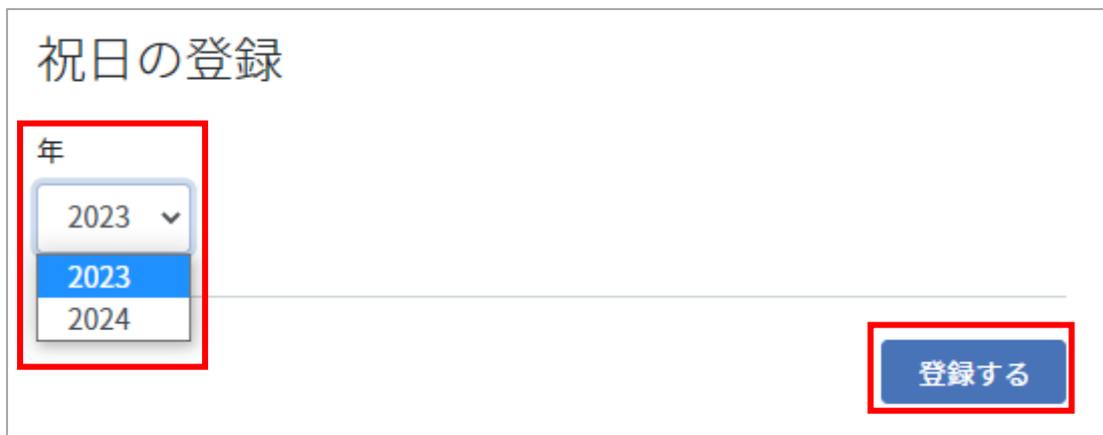
- (2) プロジェクトの設定を開いたら「一般」タブを選択します。



- (3) 法定祝日を一括登録するリンクを押します。



- (4) 法定祝日を追加したい年を選択し、登録ボタンを押します。



- (5) プロジェクト設定画面上に登録した祝日の一覧が表示されます。

## 祝日設定

祝日設定を追加する | 法定祝日を一括追加する

2023/01/01 [編集](#) 2023/01/02 [編集](#) 2023/01/09 [編集](#) 2023/02/11 [編集](#) 2023/02/23 [編集](#)  
 2023/03/21 [編集](#) 2023/04/29 [編集](#) 2023/05/03 [編集](#) 2023/05/04 [編集](#) 2023/05/05 [編集](#)  
 2023/07/17 [編集](#) 2023/08/11 [編集](#) 2023/09/18 [編集](#) 2023/09/23 [編集](#) 2023/10/09 [編集](#)  
 2023/11/03 [編集](#) 2023/11/23 [編集](#)

(6) 祝日は進捗予測設定画面や実績推移表で土日と同じようにグレーアウトで表示されます。

テストケース\_1 - 1.0 1回目テスト(全101テストケース)の進捗予測設定

	進捗予測
2023/03/16(木)	91
2023/03/17(金)	81
2023/03/18(土)	81
2023/03/19(日)	81
2023/03/20(月)	71
2023/03/21(火)	71
2023/03/22(水)	61
2023/03/23(木)	51
2023/03/24(金)	40
2023/03/25(土)	40
2023/03/26(日)	40
2023/03/27(月)	30
2023/03/28(火)	20
2023/03/29(水)	10
2023/03/30(木)	0

		03/16(木)	03/17(金)	03/18(土)	03/19(日)	03/20(月)	03/21(火)	03/22(水)
全体	実績消化数	0	0	0	0	0	0	0
	予測消化数	5	5	0	0	4	0	5
	実績進捗率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	予測進捗率	4.9%	9.9%	9.9%	9.9%	13.8%	13.8%	8.8%
	実績消化累計数	0	0	0	0	0	0	0
	予測消化累計数	5	10	10	10	14	14	19
	PASS	0	0	0	0	0	0	0
	FAIL	0	0	0	0	0	0	0
	SKIP	0	0	0	0	0	0	0
	CUT	0	0	0	0	0	0	0
	BLOCK	0	0	0	0	0	0	0
	N/A	0	0	0	0	0	0	0
	Q&A	0	0	0	0	0	0	0
	累計バグ数	0	0	0	0	0	0	0
	累計バグクローズ数	0	0	0	0	0	0	0

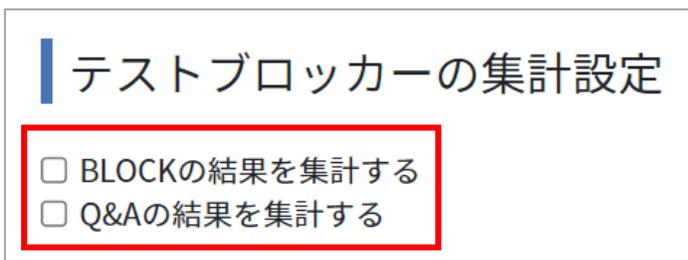
## 4.3.4. テストブロッカーを設定する

テストブロッカーとは BLOCK・Q&A など、タスクがテスト実行者以外にあるためテストが実施できない項目を指します。テストブロッカーを設定するとレポート画面に BLOCK・Q&A の項目ごとの内訳が集計され、テストの進行への影響度をリアルタイムで確認することができます。(手順 [12.2.15](#) 参照)

- (1) プロジェクトの設定を開いたら「一般」タブを選択します。



- (2) 「テストブロッカーの設定」で集計したい項目にチェックを入れます。



- (3) テストスイートの設定で集計する項目を指定します。(手順 [6.2.5](#) 参照)

## 4.3.5. テストスイートのデフォルト項目ラベルを設定する

テストスイートのデフォルトの項目名の設定と、項目の使用・未使用の選択ができます。ここで入力・選択したラベルは新規作成するテストスイートに反映されます。

テストスイートのテスト定義項目ラベルは標準で 25 項目まで設定が可能です。(申し込み時オプションにより異なります) 項目ラベルはテストスイート毎に変更することも可能です。(手順 [6.6.1](#) 参照)

- (1) プロジェクトの設定を開いたら「テストスイート列」タブを選択します。



- (2) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押します。



### 4.3.6. テスト結果部のデフォルト項目ラベルを設定する

テスト実行画面のテスト結果部の項目名と使用・未使用を設定できます。ここで入力・選択したラベルは新規作成するテストスイートに反映されます。項目ラベルはテストスイート毎に変更することも可能です。(手順 [6.6.1](#) 参照)

テスト結果部の項目は標準で 10 列まで使用可能です。(申し込み時オプションにより異なります)

- (1) プロジェクトの設定を開いたら「テスト結果列」タブを選択します。



プロジェクトの設定

一般   テストスイート列   **テスト結果列**   テスト結果ラベル   BTS連携

- (2) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押します。



デフォルトの列ラベル設定

項目1のデフォルトラベル	使用中	環境
項目2のデフォルトラベル	使用中	バグID
項目3のデフォルトラベル	使用中	備考
項目4のデフォルトラベル	未使用	
項目5のデフォルトラベル	未使用	

### 4.3.7. テスト結果補足を設定する

テスト結果を入力した後に結果の変更があった場合などに、テスト結果の補足（FAIL から PASS へ変更など）を入力することができます。このテスト結果補足は、通常のテスト結果と同様にテスト実行画面での入力が可能で実績推移表で集計が行われます。

- (1) プロジェクトの設定を開いたら「テスト結果列」タブを選択します。



プロジェクトの設定

一般   テストスイート列   **テスト結果列**   テスト結果ラベル   BTS連携

- (2) 「補足を利用する」にチェックを入れます。

## テスト結果の補足列の利用設定

補足を利用する

- (3) テスト結果が入力された場合に、結果に紐づくテスト結果補足を設定できます。入力形式は csv で「名称,説明書き」の形式で入力します。Q&A は内容の分類を追加するなどして補足することができます。Q&A は収束曲線でも表示されます。

### テスト結果の補足

補足を利用する

注意：テスト結果保全のため、一度補足の種類を追加したら減らす事はできません。ラベルの変更は可能です。  
補足はテキストエリアの何行目かをIDとして利用しています。  
フォーマットはCSVで、1列目は名称、2列目は説明書きとなっています。

PASSの補足

```
FAIL → PASS, FAIL → PASS  
SKIP → PASS, SKIP → PASS  
QA → PASS, QA → PASS  
aaaa,aaaa  
!"#$%&'()*^`*?+
```

FAILの補足

```
Q&A → FAIL, Q&A → FAIL  
SKIP → FAIL, SKIP → FAIL
```

SKIPの補足

```
FAIL → SKIP, FAIL → SKIP
```

CUTの補足

```
FAIL → CUT, FAIL → CUT  
SKIP → CUT, SKIP → CUT
```

※一度保存をすると種類を減らすことができません。

※保存済のラベルを変更することは可能です。

### 4.3.8. テスト結果のラベルを設定する

テスト結果のラベルを決めます。テスト結果のラベルは7種類まで設定することができます。

- (1) プロジェクトの設定を開いたら「テスト結果列」タブを選択します。

プロジェクトの設定

一般   テストスイート列   テスト結果列   **テスト結果ラベル**   BTS連携

(2) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押します。

テスト結果のラベル

**必須** PASSのラベル

PASS

①期待動作と製品の振る舞いに相違がない場合に指定します

進捗から除外する

**必須** FAILのラベル

FAIL

①期待動作と製品の振る舞いに相違がある、または個別の決定的な不具合がある場合に指定します

進捗から除外する

**必須** SKIPのラベル

SKIP

①テスト実施者の判断で一時的に判断を保留する場合に指定します

進捗から除外する

実行範囲から除外する

### 4.3.9. 進捗の対象から除外する

進捗数として数えたくないテスト結果の種類がある場合、「進捗から除外する」設定を有効にします。変更の必要がない場合はそのまま登録の手順に進んでください。

(1) プロジェクトの設定を開いたら「テスト結果ラベル」タブを選択します。

プロジェクトの設定

一般   テストスイート列   テスト結果列   **テスト結果ラベル**   BTS連携

- (2) 進捗対象外とするテスト結果ラベルの「進捗から除外する」にチェックを入れ、「更新する」ボタンを押します。

テスト結果のラベル

**必須** PASSのラベル

PASS

①期待動作と製品の振る舞いに相違がない場合に指定します

進捗から除外する

**必須** FAILのラベル

FAIL

①期待動作と製品の振る舞いに相違がある、または個別の決定的な不具合がある場合に指定します

進捗から除外する

**必須** SKIPのラベル

SKIP

①テスト実施者の判断で一時的に判断を保留する場合に指定します

進捗から除外する

実行範囲から除外する

### 4.3.10. 実行の対象から除外する

「CUT」、 「SKIP」、 「N/A」 のいずれかのテスト結果が入力されたテストケースを実行範囲から除外することができます。テスト実行範囲外のテスト結果は進捗実績などの集計から除外されます。

- (1) プロジェクトの設定を開いたら「テスト結果ラベル」タブを選択します。

プロジェクトの設定

一般    テストスイート列    テスト結果列    **テスト結果ラベル**    BTS連携

- (2) テスト結果ラベル欄で「CUT」、 「N/A」、 「SKIP」 のいずれかで「実行対象外」にチェックを入れます。

**必須** SKIPのラベル

SKIP

①テスト実施者の判断で一時的に判断を保留する場合に指定します

進捗から除外する

実行範囲から除外する

**必須** CUTのラベル

CUT

①テスト管理者の判断で今回の実行ではテスト範囲から除外する場合に指定します

進捗から除外する

実行範囲から除外する

**必須** BLOCKのラベル

BLOCK

①何らかの事情でテストの実行が行えない場合に指定します

進捗から除外する

**必須** N/Aのラベル

N/A

①機能ドロップなど、テスト対象の事情で今回の実行ではテスト範囲から除外する場合に指定します

進捗から除外する

実行範囲から除外する

### 4.3.11. BTS 連携のデフォルト値を指定する

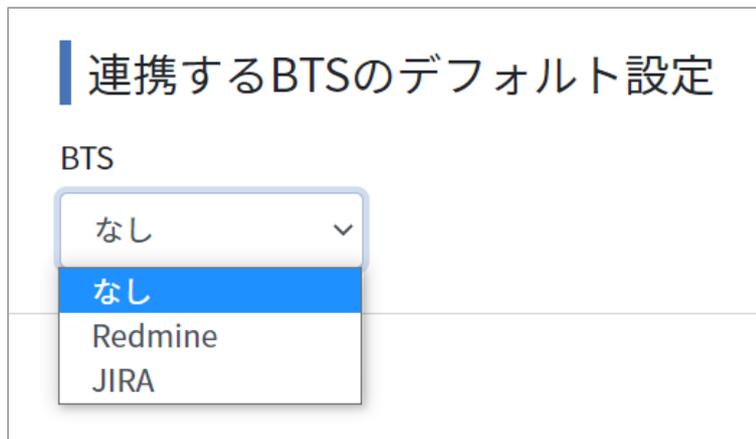
プロジェクト設定で BTS 連携のデフォルト値を指定しておく、テストフェーズの新規作成時に BTS 連携設定に反映されるため、都度指定する必要がなくなります。

- (1) プロジェクトの設定を開いたら「テスト結果ラベル」タブを選択します。

プロジェクトの設定

一般    テストスイート列    テスト結果列    テスト結果ラベル    **BTS連携**

- (2) 連携する BTS を選択します。



- (3) 必要な項目を入力し、「更新する」ボタンを押します。(詳しい設定方法は「[BTS 連携マニュアル](#)」をご参照ください。)

※プロジェクト設定では疎通の確認を行わないため、指定先に誤りがある場合はテストフェーズ側でエラーメッセージが表示されます。

※JIRA のパスワードは各テストフェーズの設定画面から指定してください。

## 4.3.12. API キーを発行する

QualityForward はテストスイート、テスト結果データへの、ウェブ API によるフルアクセス (CRUD) をサポートしております。

これらの API を利用して、組み合わせテストの自動生成や、独自ルールでの集計等が実現可能です。API キーの発行はテナント管理者またはプロジェクト管理者のみが実行可能です。

- (1) プロジェクト設定画面を開きます。



- (2) 画面下部の API キー欄横の「生成ボタン」を押します。



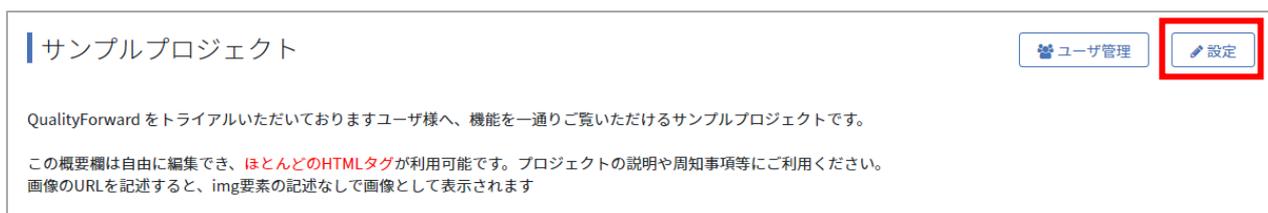
## 4.3.13. プロジェクトを複製する

既存プロジェクトをコピーして新しいプロジェクトを作成する場合に行う作業です。プロジェクト複製はテナント管理者のみ実行可能です。

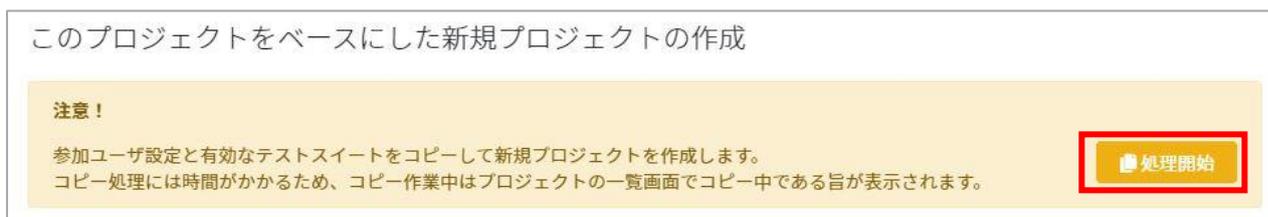
プロジェクトコピーで複製される機能は以下の通りです。

- プロジェクト設定
  - 一般 - 基本設定
  - 一般 - テストブロッカーの集計設定
  - テストスイート列 - デフォルトの列ラベル設定
  - テスト結果列 - デフォルトの列ラベル設定
  - テスト結果列 - テスト結果の補足列の利用設定
  - テスト結果ラベル - テスト結果のラベル設定
  - BTS 連携 - 連携する BTS のデフォルト設定
- テストスイート
  - アクティブかつステータスが「利用可」のテストスイートバージョン

(1) コピーしたいプロジェクトのダッシュボードから設定画面を開きます。



(2) 設定画面下部「このプロジェクトをベースにした新規プロジェクトの作成」の「処理開始」ボタンを押します。



- (3) 確認メッセージが出たら「OK」ボタンを押します。



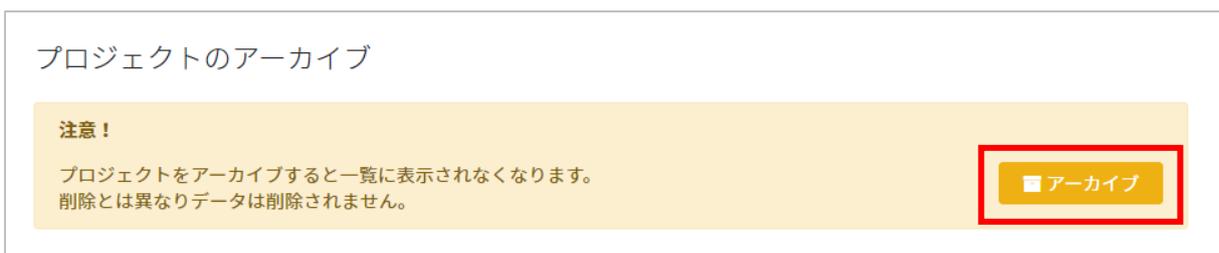
- (4) コピーが完了すると操作を行ったユーザ宛にメールで通知されます。



## 4.3.14. プロジェクトをアーカイブする

終了したプロジェクトはプロジェクトの一覧から外し、整理することができます。アーカイブはテナント管理者のみ実行可能です。プロジェクト一覧からプロジェクトを除外する機能のため、これまで同様編集を行うことが可能です。

- (1) プロジェクトの設定画面の下部にあるアーカイブボタンを押します。



- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



- (3) アーカイブしたプロジェクトはプロジェクト一覧のアーカイブタブに表示されます。



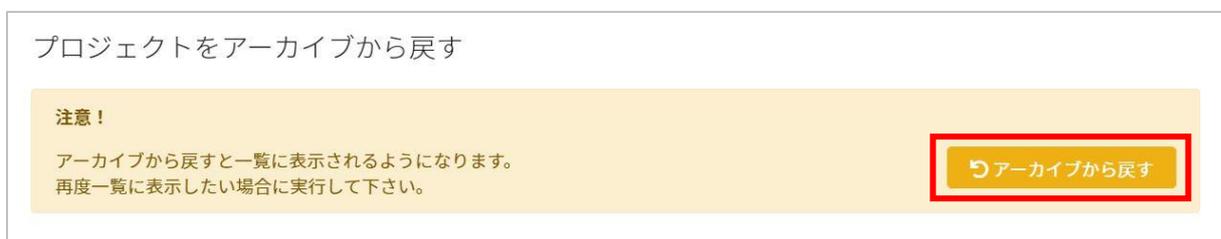
- (4) アーカイブされたプロジェクトを再びアクティブタブに表示させることもできます。アーカイブタブ内の任意のプロジェクト名をクリックします。



- (5) プロジェクト設定画面を開きます。



- (6) プロジェクトの設定画面の下部の項目「プロジェクトをアーカイブから戻す」内の「アーカイブから戻す」ボタンを押します。



- (7) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

Sample projectをアーカイブから戻しても宜しいですか？

OK

キャンセル

- (8) アーカイブから戻されたプロジェクトはプロジェクト一覧のアクティブタブに表示されます。

プロジェクト一覧 +プロジェクト追加

▶ **アクティブ 2** 🗳️ アーカイブ 0

名前検索

プロジェクト名 ▲	テストスイート	テストフェーズ	参加ユーザ
Sample project	5件	9件	7人
サンプルプロジェクト	10件	6件	8人

## 4.3.15. プロジェクト設定を削除する

プロジェクトの削除はプロジェクト設定画面から行うことができます。

- (1) プロジェクト設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。

### プロジェクトの削除

**注意！**

プロジェクトを削除すると全てのデータが消去されます。  
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

 削除

- (2) プロジェクト削除の確認が表示されます。削除する場合はプロジェクト名を入力し、「理解した上でこのプロジェクトを削除する」ボタンを押します。

## プロジェクト削除の確認

### 注意！

「サンプルプロジェクト」には以下のデータが含まれています。  
これらは一度削除すると元に戻すことができません。  
プロジェクトを削除することで各種レポートのデータも削除されます。

テストスイート数	5件
テストスイートバージョン数	5件
テストケース数	5,674件
テストフェーズ数	5件
テストサイクル数	10件
テスト結果数	4,576件
チームWiki数	1件

確認の為、プロジェクト名を入力してください

理解した上でこのプロジェクトを削除する

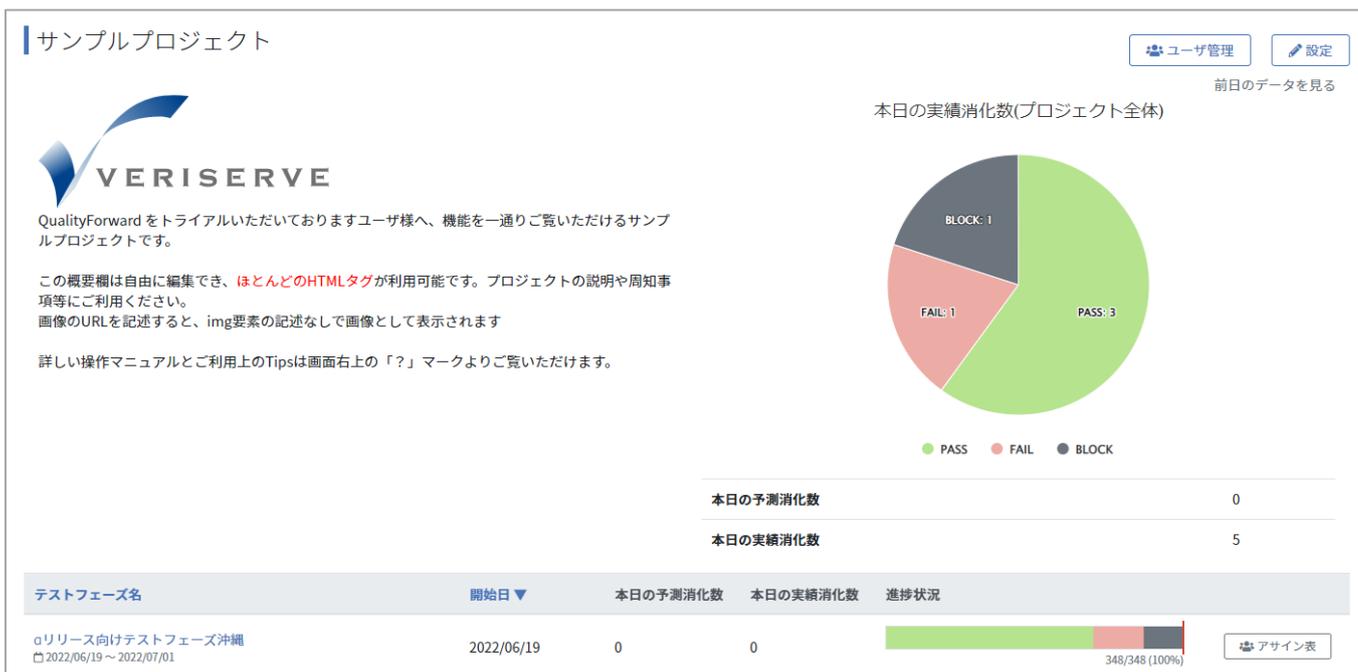
※この後に確認メッセージなどは表示されませんので削除の際は十分に注意してください。

# 第5章 進捗管理

本章ではプロジェクトのテスト進捗管理について説明します。

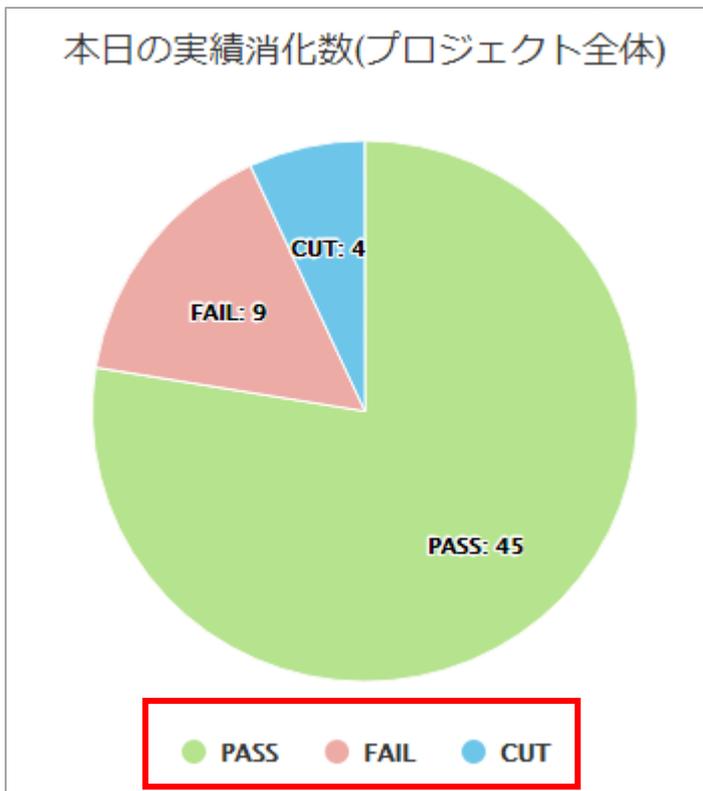
## 5.1. ダッシュボード

ダッシュボードではプロジェクト全体の本日の予定と実績、また、各テストフェーズの進捗状況を確認することができます。(表示上限はありません)



### 5.1.1. 本日の実績消化数 (プロジェクト全体)

プロジェクト全体で、今日どれだけの消化実績があったかを表すパイチャートです。表示される対象は、アクティブなテストフェーズのうち、テスト対象のテストケースに入力されたすべてのテスト結果種別（進捗集計の対象としないテスト結果も含む）です。アーカイブ済みのテストフェーズ、テスト対象外のテストケースに入力された結果は集計対象外です。



パイチャート下部のテスト結果種別をクリックすることで、パイチャート上での表示・非表示を切り替えることができます。

### 5.1.2. 本日の予測消化数

プロジェクト全体の本日分の予測消化数を表示します。アーカイブ済みのテストフェーズは集計対象外です。

本日の予測消化数	108
本日の実績消化数	54

### 5.1.3. 本日の実績消化数

プロジェクト全体の本日分の実績消化数を表示します。アーカイブ済みのテストフェーズ、進捗集計の対象としないテスト結果、テスト対象外のテストケースに入力された結果は集計対象外です。

本日の予測消化数

108

本日の実績消化数

54

## 5.1.4. フェーズ一覧

テストフェーズ期間に関係なく、プロジェクト内のアクティブなテストフェーズの一覧が表示されます。テストフェーズ名、フェーズ開始日での並べ替えが可能です。

テストフェーズ名	開始日 ▼	本日の予測消化数	本日の実績消化数	進捗状況	
フェーズ12 📅 2021/10/28 ~ 2021/11/28	2021/10/28	9	0	<div style="width: 0%;"><div style="width: 0%;"></div></div> 0/103 (0%)	👤 アサイン表
フェーズ11 📅 2021/10/04 ~ 2021/11/20	2021/10/04	9	36	<div style="width: 36%;"><div style="width: 36%;"></div></div> 37/102 (36%)	👤 アサイン表

## 5.1.5. フェーズ毎の本日の予測消化数

フェーズ毎の本日分の予測消化数を表示します。予測消化数に関しては進捗予測設定（手順 [7.3](#) 参照）から算出されます。進捗予測設定に変更がない場合はテスト件数と実施日数から自動で計算された数字が表示されます。

テストフェーズ名	開始日 ▼	本日の予測消化数	本日の実績消化数	進捗状況	
フェーズ12 📅 2021/10/28 ~ 2021/11/28	2021/10/28	9	0	<div style="width: 0%;"><div style="width: 0%;"></div></div> 0/103 (0%)	👤 アサイン表
フェーズ11 📅 2021/10/04 ~ 2021/11/20	2021/10/04	9	36	<div style="width: 36%;"><div style="width: 36%;"></div></div> 37/102 (36%)	👤 アサイン表

## 5.1.6. フェーズ毎の本日の実績消化数

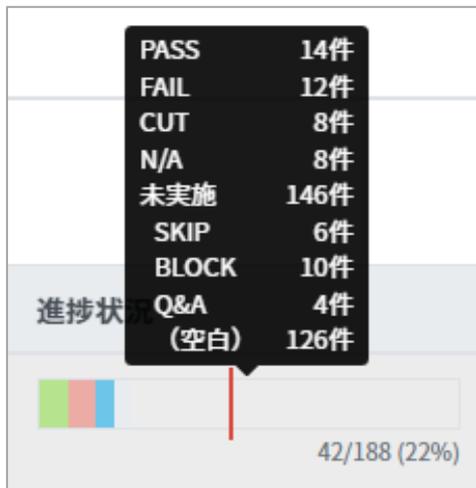
フェーズ毎の本日分の実績消化数を表示します。進捗集計の対象としないテスト結果、テスト対象外のテストケースに入力された結果は集計対象外です。

テストフェーズ名	開始日 ▼	本日の予測消化数	本日の実績消化数	進捗状況	
フェーズ12 📅 2021/10/28 ~ 2021/11/28	2021/10/28	9	0	<div style="width: 0%;"><div style="width: 0%;"></div></div> 0/103 (0%)	👤 アサイン表
フェーズ11 📅 2021/10/04 ~ 2021/11/20	2021/10/04	9	36	<div style="width: 36%;"><div style="width: 36%;"></div></div> 37/102 (36%)	👤 アサイン表

## 5.1.7. 成分バーと期限バー

テストケース消化率と、テスト結果の割合、期日に対し遅れているのか、進んでいるのかが、ひと目で分かります。テストフェーズ単位、テストサイクル単位での確認ができます。期限バーの予定件数に関しては進捗予測設定（手順 [8.4](#) 参照）から反映されます。進捗予測設定に変更がない場合はテスト件数と実施日数から自動で計算された数字が表示されます。

(1) 成分バーにカーソルを合わせると、テスト結果と件数を確認できます。



(2) 期限バーにカーソルを合わせると、当日の予定件数を確認できます。



## 5.1.8. 前日のデータを見る

ダッシュボードから過去の実績を確認することも可能です。「前日のデータを見る」リンクをクリックするか、URL を直接変更します。

(1) ダッシュボード右上の「前日のデータを見る」のリンクをクリックすると、前日の実績デー

タが表示され、クリックする度に日付を遡ることができます。

サンプルプロジェクト

ユーザー管理 設定

前日のデータを見る

本日の実績消化数(プロジェクト全体)

VERISERVE

QualityForwardをトライアルいただいておりますユーザー様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。

この概要欄は自由に編集でき、ほとんどのHTMLタグが利用可能です。プロジェクトの説明や周知事項等にご利用ください。  
画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます

詳しい操作マニュアルとご利用上のTipsは画面右上の「？」マークよりご覧いただけます。

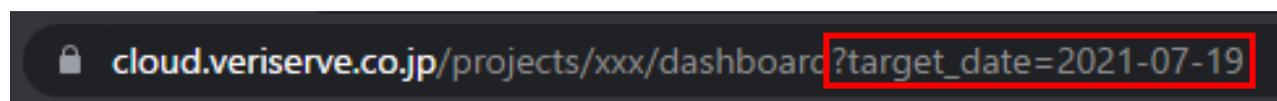
● PASS ● FAIL ● BLOCK

本日の予測消化数	0
本日の実績消化数	5

テストフェーズ名	開始日 ▼	本日の予測消化数	本日の実績消化数	進捗状況
リリース向けテストフェーズ沖縄 2022/06/19 ~ 2022/07/01	2022/06/19	0	0	<div style="width: 100%;"><div style="width: 100%;"></div></div> 348/348 (100%)

アサイン表

- (2) ダッシュボードの URL の後ろに「?target\_date=YYYY-MM-DD」を付けると直接見たい日付に遷移することができます。



## 5.2. ワークスペースで自分のタスクを確認する

テスト担当者が自身になっているテストサイクルを一覧で確認することができます。

- (1) ダッシュボード画面左のメニューから“ワークスペース”をクリックします。

トップ / サンプルプロジェクト

QualityForward

ワークスペース

ダッシュボード

テスト要求ツリー

テストスイート

テストフェーズ

レポート

チームWiki

アラートセンター

## サンプルプロジェクト

QualityForward をトライアルいただいておりますユーザー様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。

この概要欄は自由に編集でき、ほとんどのHTMLタグが利用可能です。プロジェクトの説明や周知事項等にご利用ください。画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます

詳しい操作マニュアルとご利用上のTipsは画面右上の「？」マークよりご覧いただけます。

本日の実績消化数(プロジェクト全体)

前日のデータを見る

本日の予測消化数	0
本日の実績消化数	5

(2) 担当テストサイクルと自身が担当していた完了済のテストサイクルの確認と実行ができます。

QualityForwardさんのワークスペース

▶ 担当テストサイクル 2    ■ 完了したテストサイクル 1

名前で検索    検索

テストサイクル名 ▲	進行状況
<p>αリリース向けテストフェーズ沖編 / サンプルテスト - 1.0</p> <p>サンプルテスト - 1.0 1回目テスト</p> <p>▼ A, B, C, D, E, F, G, H, I, J</p> <p>📅 2020/02/13 ~ 2020/02/27</p> <p>🔗 設定   📄 デフォルト値設定   📄 予実設定   📄 xlsx   🔄 再テスト</p>	<p>▶ 開く   🗨️ コメント 0</p>
<p>βリリース向けフル試験 / テストスイートサンプル_リリース前試験 - 2.0</p> <p>テストスイートサンプル_リリース前試験 - 2.0 1回目テスト</p> <p>▼ A</p> <p>📅 2019/11/01 ~ 2019/11/15</p> <p>🔗 設定   📄 デフォルト値設定   📄 予実設定   📄 xlsx   🔄 再テスト</p>	<p>▶ 開く   🗨️ コメント 0</p>

## 第6章 テストケースの管理

本章では、実際にテストに使用するテストケースの登録方法や、管理方法について説明します。

### 6.1. テスト要求ツリーを利用する

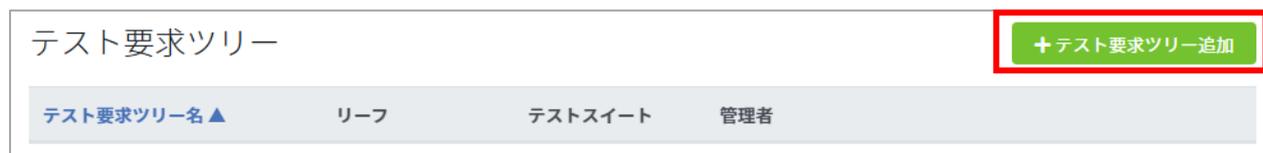
テストの要求を洗い出し、テストケースに紐付けることでテスト要求を満たしたテストの作成をすることができます。

#### 6.1.1. 要求ツリーを作成する

- (1) 左メニューの「テスト要求ツリー」をクリックします。



- (2) テスト要求ツリー一覧右上の「テスト要求ツリー追加」ボタンを押します。



- (3) テスト要求ツリー名と管理者を任意で選択し、「登録する」ボタンを押します。管理者の指定フォーム上で文字入力をする、入力された文字を含むユーザが候補として表示されます。

## テスト要求ツリーの新規作成

**基本設定**

**必須** テスト要求ツリー名

  
  
管理者  
  
  

管理者

## 6.1.2. ツリーを編集する

- (1) テスト要求ツリー一覧の右側にある「編集」ボタンを押します。

テスト要求ツリー + テスト要求ツリー追加

テスト要求ツリー名 ▲	リーフ	テストスイート	管理者
サンプルモデル <small>設定</small>	0個	0件	QualityForward

- (2) 「+」ボタンを押すと新しい要素（リーフ）が追加されます。

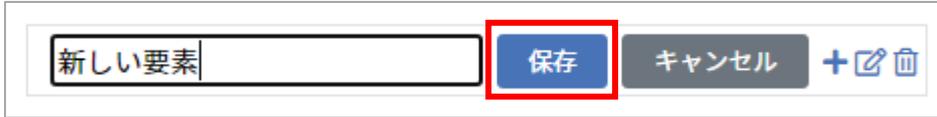
サンプルモデルのテスト要求ツリー編集

新しい要素

- (3) 要素の右側の  マークをクリックします。



(4) 要素を任意に書き換えたら「保存」ボタンを押します。



(5) 要素の下に別の要素を追加することもできます。「+」マークをクリックします。



(6) 要素の下に要素が追加されました。最下層を「リーフ」と呼び、その他の上階層の要素を「ノード」と呼びます。「リーフ」はテストケースに紐付けるところができます。



(7) リーフまたはノードを削除する場合は 削除マークをクリックし、「OK」ボタンを押します。



(8) テスト要求ツリー一覧の「リーフ」は、現在ツリーに存在するリーフの数を示しています。

テスト要求ツリー				+ テスト要求ツリー追加
テスト要求ツリー名 ▲	リーフ	テストスイート	管理者	
サンプルモデル 設定	2個	0件	QualityForward	カバレッジパネル 編集
テストモデル 設定	3個	1件	QualityForward	カバレッジパネル 編集

## 6.1.3. テストスイートと要求ツリーを紐付ける

- (1) テスト要求ツリーを作成したうえで、テストスイートの設定を開きます。



- (2) 基本設定のテスト要求ツリー欄で紐付けたい要求ツリーを選択し、「更新する」ボタンを押します。



- (3) テストスイート一覧に戻り、編集画面を開きます。



(4) 「編集を有効にする」ボタンを押します。

テストケース\_100件.xlsx - 1.0のテストケース編集

	優先度	要求ツリー	識別ID	優先度	要求トレーサビリティID	対象機能：メインアイテム	対象機能：サブアイテム	
1	A	テストB-テストA-テストA-1	1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルの ることを確

編集を有効にする

(5) 要求ツリーをひも付けるための欄ができています。要求ツリー欄のセルをダブルクリックします。

テストケース\_100件.xlsx - 1.0のテストケース編集

	優先度	要求ツリー	識別ID	優先度	要求トレーサビリティID	対象機能：メインアイテム	対象機能：サブアイテム	
1	A		1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルの ることを確
2	A		2	A	16			

+ テストケース取込

(6) 要求ツリーの一覧が表示されます。ツリーの最下層の「リーフ」をテストケースに紐付けることができます。紐付けたい「リーフ」をクリックします。



(7) 紐付けたツリーが表示されます。

## テストケース\_100件.xlsx - 1.0のテストケース編集

	優先度▼	要求ツリー▼	識別ID	優先度	要求トレーサビリティID▼
1	A	テストB-テストA-テストA-1	1	A	16

### 6.1.4. テストの実装状況を確認する

テストの実装状況はテスト要求ツリーのカバレッジパネルで確認することができます。

- (1) テスト要求ツリー一覧の右側にある「カバレッジパネル」ボタンを押します。

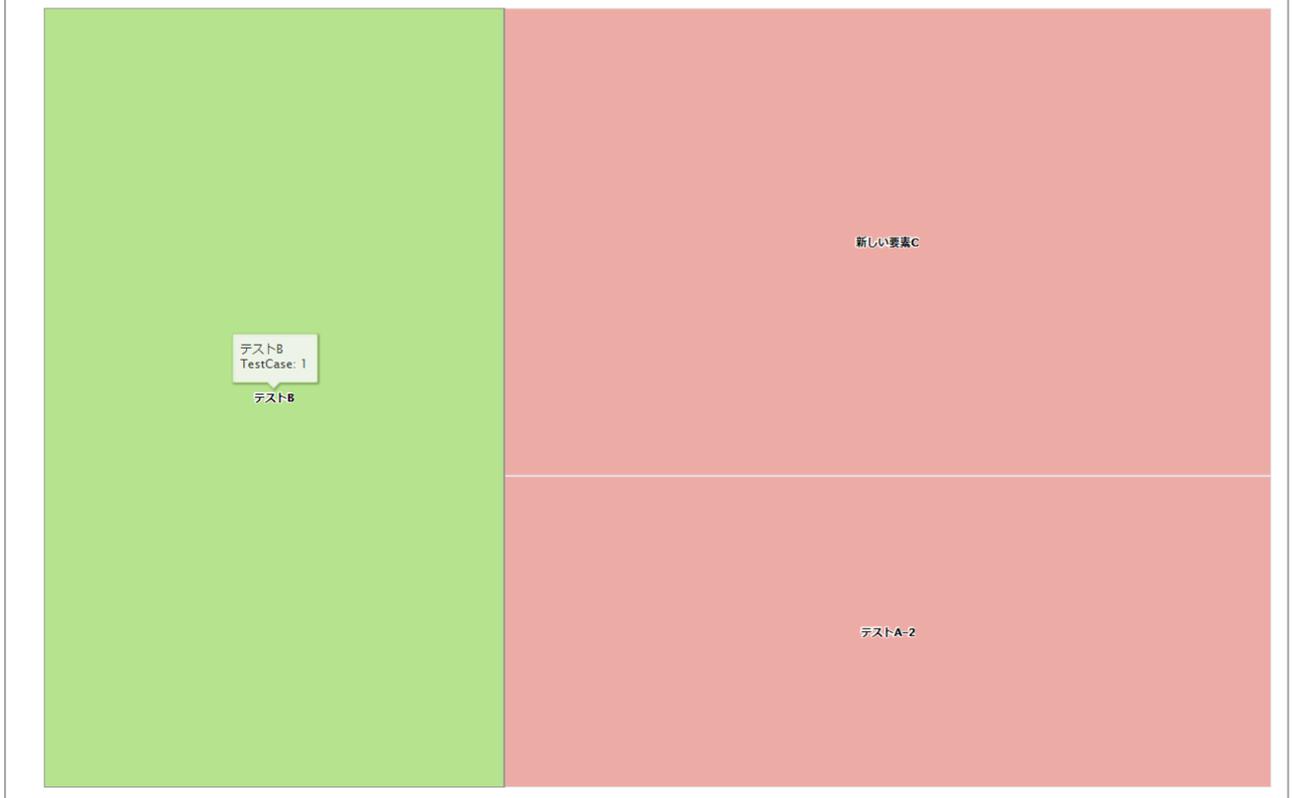
テスト要求ツリー + テスト要求ツリー追加

テスト要求ツリー名 ▲	リーフ	テストスイート	管理者
サンプルモデル <small>設定</small>	0個	0件	QualityForward

カバレッジパネル 編集

- (2) ドリルダウン形式のカバレッジパネルが表示されます。要素をクリックすることで下の階層に入ることができます。テストケースに紐づいている件数が表示されます。1件でも紐づいていればパネルの色は緑になります。赤はまだテストケースに紐づいていないことを示します。

## テストモデルのカバレッジパネル



※テストスイートのステータスが「利用不可」の場合のみ、テストケースの紐付けカウントから除外されます。

## 6.1.5. 紐付けられたテストスイートを確認する

- (1) テスト要求ツリー一覧のテストスイート欄の件数リンクをクリックします。

テスト要求ツリー名 ▲	リーフ	テストスイート	管理者	
サンプルモデル 設定	2個	0件	QualityForward	カバレッジパネル 編集
テストモデル 設定	3個	1件	QualityForward	カバレッジパネル 編集

- (2) 現在紐付けられているテストスイートの一覧が表示されます。テストスイート名をクリックすることで、テストケース編集画面に遷移します。

テストケース\_100件.xlsx - 1.0



## 6.2. テストスイートを作成する

テストケースを管理するためのテストスイートの作成方法について説明します。テストスイートの追加方法はテストスイート追加・エクセルインポートの2種類あります。設定は後から変更可能です。

### 6.2.1. テストスイートの基本設定

(1) ダッシュボード画面左のメニューからテストスイートのリンクをクリックします。

トップ / サンプルプロジェクト

QualityForward

ワークスペース

ダッシュボード

テスト要求ツリー

**テストスイート**

テストフェーズ

レポート

チームWiki

アラートセンター

サンプルプロジェクト

ユーザー管理

設定

前日のデータを見る

本日の実績消化数(プロジェクト全体)

BLOCK: 1

FAIL: 1

PASS: 3

PASS FAIL BLOCK

本日の予測消化数	0
本日の実績消化数	5

(2) テストスイート一覧画面右上のテストスイート追加ボタンを押します。

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
テストスイートサンプル_リリース前試験 <small>設定 追加ヘッダ設定</small>	利用可 2.0 <small>主機能テスト 通信機能テスト 画面遷移テスト 不正系テスト</small> <small>最近の実行時間: 未集計</small> <small>作成日時: 2022/05/20 17:22</small> <small>設定 コピー xlsx</small>	QualityForward	162件 <small>閲覧 カバレッジパネル コメント</small>
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 <small>設定 追加ヘッダ設定</small>	利用可 1.0 <small>主機能テスト 画面遷移テスト</small> <small>最近の実行時間: 未集計</small> <small>作成日時: 2022/05/20 17:22</small> <small>設定 コピー xlsx</small>	QualityForward	97件 <small>編集 カバレッジパネル コメント</small>

(3) テストスイートの基本情報を入力します。

## テストスイートの新規追加

### 基本設定

**必須** テストスイート名

## 6.2.2. テスト定義の項目を設定する

テスト実行画面（テストサイクル）またはテストケース編集画面で表示されるテスト項目のヘッダラベルを自由に設定できます。初期表示ではプロジェクト作成時に設定したラベルが表示されています。

テスト定義部			テスト結果部								
優先度	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考	
1	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートするエクセルの拡張子が [xlsx] であること</li> <li>テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ファイルを選択ボタン] をクリックする</li> <li>インポートするファイルをクリックする</li> <li>[登録するボタン] をクリックする</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> <li>インポートしたテストケースが全て表示されること</li> </ul>							
2	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートするエクセルの拡張子が [xlsx] 以外であること</li> <li>テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ファイルを選択ボタン] をクリックする</li> <li>インポートするファイルをクリックする</li> <li>[登録するボタン] をクリックする</li> </ol>								
3	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと</li> <li>項目数が2つ以上のテストケースであること</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>[ファイルを選択ボタン] をクリックする</li> <li>インポートするファイルをクリックする</li> <li>[登録するボタン] をクリックする</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> <li>2つ目以降の項目は無視して登録されていること</li> </ul>							

(1) ラベルの項目名を入力します。変更の必要がない場合は次の手順へ進みます。

### テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	使用中	項目1	<input type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	項目2	<input type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	項目3	<input type="radio"/>
項目4のラベル	使用中	項目4	<input type="radio"/>
項目5のラベル	未使用	項目5	<input type="radio"/>
項目6のラベル	未使用	項目6	<input type="radio"/>

- (2) 使用したい項目の「未使用」ボタンを押して「使用中」に、不要な項目は「未使用」に切り替えます。

### テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	使用中	項目1	<input type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	項目2	<input type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	項目3	<input type="radio"/>
項目4のラベル	使用中	項目4	<input type="radio"/>
項目5のラベル	未使用	項目5	<input type="radio"/>
項目6のラベル	未使用	項目6	<input type="radio"/>

### 6.2.3. カバレッジパネルの集計に利用する項目設定

どんな機能・観点に向けたテストケースがどれくらい存在し、そのテストがどれくらい実行されているかを確認できるカバレッジパネルを表示します。どの項目を使って集計するかを決めることができます。ここで対象のカラムを選択している場合、このテストスイートが使われているフェーズのレポート画面でカバレッジパネルを見ることができます。

- (1) 「カバレッジパネル設定の有効化」にチェックを入れます。

テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	使用中	項目1	<input checked="" type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	項目2	<input type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	項目3	<input type="radio"/>
項目4のラベル	使用中	項目4	<input type="radio"/>
項目5のラベル	未使用	項目5	<input type="radio"/>
項目6のラベル	未使用	項目6	<input type="radio"/>

- (2) 集計対象としたい項目欄の右側にあるラジオボタンにチェックを入れます。

テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	使用中	項目1	<input checked="" type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	項目2	<input type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	項目3	<input type="radio"/>
項目4のラベル	使用中	項目4	<input type="radio"/>
項目5のラベル	未使用	項目5	<input type="radio"/>
項目6のラベル	未使用	項目6	<input type="radio"/>

## 6.2.4. テスト結果の自由項目を設定する

テスト実行画面（テストサイクル）でテスト結果部に対し自由に入力できる項目が必要な場合、項目の追加とラベル設定ができます。ここで設定した項目はテスト実行画面で表示され、テスト結果に対する備考やバグ IDなどを自由に入力できるようになります。初期表示では“環境”、“バグ ID”、“備考”が設定されています。

テスト定義部				テスト結果部						
優先度	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
1	A	・インポートするエクセルの拡張子が [xlsx] であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・インポートしたテストケースが全て表示されること						
2	A	・インポートするエクセルの拡張子が [xlsx] 以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする							
3	A	・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストケースであること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・2つ目以降の項目は無視して登録されていること						

(1) ラベルの項目名を入力します。変更の必要がない場合は次の手順へ進みます。

### テスト結果の自由項目設定

テストブロッカーの集計に利用する

項目1のラベル	使用中	環境	<input type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	バグID	<input type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	備考	<input type="radio"/>
項目4のラベル	未使用		<input type="radio"/>
項目5のラベル	未使用		<input type="radio"/>

(2) 使用したい項目の「未使用」ボタンを押して「使用中」に、不要な項目は「未使用」に切り替えます。

### テスト結果の自由項目設定

テストブロッカーの集計に利用する

項目1のラベル	使用中	環境	<input type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	バグID	<input type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	備考	<input type="radio"/>
項目4のラベル	未使用		<input type="radio"/>
項目5のラベル	未使用		<input type="radio"/>

## 6.2.5. テストブロッカーの集計に利用する項目を指定する

手順 [4.3.4](#) にてテストブロッカーを設定している場合、レポートの内訳に表示する項目を指定します。「テストブロッカーの集計に利用する項目設定」のプルダウンメニューより表示させる項目を選択してください。

- (1) 「テストブロッカーの集計に利用する」にチェックを入れます。



テスト結果の自由項目設定

テストブロッカーの集計に利用する

項目1のラベル	使用中	環境	<input type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	バグID	<input checked="" type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	備考	<input type="radio"/>
項目4のラベル	未使用		<input type="radio"/>
項目5のラベル	未使用		<input type="radio"/>

- (2) 集計対象としたい項目欄の右側にあるラジオボタンにチェックを入れます。



テスト結果の自由項目設定

テストブロッカーの集計に利用する

項目1のラベル	使用中	環境	<input type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	バグID	<input checked="" type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	備考	<input type="radio"/>
項目4のラベル	未使用		<input type="radio"/>
項目5のラベル	未使用		<input type="radio"/>

## 6.2.6. 初期バージョンを設定する

テストスイートの新規作成時にバージョン情報を付加します。作成したテストスイートはコピーしてバージョン管理を行うことができます。

- (1) バージョン名には任意のバージョン名を入力することができます。備考欄は HTML での入力が可能です。備考欄に入力した内容はテストサイクル画面でも確認することができます。

The screenshot shows a form titled "初期バージョンの設定" (Initial Version Settings). It contains the following fields and elements:

- 初期バージョンの設定** (Initial Version Settings)
- 必須 バージョン名** (Required: Version Name): A text input field containing "1.0".
- バージョン名には任意の文字列を使用することができます** (You can use any string for the version name).
- タグ** (Tag): An empty text input field.
- 管理者** (Administrator): A dropdown menu.
- 備考** (Remarks): A large text area.
- 添付ファイル** (Attachments): A section with a button labeled "添付ファイルを追加" (Add Attachment).
- 登録する** (Register): A blue button at the bottom right.

- (2) 管理者のフォーム上で文字入力をするると、入力文字を含むユーザが候補として表示されます。

The screenshot shows a close-up of the "管理者" (Administrator) dropdown menu. The input field contains the text "太郎" (Taro). Below the input field, a list of suggestions is displayed, with "QF太郎" (QF Taro) highlighted in blue. Below the suggestions, there is a button labeled "編集中" (Editing) with a dropdown arrow.

## 6.2.7. ファイルを添付する

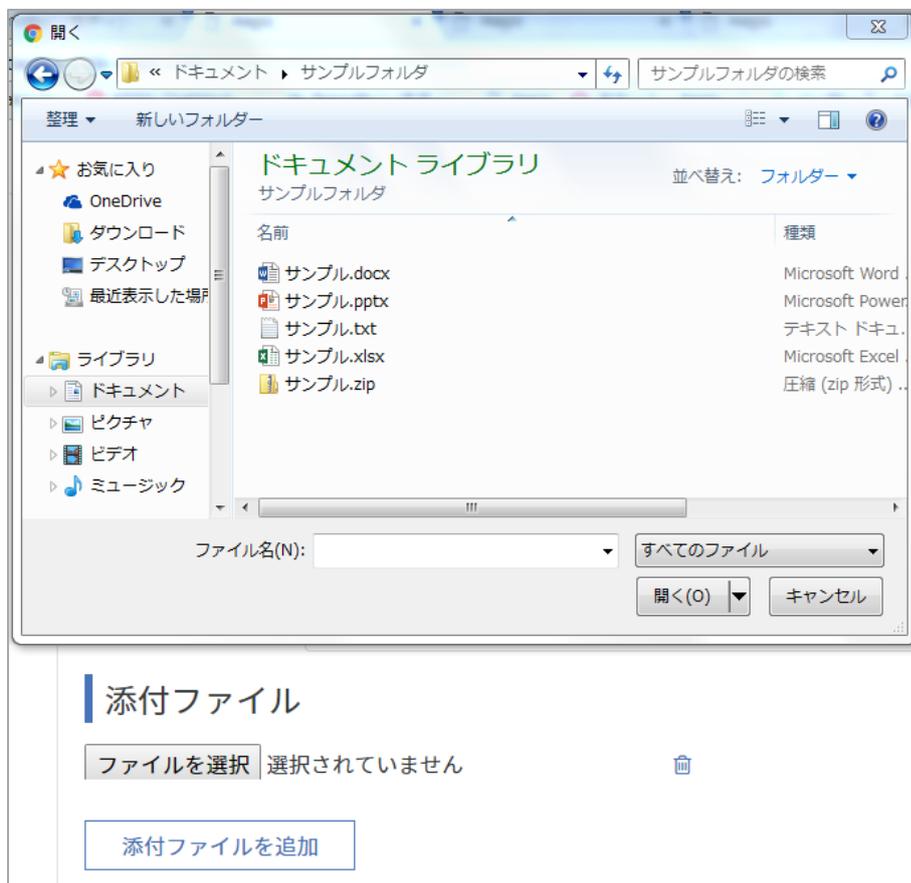
テストスイートに対しファイルを添付することができます。添付したファイルはテストケース編集画面またはテスト実行画面の関連ファイル（手順 [10.13](#) 参照）からダウンロードすることができます。

- (1) テストスイートの新規追加画面から添付ファイルの追加ボタンを押します。



The screenshot shows a web form titled "初期バージョンの設定" (Initial Version Settings). It contains several input fields: "バージョン名" (Version Name) with the value "1.0", "管理者" (Administrator) with a dropdown menu, and "備考" (Remarks) with a text area. Below these is a section titled "添付ファイル" (Attach File) which contains a button labeled "添付ファイルを追加" (Add Attach File). This button is highlighted with a red rectangular box. At the bottom right of the form is a blue button labeled "登録する" (Register).

- (2) ファイル選択のダイアログボックスが表示されたら、添付したいファイルを選択し開くボタンを押します。



- (3) 入力を終わったら登録するボタンを押します。

## 6.2.8. テストスイートを検索する

テストスイート一覧ではテストスイート名やテストスイートバージョン名でキーワード検索かけたり、テストスイートの管理者やテストスイートバージョンのステータスで絞り込むことができます。

テストスイートにタグを設定している場合はタグ検索も行えます。(手順 [6.8.2](#) 参照)

- (1) テストスイート一覧の上部でキーワードタブを選択し、キーワードを入力または管理者で絞り込みのリストから対象の管理者を選択します。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート テストスイート追加

▶ アクティブ 4   ▶ アーカイブ 0

キーワード タグ

テストスイート名で検索   管理者で絞り込み   検索   ステータスで絞り込み   利用不可以外

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
テストスイートサンプル_リリース前試験 <small>設定   追加ヘッダ設定</small>	利用可 2.0 <small>主機能テスト   通信機能テスト   画面遷移テスト   不正系テスト</small> <small>① 直近の実行時間: 未集計</small> <small>② 作成日時: 2022/05/20 17:22</small> <small>設定   コピー   xlsx</small>	QualityForward	162件 <small>開覧   カバレッジパネル   コメント 0</small>
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 <small>設定   追加ヘッダ設定</small>	利用可 1.0 <small>主機能テスト   画面遷移テスト</small> <small>① 直近の実行時間: 未集計</small> <small>② 作成日時: 2022/05/20 17:22</small> <small>設定   コピー   xlsx</small>	QualityForward	97件 <small>編集   カバレッジパネル   コメント 0</small>

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート テストスイート追加

▶ アクティブ 4   ▶ アーカイブ 0

キーワード タグ

テストスイート名で検索   管理者で絞り込み   検索   ステータスで絞り込み   利用不可以外

管理者で絞り込み

- 管理者で絞り込み
- QFtester
- QualityForward
- テスト花子

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
テストスイートサンプル_リリース前試験 <small>設定   追加ヘッダ設定</small>	主機能テスト   通信機能テスト   画面遷移テスト   不正系テスト <small>① 直近の実行時間: 未集計</small> <small>② 作成日時: 2022/05/20 17:22</small> <small>設定   コピー   xlsx</small>	QualityForward	162件 <small>開覧   カバレッジパネル   コメント 0</small>
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 <small>設定   追加ヘッダ設定</small>	利用可 1.0 <small>主機能テスト   画面遷移テスト</small> <small>① 直近の実行時間: 未集計</small> <small>② 作成日時: 2022/05/20 17:22</small> <small>設定   コピー   xlsx</small>	QFtester	97件 <small>編集   カバレッジパネル   コメント 0</small>

- (2) テストスイートバージョンのステータスを選択すると自動で絞り込みが行われます。  
 ※テストスイート一覧表示時は「利用不可以外」がデフォルトで選択されます。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート テストスイート追加

▶ アクティブ 4   ▶ アーカイブ 0

キーワード タグ

テストスイート名で検索   管理者で絞り込み   検索   ステータスで絞り込み   利用不可以外

利用不可以外

- 利用不可以外
- 全て
- 利用可
- 編集待ち
- レビュー待ち
- 利用不可

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
テストスイートサンプル_リリース前試験 <small>設定   追加ヘッダ設定</small>	利用可 2.0 <small>主機能テスト   通信機能テスト   画面遷移テスト   不正系テスト</small> <small>① 直近の実行時間: 未集計</small> <small>② 作成日時: 2022/05/20 17:22</small> <small>設定   コピー   xlsx</small>	QualityForward	162件 <small>開覧   カバレッジパネル</small>
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 <small>設定   追加ヘッダ設定</small>	利用可 1.0 <small>主機能テスト   画面遷移テスト</small> <small>① 直近の実行時間: 未集計</small> <small>② 作成日時: 2022/05/20 17:22</small> <small>設定   コピー   xlsx</small>	QFtester	97件 <small>編集   カバレッジパネル   コメント 0</small>

- (3) キーワード・テストスイート管理者・テストスイートバージョンステータスの各組み合わせでも検索することができます。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート +テストスイート追加

▶ アクティブ 4    📁 アーカイブ 0

キーワード タグ

テストスイート名で検索    管理者で絞り込み    検索

ステータスで絞り込み    利用不可以外

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
テストスイートサンプル_リリース前試験	<span>利用可 2.0</span> <span>主機能テスト</span> <span>送信機能テスト</span> <span>画面遷移テスト</span> <span>不正系テスト</span>	QualityForward	162件

① 直近の実行時間：未集計  
② 作成日時：2022/05/20 17:22

🔍 設定    📄 追加ヘッダ設定    ⚙️ 設定    📄 コピー    📄 xlsx

🔍 閲覧    📄 カバレッジパネル    💬 コメント 0

## 6.2.9. テストスイートの装飾形式設定

テストケース編集画面およびテスト実行画面で、同じ手順のテストケースの表示を薄くし見やすくする設定が可能です。

テストケース編集画面上部のアイコンから、あり・なしの切り替えが可能です。

トップ / 20220221 / テストスイート一覧 / 同手順テストケース - 1.0

装飾形式:  あり

### 同手順テストケース - 1.0のテストケース編集

テストケース編集画面で上の手順と同じテストケースの表示が薄くなります。

装飾設定なし					装飾設定あり				
	優先度 ▼	要求ツリー	要求トレーサビリティID ▼	対象機能：メインアイテム ▼		優先度 ▼	要求ツリー	要求トレーサビリティID ▼	対象機能：メインアイテム ▼
1	A	A-A-1	16	テストケース一覧	1	A	A-A-1	16	テストケース一覧
2	A	A-A-2	16	テストケース一覧	2	A	A-A-2	16	テストケース一覧
3		A-A-2	18	テストケース一覧	3		A-A-2	18	テストケース一覧
4	A	A-A-3	16	テストケース一覧	4	A	A-A-3	16	テストケース一覧

## テストケースのデフォルト装飾形式設定方法

テストスイート・テストサイクル表示時の装飾形式を予め設定しておくことができます。

※ここでの設定はテストサイクル作成時にテストサイクルにも反映されます。

- (1) テストスイート一覧の設定を開きます。
- (2) デフォルト装飾形式を選択します。「プロジェクト設定に従う」を選択した場合は、プロジェクトで指定した装飾形式が反映されます。

The screenshot shows the '基本設定' (Basic Settings) section. It includes a text input field for 'テストスイート名' (Test Suite Name) with a '必須' (Required) label. Below it is a 'テスト要求ツリー' (Test Requirement Tree) dropdown. The 'デフォルト装飾形式' (Default Decoration Style) dropdown is expanded, showing the following options: 'プロジェクト設定に従う' (Follow Project Settings), 'あり' (Yes), and 'なし' (No). The 'プロジェクト設定に従う' option is currently selected and highlighted in blue. A red rectangular box highlights the entire dropdown menu area.

設定が「あり」になっているとテストスイートを開いた際に装飾形式が「あり」の状態が表示されます。

### 6.3. テストケース取込

既存のテストスイートに対して上書きやケースをまとめて追加する際にはテストケース編集画面のテストケース取込を使用します。

※本機能でサポートしているファイル拡張子はxlsxです。

## 6.3.1. テストケース取込

テストケース取込は、既に存在する識別 ID を指定するとその識別 ID のテストケースに対する上書きが行われ、存在しない識別 ID を指定するとテストケースが追加されます。

取込にはテストスイートと Excel でフォーマットを合わせておく必要があります。

- (1) テストケース取込画面で表示されているフォーマットに合わせたエクセルシートを整形します。列の追加・項目名を変更する場合はテストスイートの設定から変更を行う必要があります。

このテストスイートバージョンでは以下のフォーマットのエクセルが取り込めます。  
ブックの一番左側のシートのみが対象となり、他のシートは無視されます。  
1行目（識別ID、優先度、機能カテゴリ、などのヘッダ行）は無視され、2行目から取り込まれます。

列を追加する場合は、テストケースを取り込む前にテストスイートの設定から項目を定義しなおす必要があります。

識別ID	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8
1	A	サンプル							
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

**必須** excelファイル(.xlsx)  
ファイルを選択

手順 1: テストケースが記述されている部分のみを残して、左上を A-1 セルに合わせます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	設計ID-実装ID	機能分類1	機能分類2	属性	テスト条件1	テスト条件2	事前条件
	001-02-01-01	テストチーム・テスト実務のための機能	Excelテストケースのインポート	表	主要Excelフォーマット	xls	Aegisにログインし、テスト環境へ移行する (https://aegis-staging.apps.com/projects/1)
2	001-02-01-02			表	主要Excelフォーマット	xlsx	Aegisにログインし、テスト環境へ移行する (https://aegis-staging.apps.com/projects/1)

手順 2 : A 列に左から “識別 ID”、 “優先度” 列を挿入します。

A	B	C	D	E	F	G	H
識別ID	優先度	設計ID-実装ID	機能分類1	機能分類2	属性	テスト条件1	テスト条件2
1	A	001-02-01-01	テストチーム・テスト実務のための機能	Excelテストケースのインポート	表	主要Excelフォーマット	xls
2	A	001-02-01-02			表	主要Excelフォーマット	xlsx

以下のようなシートをインポートする場合は

識別ID	優先度	設計ID-実装ID	機能分類1	機能分類2	属性	テスト条件1	テスト条件2
1	A	001-02-01-01	テストチーム・テスト実務のための機能	Excelテストケースのインポート	表	主要Excelフォーマット	xls
2	A	001-02-01-02			表	主要Excelフォーマット	xlsx

下図のようにラベルを設定します。

識別IDと優先度列をさきほど追加しましたが、この2列は自動でラベル付けされるので、ここで設定していくのは、「優先度」の右隣、3列目からになります。

### テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	使用中	設計ID・実装ID	<input checked="" type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	機能分類1	<input type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	機能分類2	<input type="radio"/>
項目4のラベル	使用中	属性	<input type="radio"/>
項目5のラベル	使用中	テスト条件1	<input type="radio"/>

※識別 ID はテストケース取込時に必須の項目です。テストケースの更新や追加をする場合に、識別 ID を頼りに行います。

※優先度は特に定義がない場合はすべて A を推奨しております。優先度が未設定の場合テスト実行画面ではグレーアウトされた行になり、テストケース数から除外されます。テストケースではないが、補足的に利用したい行としても活用できます。

	優先度	項目1	項目2	項目3	
1		正しいファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	・エラーが発生せず移ること ・「〇件のテストケース」されること ・インポートしたテスト
2	A	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	・エラーメッセージ「い」が表示されること

- (2) ファイルの用意ができたならテストケース編集画面右上にあるテストケース取込ボタンを押します。

テストスイートのテストケース

📄 サンプル.docx (QualityForward : 2016/11/29)

**+ テストケース取込**

	優先度	項目1	項目2	項目3
1				
2				
3				
4				
5				
6				

- (3) ファイルの準備が整ったら「ファイルを選択」ボタンを押してください。

このテストスイートバージョンでは以下のフォーマットのエクセルが取り込めます。  
ブックの一番左側のシートのみが対象となり、他のシートは無視されます。  
1行目（識別ID、優先度、機能カテゴリ、などのヘッダ行）は無視され、2行目から取り込まれます。  
列を追加する場合は、テストケースを取り込む前にテストスイートの設定から項目を定義しなおす必要があります。

識別ID	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4	項目5	項目6	項目7	項目8
1	A	サンプル							
...	...	...	...	...	...	...	...	...	...

**必須** excelファイル(.xlsx)  
 選択されていません

- (4) ファイル選択のダイアログボックスが表示されたら、インポートしたいファイルを選択し開くボタンを押します。

- (5) ファイルを選択したら登録ボタンを押します。

## テストケースの取込

このテストスイートバージョンでは以下のフォーマットのエクセルが取り込めます。  
**ブックの一番左側のシートのみが対象となり、他のシートは無視されます。**  
 1行目（識別ID、優先度、機能カテゴリ、などのヘッダ行）は無視され、**2行目から**取り込まれます。

列を追加する場合は、テストケースを取り込む前にテストスイートの設定から項目を定義しなおす必要があります。

識別ID	優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作
1	A	サンプル	サンプル	サンプル	サンプル	サンプル
...	...	...	...	...	...	...

必須 excelファイル(.xlsx)

ファイルを選択 サンプルテストケース.xlsx

登録する

## 列の追加

以下のようにテストケース取込時に列の追加を行う場合はあらかじめテストスイートの設定から列の定義をし直す必要があります。

※本手順を省略した場合、テストスイートと取込内容がずれる可能性があります。

テストスイート									
優先度	ID	テスト要素	メインアイテム	サブアイテム	テスト目的	事前条件	テスト手順	期待動作	
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	正しいファイルを取り込んだ場合 ・インポートするエクセルの拡張子が [.xlsx] であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・インポートしたテストケースが全て表示されること	
2	A	16			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が [.xlsx] 以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする		
3	A	16			設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストケースであること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・2つ目以降の項目は無視して登録されていること	

取込ファイル									
識別ID	優先度	ID	メインアイテム	サブアイテム	テスト目的	テスト条件	事前条件	テスト手順	期待動作
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	正しいファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が [.xlsx] であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・インポートしたテストケースが全て表示されること
2	A	16			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が [.xlsx] 以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする		
3	A	16			設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストケースであること	1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする 2.インポートするファイルをクリックする 3.[登録するボタン]をクリックする	・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・2つ目以降の項目は無視して登録されていること	

この列を追加したい

(1) テストスイート一覧から対象のテストスイート設定を開きます

テストスイート一覧				タグリスト	excelインポート	+テストスイート追加
▶ アクティブ 4    📁 アーカイブ 0						
キーワード タグ テストスイート名で検索    管理者で絞り込み    検索				ステータスで絞り込み    利用不可以外		
テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース			
テストスイートサンプル_リリース前試験 <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">設定</span> 追加ヘッダ設定	利用可 2.0 主機能テスト    送信機能テスト    画面遷移テスト    不正系テスト ◎ 直近の実行時間：未集計 📅 作成日時：2022/05/20 17:22 設定    コピー    📄 xlsx	QualityForward	162件	🔍 閲覧	📄 カバレッジパネル	💬 コメント 0
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定    追加ヘッダ設定	利用可 1.0 主機能テスト    画面遷移テスト ◎ 直近の実行時間：未集計 📅 作成日時：2022/05/20 17:22 設定    コピー    📄 xlsx	QualityForward	97件	🔍 編集	📄 カバレッジパネル	💬 コメント 0

(2) テスト定義部を、取り込む Excel のフォーマットに合わせて定義し直します。

### テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	使用中	ID	○
項目2のラベル	使用中	テスト要素	○
項目3のラベル	使用中	メインアイテム	○
項目4のラベル	使用中	サブアイテム	○
項目5のラベル	使用中	テスト目的	○
項目6のラベル	使用中	テスト条件	○
項目7のラベル	使用中	事前条件	○
項目8のラベル	使用中	テスト手順	○
項目9のラベル	使用中	期待動作	○
項目10のラベル	未使用	項目10	○
項目11のラベル	未使用	項目11	○
項目12のラベル	未使用	項目12	○

(3) 設定の変更が完了したら「+テストケース取込」を行います。(手順 [6.3.1](#) 参照)

## 6.4. Excel インポート

Excel インポートでは「5.1.テストスイートを作成する」の手順を踏まずに、エクセルで作成したテストケースを取り込むことでテストスイートを作成することができます。

※本機能でサポートしているファイル拡張子は xlsx および xlsm 形式になります。

## 6.4.1. Excel インポート

エクセルファイルで作成したテストケースをインポートすることができます。

- (1) テストスイート一覧画面右上の excel インポートボタンを押します。



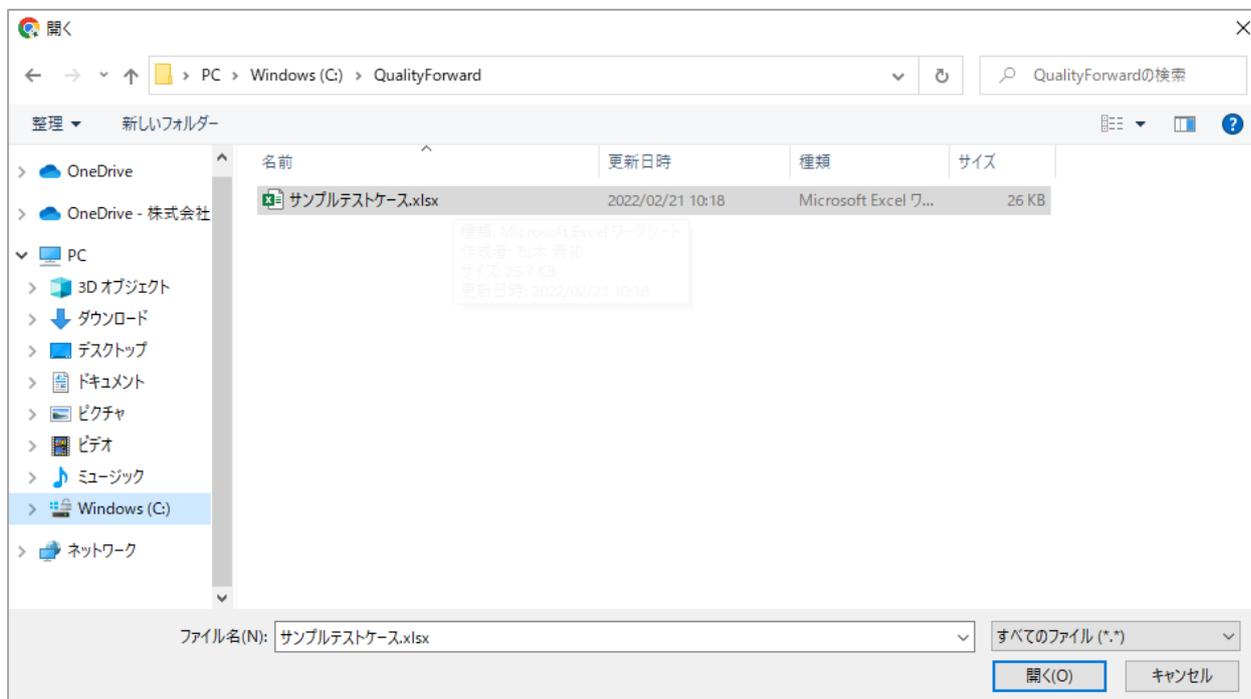
The screenshot shows the 'テストスイート一覧' (Test Suite Overview) page. At the top right, there are three buttons: 'タグリスト', 'excelインポート', and '+テストスイート追加'. The 'excelインポート' button is highlighted with a red box. Below the buttons, there are search filters for 'キーワード' and 'タグ', and a search bar. The main content is a table with columns: 'テストスイート名', 'バージョン名', '管理者', and 'テストケース'. Two test suites are listed: 'テストスイートサンプル\_リリース前試験' (version 2.0) and 'テストスイートサンプル\_主機能遷移網羅' (version 1.0). Each row has action buttons like '閲覧', 'カバレッジパネル', and 'コメント'.

- (2) “ファイルを選択”ボタンを押します。



The screenshot shows a multi-step process for importing an Excel file. Step 1 is 'xlsxファイルのアップロード'. Below the steps, there is a red-bordered box containing the text '必須 excelファイル(xlsx および xlsx形式)' and a button labeled 'ファイルを選択' with the text '選択されていません' next to it. A '次へ' button is located at the bottom right of the dialog.

- (3) ファイル選択のダイアログボックスが表示されたら、インポートしたいファイルを選択し開くボタンを押します。



(4) ファイルを選択したら次へボタンを押します。



(5) インポートするシートを選択します。



(6) テストスイート名を入力し、次へボタンを押します。

1. xlsファイルのアップロード    2. 対象シートの選択    3. インポート開始行の指定    4. インポート列の指定    5. 優先度列の指定    6. インポートの実行

必須 対象シート

TestCase

必須 シートにつけるテストスイート名

サンプルテストケース

戻る    次へ

- (7) 左のラジオボタンでヘッダとして取り込む行を選択し、次へボタンを押します。選択した行が項目名としてテストスイートに登録されます。

1. xlsファイルのアップロード    2. 対象シートの選択    3. インポート開始行の指定    4. インポート列の指定    5. 優先度列の指定    6. インポートの実行

ラジオボタンでインポート開始行を指定してください。  
なお、指定された開始行はヘッダ行として扱われますので、ヘッダのとなる行も含めて指定をお願いします。

<input checked="" type="checkbox"/>	種別ID	優先度	ID	メインアイテム	サブアイテム	テスト目的	テスト条件	事前条件	テスト手順
<input type="checkbox"/>		A	17		hoge		サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	・インポートするExcelの拡張子が[xlsx]以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択]をクリックする 2.ポートするファイルを選択する 3.[登録する]をクリックする
<input type="checkbox"/>		A	18		hoge		設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストケースであること	1.[ファイルを選択]をクリックする 2.ポートするファイルを選択する 3.[登録する]をクリックする
<input type="checkbox"/>		A	17		hoge		ケースが0件の場合	・テストケースが0件であること	1.[ファイルを選択]をクリックする 2.ポートするファイルを選択する 3.[登録する]をクリックする

戻る    次へ

- (8) 上部のチェックボックスで取り込む列を選択します。取り込み時は全ての列にチェックが入っているので不要な列のチェックを外します。標準で最大 25 列まで選択することができます。(申し込み時オプションにより異なります) 取り込まれる列は緑色で表示されます。列の選択が完了したら次へボタンを押します。

1. xlsファイルのアップロード    2. 対象シートの選択    3. インポート開始行の指定    4. インポート列の指定    5. 優先度列の指定    6. インポートの実行

チェックボックスでインポートする列を指定してください。列は最大25列まで指定できます。 指定された列数 10 / 25  
 なお、ここでのインポート内容はテストケースの内容のみで、テスト実行者やテスト実行日、テスト結果などのテスト実行時に書き込む列の内容は別途インポートする機能がありますので、ここでの指定は不要です。

識別ID	優先度	ID	メインアイテム	サブアイテム	テスト目的	テスト条件	事前条件	テスト手順
2	A	17		hoge		サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が[xlsx]以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択ボタンをクリックする]2.インポートするファイルをクリックする3.[登録するボタン]をクリックする
3	A	18		hoge		設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストケースであること	1.[ファイルを選択ボタンをクリックする]2.インポートするファイルをクリックする3.[登録するボタン]をクリックする
5	A	17		hoge		ケースが0件の場合	・テストケースが0件であること	1.[ファイルを選択ボタンをクリックする]2.インポートするファイルをクリックする3.[登録するボタン]をクリックする

- (9) 確認画面に遷移するので、優先度の設定がある場合は優先度を入力してあるカラムを選択し、次へボタンを押します。指定なしの場合は全てのテストケースに「A」が付与されます。  
 ※優先度は「A~J」のいずれかを指定できます。それ以外の文字は全て空欄で登録されます。

1. xlsファイルのアップロード    2. 対象シートの選択    3. インポート開始行の指定    4. インポート列の指定    5. 優先度列の指定    6. インポートの実行

ここから、テスト実行計画時のスコープ指定の際に使用することが可能な「優先度」に該当する列があれば、指定してください。  
 なお、優先度列のセル内容は「A, B, C, D, E, F, G, H, I, J」のいずれかである必要があります。指定した列の内容がルールに違反している場合は一律「A」として取り込まれます。  
 また、「指定しない」の場合は、別途すべて「A」とした優先度列をインポート時に自動で作成します。

優先度列

- 指定なし
- 指定なし
- 識別ID
- 優先度
- ID
- メインアイテム
- サブアイテム
- テスト目的
- テスト条件
- 事前条件
- テスト手順
- 期待動作

- (10) 間違いがなければ“インポートの実行”ボタンを押します。選択し直す場合は戻るボタンを押します。

1. xlsxファイルのアップロード   2. 対象シートの選択   3. インポート開始行の指定   4. インポート列の指定   5. 優先度列の指定   6. インポートの実行

インポート対象のテストケース数は97件です。以下に冒頭の最大50行表示しています。  
これらで問題なければインポートを実行してください。

識別ID	優先度列	優先度	ID	メインアイテム	サブアイテム	テスト目的	テスト条件	事前条件	テスト手順
1	2	A	17		hoge		サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が[xlsx]以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと	1.[ファイルを選択]をクリックする 2.テストスイートを追加するためのテストスイートを作成して[登録]をクリックする
2	3	A	18		hoge		設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストケースであること	1.[ファイルを選択]をクリックする 2.テストスイートを追加するためのテストスイートを作成して[登録]をクリックする
3	5	A	17		hoge		ケースが0件の場合	・テストケースが0件であること	1.[ファイルを選択]をクリックする 2.テストスイートを追加するためのテストスイートを作成して[登録]をクリックする

戻る   **インポートの実行**

## 6.5. テストケース作成

テストスイートの作成を終えたら、テストケースの追加を行います。ケースの追加方法は2種類（オンライン編集・エクセルインポート）あります。

### 6.5.1. オンライン編集

WEB画面上でテストケースの追加を行います。

- (1) 作成したテストスイートを開きます。

サンプルスイート2 - 1.0のテストケース編集

	優先度 ▼	項目1 ▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目4 ▼
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					

- (2) 各項目に直接入力を行えます。入力内容は自動で保存されます。

サンプルスイート2-1.0のテストケース編集

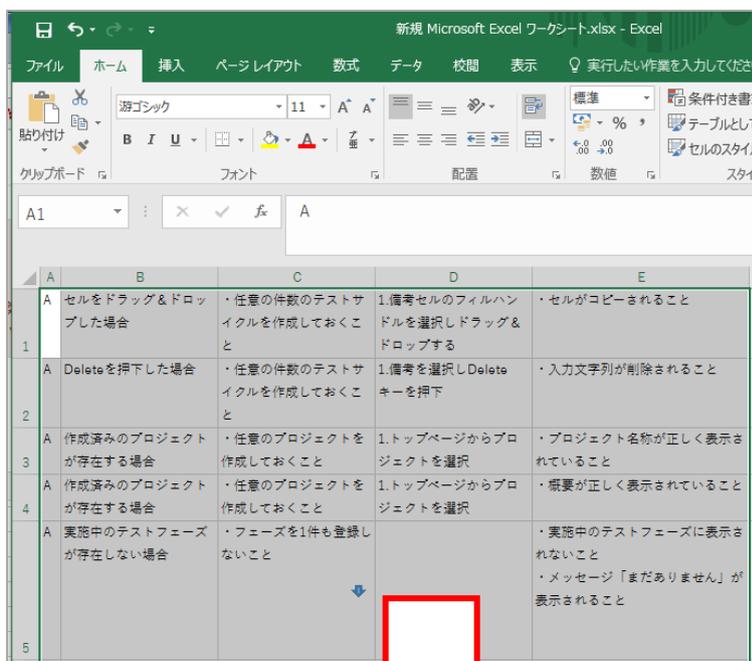
	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1	A	サンプルデータ			
2	B				
3	C				
4	A				
5	A				
6					

(3) Excel のオートフィルのように簡単にコピーができます。

サンプルスイート2-1.0のテストケース編集

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1	A	サンプルデータ			
2	B	サンプルデータ			
3	C	サンプルデータ			
4	A	サンプルデータ			
5	A	サンプルデータ			
6					
7					

(4) Excel からコピーしてそのまま貼り付けることも可能です。



テストスイートのテストケース

サンプル.docx (QualityForward : 2016/11/29)

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
235	A	セルをドラッグ&ドロップした場合	・任意の件数のテストサイクルを作成しておくこと	1.備考セルのフィルハンドルを選択しドラッグ&ドロップする	・セルがコピーされること
236	A	Deleteを押下した場合	・任意の件数のテストサイクルを作成しておくこと	1.備考を選択しDeleteキーを押下	・入力文字列が削除されること
237	A	作成済みのプロジェクトが存在する場合	・任意のプロジェクトを作成しておくこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・プロジェクト名称が正しく表示されていること
238	A	作成済みのプロジェクトが存在する場合	・任意のプロジェクトを作成しておくこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・概要が正しく表示されていること
239	A	実施中のテストフェーズが存在しない場合	・フェーズを1件も登録しないこと		・実施中のテストフェーズに表示されないこと ・メッセージ「まだありません」が表示されること
240	A	実施中のテストフェーズが存在しない場合	・テスト実施日を期間に含むフェーズが1件もないこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・実施中のテストフェーズに表示されないこと
241	A	完了したテストフェーズが存在しない場合	・フェーズ終了日がテスト実施日より前のフェーズが存在しないこと	1.トップページからプロジェクトを選択	・完了したテストフェーズに表示されないこと ・メッセージ「まだありません」が表示されること

(5) 列の幅も自由に変更可能です。

サンプルスイート2-1.0のテストケース編集

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1	A	サンプルデータ			
2	B	サンプルデータ			
3	C	サンプルデータ			
4	A	サンプルデータ			
5	A	サンプルデータ			
6					
7					

(6) テストケースにフィルタをかけ、まとめて編集も可能です。

(7) テキストでフィルタをかける場合は、一度クリアをクリックしてからテキスト入力を行い、表示されたフィルタにチェックを入れます。

(8) 右クリックで行の追加や削除が行えます。

	優先度	要求トレーサビリティID	対象機能：メインアイテム
9	A	16	
10	A	16	
13	A	16	

- 1行を上へ挿入
- 1行を下へ挿入
- 選択行分を上へ挿入
- 選択行分を下へ挿入
- 行を削除

- (9) また、Ctrl+F でテストケースのキーワード検索を行うことができます。検索したいキーワードを入力し、Enter を押すと検索にヒットしたセルがフォーカスされます。



## 6.5.2. テストケース編集画面上にコメントを表示する

「コメントを表示」ボタンを押すとテストケースを編集しながらコメントをやり取りすることができます。



## 6.6. テストスイート設定を変更・削除する

テストスイートの情報を変更・削除する方法を説明します。テストスイートの情報は設定画面か

らいつでも変更可能です。

## 6.6.1. テストスイート設定を変更する

- (1) テストスイート一覧画面から変更したいテストスイート名下の設定をクリックします。

The screenshot shows the 'テストスイート一覧' (Test Suite List) page. At the top right, there are buttons for 'タグリスト', 'excelインポート', and '+テストスイート追加'. Below these are filters for 'アクティブ' (4) and 'アーカイブ' (0). A search bar is present with 'キーワード' and 'タグ' tabs, and a '管理者で絞り込み' dropdown. The main table has columns for 'テストスイート名', 'バージョン名', '管理者', and 'テストケース'. The first row is for 'テストスイートサンプル\_リリース前試験' (version 2.0), with '設定' (Settings) and '追加ヘッダ設定' (Add Header Settings) buttons highlighted in a red box. The second row is for 'テストスイートサンプル\_主機能遷移網羅' (version 1.0).

- (2) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押してください。

## 6.6.2. テストスイートをアーカイブする

テストスイートもプロジェクトと同様にアーカイブし、整理することができます。アーカイブはプロジェクト管理者以上の権限を持つユーザのみ実行できます。テストスイート一覧からプロジェクトを除外する機能のため、これまで同様編集を行うことが可能です。

- (1) アーカイブしたいテストスイートの設定をクリックします。

This screenshot is identical to the one in section 6.6.1, showing the 'テストスイート一覧' page with the '設定' button for the first test suite highlighted in red.

- (2) テストスイート設定画面下部のアーカイブするボタンを押します。



- (3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



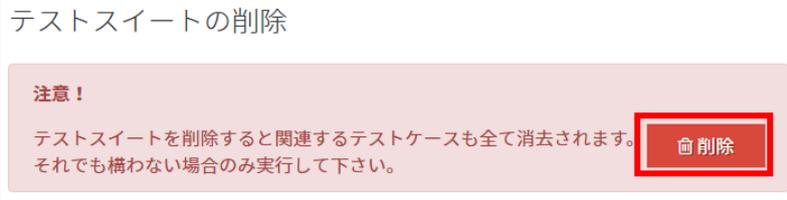
- (4) テストスイート一覧のアーカイブタブをクリックするとアーカイブしたテストスイートを見ることができます。アーカイブしたテストスイートを元に戻すことも可能です。同様の手順でアーカイブから戻すボタンを押すとアクティブなテストスイート一覧に表示されます。



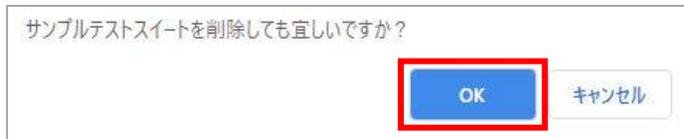
### 6.6.3. テストスイートを削除する

テストスイートの削除はテストスイート設定画面から行うことができます。テストスイートを削除するとそのテストスイートが持つバージョン情報も全て削除されます。

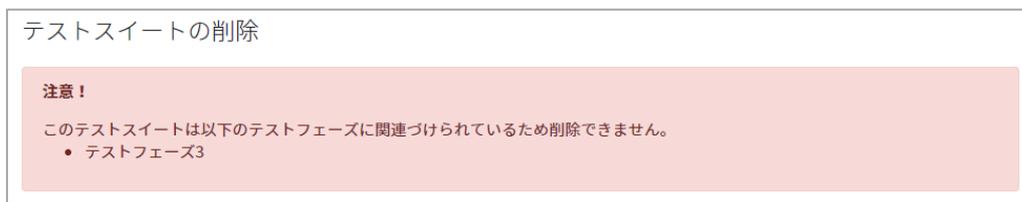
- (1) テストスイート設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。



(2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



※いずれかのバージョンがテストフェーズに紐付けられている場合は、テストスイートを削除することができません。紐付けを解除してから削除する必要があります。(手順 [6.6.4 参照](#))

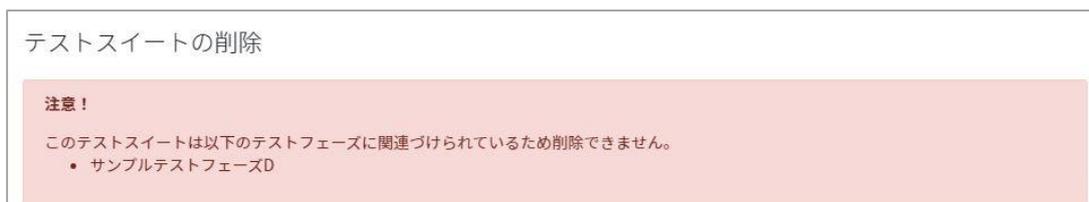


## 6.6.4. テストフェーズとの紐付けの解除方法

テストスイートはテストフェーズと紐付けられている場合、削除することができません。テストフェーズとの紐付けを解除するには、テストフェーズを削除(手順 [7.4.3 参照](#))するか、テストフェーズの紐付け設定を変更する必要があります。

※いずれの操作でもテストフェーズ配下のテストサイクルは削除されますので、必要に応じてテストサイクルのエクスポートを行ってください。

(1) テストスイートの設定より紐付けられているテストフェーズを確認します。



(2) 操作画面左側のメニューからテストフェーズを選択し、対象のテストフェーズの欄の「設定」

をクリックします。テストフェーズの設定画面に遷移すると、紐付けを解除したいテストスイートが使用中のため、解除できない状態であることが確認できます。



(3) テストフェーズ一覧画面に戻り、任意の「スイート一覧」ボタン、「サイクル一覧」ボタンを押下し、対象のテストサイクルの「設定」ボタンを押します。



### 対象のテストスイート一覧

対象のテストスイート	サイクル総数	未実施	テスト中	レビュー待ち	完了	
サンプルスイートB-1.0 📅 2020/10/30 ~ 2020/11/13	1件	0件	0件	1件	0件	<input type="button" value="📄 サイクル一覧"/>
サンプルスイートD-1.0 📅 まだテストサイクルがありません	0件	0件	0件	0件	0件	<input type="button" value="📄 サイクル一覧"/>



### テストサイクル名 ▲

テストケース\_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト  
▼ A, B, C  
📅 2022/04/12 ~ 2022/04/26

**テスト中**

- (4) テストサイクルの設定画面下部、「テストサイクルの削除」より「削除」ボタンを押してテストサイクルを削除します。

### テストサイクルの削除

**注意!**  
テストサイクルを削除すると関連するテスト結果のデータが全て消去されます。  
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

- (5) 手順 (2) と同様の操作でテストフェーズの設定画面へ遷移します。  
「テストスイートの紐付け」の「選択したもの」内にて、テストサイクルを消去したテストスイートから「使用中」の表示がなくなり、項目を移動させることができます。

### テストスイートの紐付け

選択可能なもの (1件, 60 テストケース)

名前かタグ名で検索

サンプルスイートC-1.0  
📄 テストケース: 60件  
🕒 最近の実行時間: 0.1  
📅 作成日時: 2020/10/08 13:39 (管理者無し)

選択したもの (2件, 76 テストケース)

名前かタグ名で検索

**使用中** サンプルスイートB-1.0  
📄 テストケース: 60件  
🕒 最近の実行時間: 0.0  
📅 作成日時: 2020/10/08 13:40 (管理者無し)

サンプルスイートD-1.0  
📄 テストケース: 16件  
🕒 最近の実行時間: 未集計  
📅 作成日時: 2020/10/30 11:14 (管理者無し)

### 連携するBTS

BTS連携に利用するのは各個人のクレデンシャルではなく、専用に作成した物をご利用ください。

BTS  
なし ▼

- (6) 対象のテストスイートをクリックして「選択可能なもの」へ移動後、「更新する」ボタンを押すと紐付けの解除が完了します。

テストスイートの紐付け

選択可能なもの (2件、76 テストケース)

名前かタグ名で検索

サンプルスイートC-1.0  
④ テストケース: 60 件  
⓪ 直近の実行時間: 0.1  
📅 作成日時: 2020/10/08 13:39 (管理者無し)

サンプルスイートD-1.0  
④ テストケース: 16 件  
⓪ 直近の実行時間: 未集計  
📅 作成日時: 2020/10/30 11:14 (管理者無し)

選択したもの (1件、60 テストケース)

名前かタグ名で検索

使用中 サンプルスイートB-1.0  
④ テストケース: 60 件  
⓪ 直近の実行時間: 0.0  
📅 作成日時: 2020/10/08 13:40 (管理者無し)

連携するBTS

BTS連携に利用するのは各個人のクレデンシャルではなく、専用に作成した物をご利用ください。

BTS  
なし

更新する

## 6.7. テストスイートにヘッダを追加する

テストスイートのヘッダ行を追加しカスタマイズすることができます。※7行までを推奨しています

- (1) テストスイート一覧から追加ヘッダ設定をクリックします。

テストスイート一覧

タグリスト excel-インポート +テストスイート追加

▶ アクティブ 4    📁 アーカイブ 0

キーワード タグ  
テストスイート名で検索    管理者で絞り込み    検索    ステータスで絞り込み    利用不可以外

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
テストスイートサンプル_リリース前試験 🔗 設定    📄 追加ヘッダ設定	利用可 2.0 主機能テスト   通信機能テスト   画面遷移テスト   不正系テスト ⓪ 直近の実行時間: 未集計 📅 作成日時: 2022/05/20 17:22 🔗 設定    📄 コピー    📄 xlsx	QualityForward	162件 🔗 閲覧    📄 カバレッジパネル    🗨️ コメント 0
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 🔗 設定    📄 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 主機能テスト   画面遷移テスト ⓪ 直近の実行時間: 未集計 📅 作成日時: 2022/05/20 17:22 🔗 設定    📄 コピー    📄 xlsx	QualityForward	97件 🔗 編集    📄 カバレッジパネル    🗨️ コメント 0

- (2) 追加ヘッダはJSON形式で入力することができます。

## テストスイートの追加ヘッダ設定

### 追加ヘッダ設定

ヘルプ

```
1 [
2 ]
```

### プレビュー

優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグID	備考

更新する

(3) 入力を行うと実際に表示される形式でプレビューができます。

### 追加ヘッダ設定

ヘルプ

```
1 [
2 ["sample1_1", "sample1_2", "sample1_3", "sample1_4"],
3 ["sample2_1", {"label": "sample_2_2", "colspan": 3}, "sample2_5"]
4 ]
```

### プレビュー

sample1_1	sample1_2	sample1_3	sample1_4							
sample2_1	sample_2_2			sample2_5						
優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグ

更新する

※入力方法が不明な場合は画面右上のヘルプをご参照ください。

(4) 追加したヘッダはテストサイクルにも反映されます。

sample1_1	sample1_2	sample1_3	sample1_4	sample2_5			
sample2_1	sample_2_2						
優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	
1	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	
2	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能C → 機能E → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	
3	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能D → 機能C → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	
4	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能D → 機能E → 機能Cの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	
5	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能E → 機能C → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	
6	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする	機能A → 機能B → 機能E → 機能D → 機能Cの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	

## 6.8. 新しいバージョンのテストスイートを作成する

テストスイートは複製してバージョン管理することができます。既にあるテストスイートを元に変更を行いたい場合や、前回のテストから一部のテストケースを抜粋してテストしたい時などに使用できます。

### 6.8.1. 新しいバージョンの基本設定

(1) テストスイート一覧から元にしたいたいテストスイートバージョンのコピーをクリックします。

テストスイート一覧

タグリスト | excelインポート | + テストスイート追加

▶ アクティブ 4 | ◻ アーカイブ 0

キーワード タグ

テストスイート名で検索 | 管理者で絞り込み | 検索 | ステータスで絞り込み | 利用不可以外

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定   追加ヘッダ設定	利用可 2.0 主機能テスト   送信機能テスト   画面遷移テスト   不正系テスト ① 直近の実行時間: 未集計 ② 作成日時: 2022/05/20 17:22 設定   <b>コピー</b>   xlsx	QualityForward	162件 開覧   カバレッジパネル   コメント 0
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定   追加ヘッダ設定	利用可 1.0 主機能テスト   画面遷移テスト ① 直近の実行時間: 未集計 ② 作成日時: 2022/05/20 17:22 設定   コピー   xlsx	QualityForward	97件 編集   カバレッジパネル   コメント 0

(2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

1.0をもとにして新しいバージョンを作成します。よろしいですか？

OK

キャンセル

- (3) コピーしたテストスイートのバージョン設定画面に遷移したら、任意のバージョン名を入力します。

## テストスイートサンプル\_リリース前試験のバージョン設定

### 基本設定

**必須** バージョン名

1.0

タグ

④タグはカンマ区切りで複数指定できます

管理者

ステータス

利用不可

備考

### ロック設定

この設定は管理者のみが変更できます  
ロックすることでこのバージョンを読込専用にすることができます

ロックする

一言メモ

### 添付ファイル

添付ファイルを追加

更新する

## 6.8.2. テストスイートバージョンにタグ付けをする

テストスイートへタグを設定することで、大量にあるテストスイートも管理しやすくなります。

- (1) タグはカンマ区切りで複数設定することができます。

基本設定

必須 バージョン名

1.0

タグ

主機能テスト,通信機能テスト,画面遷移テスト

タグはカンマ区切りで複数指定できます

管理者

QualityForward

ステータス

利用不可

備考

このテストスイートはQualityForwardの機能をお試しいただくためのサンプルです。  
テストスイートの備考欄は、プロジェクト概要と同様にほとんどのHTMLタグや画像挿入機能が利用できます。

- (2) 入力が終わったら更新するボタンを押します。

添付ファイル

添付ファイルを追加

更新する

- (3) テストスイート一覧に入力したタグが表示されるようになります。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート テストスイート追加

アクティブ 4 アーカイブ 0

キーワード タグ

テストスイート名で検索 管理者で絞り込み 検索 ステータスで絞り込み 利用不可以外

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	3.0.0 主機能テスト,通信機能テスト,画面遷移テスト,不正系テスト 作成日時: 2022/05/20 17:22 設定 コピー xlsx	QualityForward	162件 開覧 カバレッジパネル コメント 0
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定 追加ヘッダ設定	1.0 画面遷移テスト 最近の実行時間: 未集計 作成日時: 2022/05/20 17:22 設定 コピー xlsx	QualityForward	97件 編集 カバレッジパネル コメント 0

- (4) キーワード検索横のタグのタブをクリックすることで、タグ名で検索し絞り込むことができます。※タグを検索する場合は完全一致である必要があります。



- (5) また、テストスイート一覧の右上にあるタグリストから絞り込むことも可能です。



- (6) タグリストから絞り込みたいタグ名をクリックします。



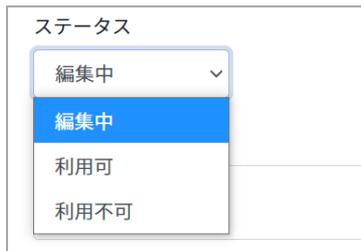
- (7) 選択したタグで絞り込まれます。



### 6.8.3. テストスイートバージョンのステータスを設定する

テストスイートの各バージョンはステータスを設定することにより、テスト実施対象とすることができます。

- (1) ステータスを利用可に設定することでテストフェーズに紐付けることが可能となります。編集集中または利用不可の場合はテストフェーズ紐付け画面に表示されません。



A screenshot of a dropdown menu titled "ステータス" (Status). The menu is open, showing four options: "編集集中" (In Editing), "編集集中" (In Editing), "利用可" (Available), and "利用不可" (Unavailable). The first "編集集中" option is highlighted with a blue background.

- (2) 入力が終わったら更新するボタンを押します。

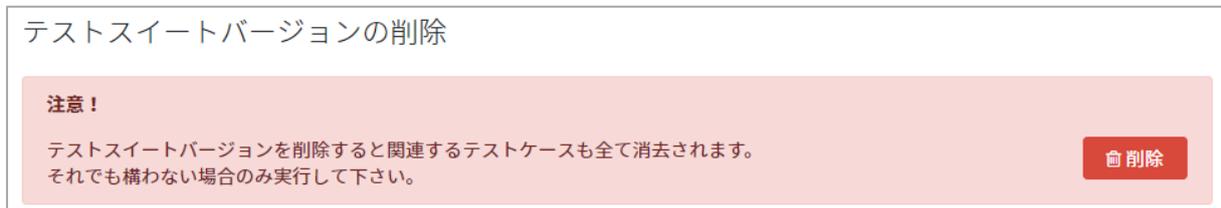


A screenshot of a file upload interface. It shows a text input field with "添付ファイル" (Attach File) and a file name "取り込みサンプル.xlsx (肥前遼太郎: 2020/09/03)". Below the input is a button "添付ファイルを追加" (Add Attach File). At the bottom right, there is a blue button "更新する" (Update) which is highlighted with a red box.

## 6.9. テストスイートバージョン設定を変更・削除する

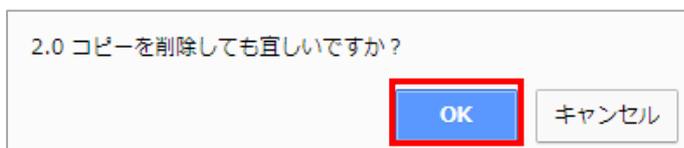
テストスイートのバージョンはバージョン毎に設定画面から削除することができます。

- (1) バージョン設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。



A screenshot of a confirmation screen titled "テストスイートバージョンの削除" (Delete Test Suite Version). It features a red warning box with the text: "注意！ テストスイートバージョンを削除すると関連するテストケースも全て消去されます。それでも構わない場合のみ実行して下さい。" (Warning! Deleting the test suite version will delete all related test cases. Please execute only if you are sure you do not mind this.) To the right of the warning box is a red button with a trash icon and the text "削除" (Delete).

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



A screenshot of a confirmation dialog box with the text "2.0 コピーを削除しても宜しいですか？" (Is it okay to delete the 2.0 copy?). At the bottom, there are two buttons: "OK" (highlighted with a red box) and "キャンセル" (Cancel).

※テストフェーズに紐付けられている場合は、テストスイートバージョンを削除することができません。紐付けを解除してから削除する必要があります。

#### テストスイートバージョンの削除

##### 注意！

このテストスイートバージョンは以下のテストフェーズに関連づけられているため削除できません。

- テストフェーズ2
- テストフェーズ1

## 6.10. テストスイートをロックする

作成したテストスイートはロックをかけることができます。ロックのかかったテストスイートは編集ができず、閲覧のみが可能となります。テナント管理者またはプロジェクト管理者がロック・ロック解除をすることができます。

(1) ロックしたいテストスイートのバージョンの設定画面を開きます。

テストスイート一覧

▶ アクティブ 4    ▣ アーカイブ 0

キーワード    タグ

テストスイート名で検索    管理者で絞り込み    検索

テストスイート名 ▲	バージョン名
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定    追加ヘッダ設定	利用可 2.0 主機能テスト    通信機能テスト    画面遷移テスト    不正系テスト ① 直近の実行時間：未集計 ② 作成日時：2022/05/20 17:22 設定    コピー    xlsx
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定    追加ヘッダ設定	利用可 1.0 主機能テスト    画面遷移テスト ① 直近の実行時間：未集計 ② 作成日時：2022/05/20 17:22 設定    コピー    xlsx

(2) 設定画面のロック設定の「ロックする」にチェックを入れます。

ロック設定

この設定は管理者のみが変更できます  
ロックすることでこのバージョンを読取専用にすることができます

ロックする

一言メモ

(3) 一言メモは任意でご入力いただけます。

ロック設定

この設定は管理者のみが変更できます  
ロックすることでこのバージョンを読取専用にすることができます

ロックする

一言メモ

(4) 入力が終わったら更新するボタンを押します。

ロック設定

この設定は管理者のみが変更できます  
ロックすることでこのバージョンを読取専用にすることができます

ロックする

一言メモ

添付ファイル

(5) テストスイート一覧のバージョン名横に鍵マークが表示され、対象のテストスイートは閲覧のみが可能となります。

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用可 2.0 主機能テスト   通信機能テスト   画面遷移テスト   不正系テスト ① 直近の実行時間: 未集計 ② 作成日時: 2022/05/20 17:22 設定 コピー xlsx	QualityForward	162件
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 主機能テスト   画面遷移テスト ① 直近の実行時間: 未集計 ② 作成日時: 2022/05/20 17:22 設定 コピー xlsx	QualityForward	97件

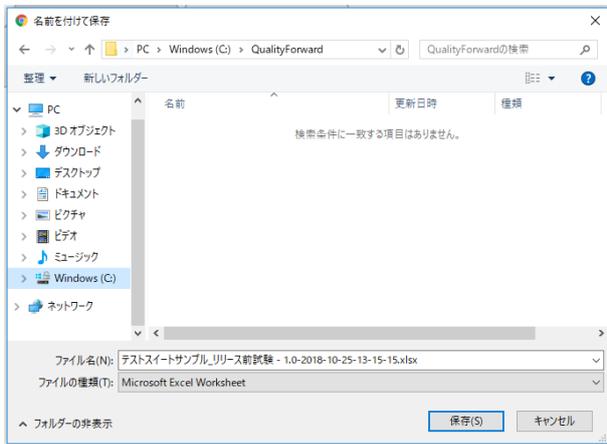
## 6.11. テストスイートをダウンロードする

オンラインで作成したテストケースは Excel 形式でダウンロードして保存しておくことが可能です。

- (1) テストスイート一覧画面を開き、ダウンロードしたいテストスイートのバージョン下部にある xlsx をクリックします。

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用可 2.0 主機能テスト   通信機能テスト   画面遷移テスト   不正系テスト ① 直近の実行時間: 未集計 ② 作成日時: 2022/05/20 17:22 設定 コピー <b>xlsx</b>	QualityForward	162件
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 主機能テスト   画面遷移テスト ① 直近の実行時間: 未集計 ② 作成日時: 2022/05/20 17:22 設定 コピー xlsx	QualityForward	97件

- (2) ダイアログボックスが開いたら保存先を選択し、ファイル名を入力し保存ボタンを押します。



## 6.12. カバレッジパネルを利用する

作成したテストスイートに対し、どんな機能・観点に向けたテストケースがどれくらい存在するかを確認できます。このカバレッジパネルはテストの進捗には影響されません。

(1) テストスイート一覧で確認したいテストスイートの設定画面を開きます。

テストスイート一覧 タグリスト excelインポート + テストスイート追加

▶ アクティブ 4    ▢ アーカイブ 0

キーワード タグ  
    管理者で絞り込み        ステータスで絞り込み    利用不可以外

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
<a href="#">設定</a> <a href="#">追加ヘッダ設定</a> テストスイートサンプル_リリース前試験	利用可 2.0 主機能テスト    通信機能テスト    画面遷移テスト    不正系テスト ◎ 直近の実行時間: 未集計 ☰ 作成日時: 2022/05/20 17:22 <a href="#">設定</a> <a href="#">コピー</a> <a href="#">xlsx</a>	QualityForward	162件 <a href="#">開覧</a> <a href="#">カバレッジパネル</a> <a href="#">コメント</a> 0
<a href="#">設定</a> <a href="#">追加ヘッダ設定</a> テストスイートサンプル_主機能遷移網羅	利用可 1.0 主機能テスト    画面遷移テスト ◎ 直近の実行時間: 未集計 ☰ 作成日時: 2022/05/20 17:22 <a href="#">設定</a> <a href="#">コピー</a> <a href="#">xlsx</a>	QualityForward	97件 <a href="#">編集</a> <a href="#">カバレッジパネル</a> <a href="#">コメント</a> 0

(2) カバレッジパネル設定の有効化にチェックを入れます。

### テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	使用中	項目1	<input type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	項目2	<input type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	項目3	<input checked="" type="radio"/>
項目4のラベル	使用中	項目4	<input type="radio"/>
項目5のラベル	使用中	項目5	<input type="radio"/>

- (3) カバレッジパネルの集計に利用したいラベルの右側にあるラジオボタンにチェックを入れます。項目を選択後、ページ下部の「更新する」ボタンを押してテストスイート一覧画面へ戻ります。

### テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	使用中	項目1	<input type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	項目2	<input type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	項目3	<input checked="" type="radio"/>
項目4のラベル	使用中	項目4	<input type="radio"/>
項目5のラベル	使用中	項目5	<input type="radio"/>

- (4) テストスイート一覧右側にあるカバレッジパネルボタンを押します。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート テストスイート追加

▶ アクティブ 15    📁 アーカイブ 0

キーワード タグ

テストスイート名で検索    管理者で絞り込み    検索    ステータスで絞り込み    利用不可以外

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
ケースA <small>設定 追加ヘッダ設定</small>	<b>利用可</b> 1.0 <small>直近の実行時間：未集計 作成日時：2022/02/25 10:58</small> <small>設定 コピー xlsx</small>	QFtester	0件
テスト1 <small>設定 追加ヘッダ設定</small>	<b>利用可</b> 1.0 <small>直近の実行時間：未集計 作成日時：2022/02/25 16:40</small> <small>設定 コピー xlsx</small>	指定なし	96件

- (5) カバレッジパネルが表示されます。ここで集計されている件数はテスト対象（優先度の入力がある）となるテストケース数です。

テストスイートサンプル\_リリース前試験 - 1.0 のカバレッジパネル

## 6.13. テストスイートにコメントを残す

各テストスイートバージョンには掲示板が設置されており、プロジェクト内のユーザ同士でコメントのやり取りを行うことができます。コメントボタンには投稿されたコメントの件数が表示されます。

- (1) テストスイート一覧からコメントボタンを押します。

テストスイート一覧

タグリスト excelインポート テストスイート追加

アクティブ 4 アーカイブ 0

キーワード タグ

テストスイート名で検索 管理者で絞り込み 検索 ステータスで絞り込み 利用不可以外

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
テストスイートサンプル_リリース前試験 設定 追加ヘッダ設定	利用可 2.0 主機能テスト   通信機能テスト   画面遷移テスト   不正系テスト ① 直近の実行時間: 未集計 ② 作成日時: 2022/05/20 17:22 設定 コピー xlsx	QualityForward	162件 開覧 カバレッジパネル コメント 0
テストスイートサンプル_主機能遷移網羅 設定 追加ヘッダ設定	利用可 1.0 主機能テスト   画面遷移テスト ① 直近の実行時間: 未集計 ② 作成日時: 2022/05/20 17:22 設定 コピー xlsx	QFtester	97件 編集 カバレッジパネル コメント 0

- (2) 任意のメッセージを入力し、投稿ボタンを押すとコメントが投稿されます。  
コメントにはメンション機能があり、投稿時に通知メールを指定の宛先に送信することができます。コメント入力欄に "@" を入力するとプルダウンメニューが表示され、プロジェクト内のユーザを選択することができます。"@all" を選択するとプロジェクト内のすべてのユーザに向けて通知メールを送信することができます。

サンプルテスト - 1.0のコメント一覧

コメントを入力

投稿

QualityForward 2021/08/27 15:06  
@all コメントを確認してください

QualityForward 2021/08/27 15:05  
サンプルコメント

- (3) プロジェクト管理者以上の権限を持つユーザはコメントの削除も行うことができます。投稿したコメントの名前の横にあるゴミ箱マークをクリックします。

サンプルテスト - 1.0のコメント一覧

コメントを入力

投稿

 QualityForward 2021/08/27 15:06 

@all コメントを確認してください

 QualityForward 2021/08/27 15:05 

サンプルコメント

- (4) コメント削除の確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

コメントを削除しても宜しいですか？

OK キャンセル

## 6.14. テストスイートのレビューのワークフロー

テストスイートにレビューのワークフロー機能です。指定したレビューワーにレビュー依頼のメールが送信され、やり取りはテストスイートのコメント一覧に投稿されます。

### 6.14.1. レビュー依頼を送る

#### レビュー依頼者の操作

- (1) プロジェクト設定でテストスイートのレビューワーのメールアドレスを指定します。メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます。

## 基本設定

**必須** プロジェクト名

01.サンプルプロジェクト

**必須** 概要説明

  
QualityForward をトライアルいただいておりますユーザー様へ、機能を一通りご覧いただけるサンプルプロジェクトです。

この概要欄は自由に編集でき、<span style="color:red">ほとんどのHTMLタグ</span>が利用可能です。プロジェクトの説明や周知事項等にご利用ください。

画像のURLを記述すると、img要素の記述なしで画像として表示されます

テストスイートのレビュー者のメールアドレス

qualityforward@veriserve.co.jp

- (2) テストケース編集画面のレビュー依頼ボタンを押します。レビュー依頼の対象となるのは、ステータスが「編集中」のテストスイートバージョンです。

テストケースサンプル - 1.0のテストケース編集

レビュー依頼 編集を有効にする

	優先度	要求ツリー	識別ID	優先度	要求トレーサビリティID	対象機能: メインアイテム
13			13	A	16	

- (3) レビュー依頼送信画面で任意のコメントを入力し、「送信する」ボタンを押します。

レビュー依頼

hogehoge

送信する

- (4) レビュー者にレビュー依頼メールが送信され、コメント一覧にレビュー依頼が行われたことが通知されます。

A - 1.0のコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビュー依頼が行われました 2021/09/09 17:14

 QualityForward  
hoge hoge

## レビュー者の操作

- (1) レビュー依頼メールからテストケース編集画面を開きます。

A - 1.0のテストケース編集

レビュー完了 差し戻す 編集を有効にする

	sample1_1	sample1_2	sample1_3	sample1_4	
	sample2_1	sample_2_2		sample2_4	
	優先度	要求トレーサビリティID	対象機能：メインアイテム	対象機能：サブアイテム	テスト目的
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能があることを確認する

- (2) レビューを完了する場合は「レビュー完了」、修正が必要な場合は「差し戻す」ボタンを押し、コメントを入力したら「送信する」ボタンを押します。

レビュー完了

確認OKです

ロックする

送信する

- (3) コメント一覧にレビュー完了の投稿が行われ、ステータスが「利用可」に変わります。レビュー完了時にロックするにチェックを入れるとテストスイートバージョンが読み取り専用

になります。

### A-1.0のコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビューが完了しました 2021/09/09 17:29  
QualityForward  
確認OKです

テストスイート名 ▲	バージョン名	管理者	テストケース
ケースA 設定 追加ヘッダ設定	<b>利用可</b> 0 実行時間: 未集計 作成日時: 2022/02/25 10:58 設定 コピー xlsx	QFtester	96件 編集 カバレッジパネル コメント 3

## 6.15. テストスイートの差分確認

指定したバージョンと現バージョンの差分を確認する機能です。細かい変更内容をテストケースごとに色付きで確認できます。比較は前識別 ID を元に行われます。

- (1) 既存のテストスイートバージョンを前バージョンと比較する場合は設定画面を開き、前回バージョンを選択します。新規でバージョンを作成する際の前バージョンは自動で選択されます。

### 基本設定

**必須** バージョン名

  
**前回バージョン**  
  
1.0  
3.0  
4.0  
タグはカンマ区切りで複数指定できます

(2) テストケース編集画面の「差分確認」ボタンを押します。

Diff確認用 - 2.0のテストケース編集					
					<span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">差分確認</span> <span style="margin-left: 10px;">編集を有効にする</span>
	優先度	要求ツリー	要求トレーサビリティID	対象機能：メインアイテム	対象機能：サブ
1	A	テストB - 新しい要素B	16		テストケース追加

(3) 左上に変更件数が表示され、変更箇所は追加：緑、変更：黄色、削除：赤でそれぞれ表示されます。

追加行数: 4 削除行数: 1 変更行数: 4							
前識別ID	現識別ID	優先度	要求ツリー	識別ID	要求トレーサビリティID	対象機能：メインアイテム	対象機能：サブアイテム
		A	新しい要素2	2	16	要求ツリー	テストサンプル
1	1						
		A	新しい要素2	2	16	テストスイートバージョン差分確認	差分が正しく表示されることの確認

### 差分確認画面

追加行数: 2 削除行数: 1 変更行数: 0			
前識別ID	現識別ID	優先度	要求ツリー
1	1	A	テストB - テストA - テストA-1
2	2	A	テストB - 新しい要素B
	3	A	
3	4	A	新しい要素C - 新しい要素Aa - 新しい要素Bb

3行目に行を追加したので  
現識別IDは4になった

# 第7章 テストフェーズの管理

本章では、テストを進めていく際のフェーズの管理について説明します。

## 7.1. テストフェーズを作成する

テストサイクルを管理するためのテストフェーズの作成方法について説明します。設定は後から変更可能です。

### 7.1.1. テストフェーズの基本設定

- (1) ダッシュボード画面左のメニューからテストフェーズのリンクをクリックします。



- (2) テストフェーズ一覧画面右上のテストスイート追加ボタンを押します。



- (3) テストフェーズの基本情報を入力します。「レビュー者のメールアドレス」はテスト実施後に実施内容を確認する担当者のメールアドレスを入力します。(テスト実施後のワークフロ

ーについては、手順 [10.11](#) をご参照ください)

テストフェーズの新規追加

**基本設定**

**必須** テストフェーズ名

**必須** フェーズ開始日

2020/02/13

**必須** フェーズ終了日

2020/03/13

レビューのメールアドレス

①メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます

紐づけられているテストスイートのテストサイクルを自動生成する

- (4) 紐付けられているテストスイートのテストサイクルを自動生成するチェックボックスをオンにしてテストフェーズを作成すると、紐付けたテストスイートそれぞれのテストサイクルが1件ずつ自動で作成されます。

テストフェーズの新規追加

**基本設定**

**必須** テストフェーズ名

**必須** フェーズ開始日

2020/02/13

**必須** フェーズ終了日

2020/03/13

レビューのメールアドレス

①メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます

紐づけられているテストスイートのテストサイクルを自動生成する

## 7.1.2. 対象のテストスイートバージョンを設定する

テストフェーズに紐付けるテストスイートバージョンを選択します。ステータスが利用可となっ

ているテストスイートバージョンが表示されます。左側の選択可能なもののボックスから対象としてたいテストスイートバージョンを選択すると、右側の選択したもののボックスに移動します。

右側の選択したものに表示されているテストスイートバージョンがこのテストフェーズの対象となります。テストケース件数は優先度が入力されている（テスト対処となる）テストケースの件数です。



## 7.2. BTS 連携を行う

QualityForward は BTS との連携機能を備えています。連携可能な BTS は Redmine および JIRA です。

BTS 連携をすることでレポート機能への紐付けや実行画面からワンクリックで起票を行うことができます。詳しい設定方法については「[BTS 連携マニュアル](#)」をご確認ください。

## 7.3. 欠陥予測を管理する

テストの実施における欠陥予測設定をテストフェーズごとに行えます。設定したデータはレポート画面で収束曲線として表示されます。

### 7.3.1. 欠陥予測を入力する

(1) テストフェーズ一覧で欠陥予測のリンクをクリックします。

テストフェーズ一覧

▶ アクティブ 6   ▣ アーカイブ 1

名前を検索   検索

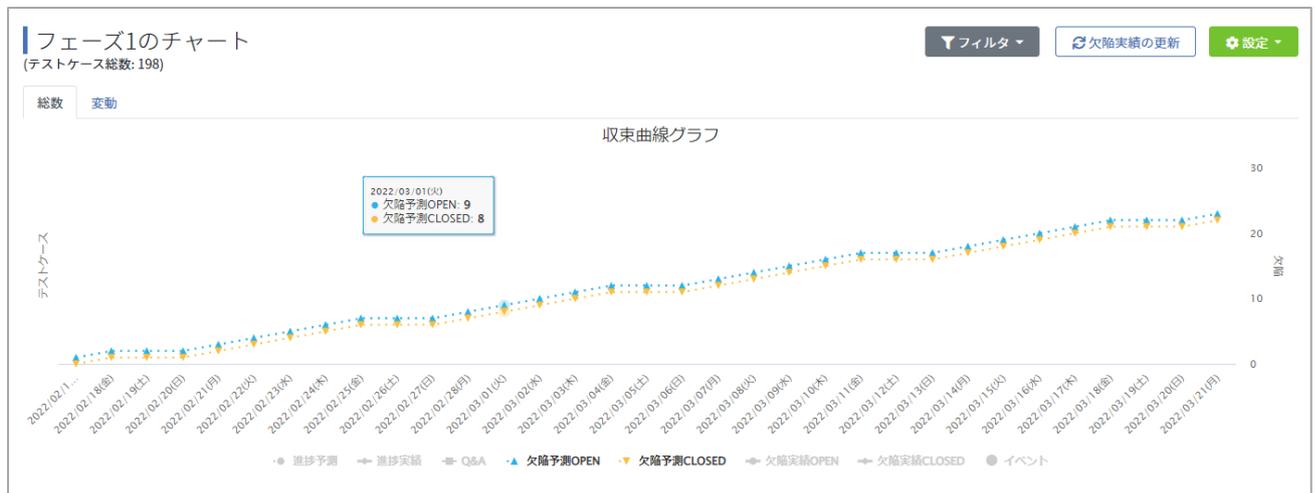
テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進捗状況
フェーズ1 ⚙️ 設定 <b>欠陥予測</b> ✓ JIRAとの連携確認	2022/02/17	2022/03/21	107/198 (54%)
フェーズ2 ⚙️ 設定 欠陥予測 ✓ Redmineとの連携確認	2022/02/28	2022/03/28	27/306 (8%)

(2) 欠陥予想 OPEN 数と欠陥予想 CLOSE 数を入力します。

フェーズ1の欠陥予測

	欠陥予測OPEN	欠陥予測CLOSE
2022/02/17(木)	1	0
2022/02/18(金)	2	1
2022/02/19(土)	2	1
2022/02/20(日)	2	1
2022/02/21(月)	3	2
2022/02/22(火)	4	3
2022/02/23(水)	5	4
2022/02/24(木)	6	5
2022/02/25(金)	7	6
2022/02/26(土)	7	6

(3) ここで設定した数値は収束曲線グラフに表示されます。



## 7.4. テストフェーズ設定を変更・削除する

テストフェーズの情報を変更・削除する方法を説明します。テストフェーズの情報は設定画面からいつでも変更可能です。

### 7.4.1. テストフェーズ設定を変更する

- (1) テストフェーズ一覧画面から変更したいテストフェーズ名下の設定をクリックします。

テストフェーズ一覧 + テストフェーズ追加

▶ アクティブ 0 ◻ アーカイブ 0

名前を検索

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進捗状況	
フェーズ1 <input checked="" type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 欠陥予測 <input checked="" type="checkbox"/> JIRAとの疎通確認	2022/02/17	2022/03/21	<div style="width: 54%;"></div> 107/198 (54%)	<input type="button" value="スイート一覧(1)"/> <input type="button" value="アサイン表"/>
フェーズ2 <input checked="" type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 欠陥予測 <input checked="" type="checkbox"/> Redmineとの疎通確認	2022/02/28	2022/03/28	<div style="width: 8%;"></div> 27/306 (8%)	<input type="button" value="スイート一覧(3)"/> <input type="button" value="アサイン表"/>

- (2) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押してください。

※テストサイクルを作成済みのテストスイートバージョンは紐付けから外すことができません。

## 7.4.2. テストフェーズをアーカイブする

プロジェクトやテストスイートと同様にテストフェーズもアーカイブすることができます。

テストフェーズをアーカイブするとプロジェクト全体の集計から除外されます。テストフェーズのアーカイブはプロジェクト管理者以上の権限が必要です。

- (1) テストフェーズ一覧からアーカイブしたいテストフェーズの設定をクリックします。

テストフェーズ一覧 + テストフェーズ追加

▶ アクティブ 6   ▶ アーカイブ 0

名前を検索

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進捗状況	
フェーズ1 設定 欠陥予測 ✓ JIRAとの連携確認	2022/02/17	2022/03/21	<div style="width: 54%;"></div> 107/198 (54%)	<input type="button" value="スイート一覧(1)"/> <input type="button" value="アサイン表"/>
フェーズ2 設定 欠陥予測 ✓ Redmineとの連携確認	2022/02/28	2022/03/28	<div style="width: 8%;"></div> 27/306 (8%)	<input type="button" value="スイート一覧(3)"/> <input type="button" value="アサイン表"/>

- (2) テストフェーズ設定画面の下部にあるアーカイブするボタンを押します。

テストフェーズのアーカイブ

**注意！**  
テストフェーズをアーカイブすると一覧に表示されなくなります。  
削除とは異なりデータは保持されます。

- (3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

αリリース向けテストフェーズ東京をアーカイブしても宜しいですか？

- (4) アーカイブしたテストフェーズはテストフェーズ一覧のアーカイブタブに表示されます。アーカイブから元に戻す場合は同様の手順でアーカイブから戻すボタンを押すとアクティブなテストフェーズ一覧に表示されます。

テストフェーズ一覧 + テストフェーズ追加

▶ アクティブ 6   ▶ アーカイブ 1

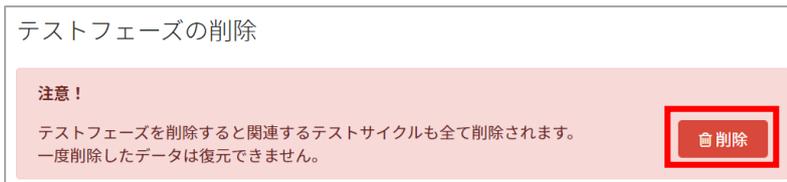
名前を検索

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進捗状況	
アーカイブ 設定 欠陥予測 ✓ JIRAとの連携確認	2022/02/25	2022/03/25	⚠ まだデータがありません	<input type="button" value="スイート一覧(1)"/> <input type="button" value="アサイン表"/>

### 7.4.3. テストフェーズを削除する

テストフェーズの削除はテストフェーズ設定画面から行います。テストフェーズの削除はプロジェクト管理者以上の権限が必要です。

- (1) テストフェーズ設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。



- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



## 第8章 テストサイクルの管理

本章では、テストフェーズに紐付けたテストスイートに対して実際にテスト結果を記入していく=テストを実行していくための、実行単位のテストサイクルについて説明します。一つ以上のテスト実行単位（テストサイクル）を包含する「テストフェーズ」を定義し、テストフェーズに紐付けたテストスイートごとにテストサイクルを作成することで、テスト実行が可能です。

### 8.1. テストサイクルを作成する

本項ではテストを実行するためのテストサイクルを作成する方法について説明します。設定は後から変更可能です。

※テストフェーズ新規作成時に自動生成チェックをオンにした場合、1件目のテストサイクルは自動で生成されます。

- (1) テストフェーズ一覧画面から、テストサイクルを追加したいテストフェーズのスイート一覧ボタンを押します。



テストフェーズ一覧

▶ アクティブ 3    📁 アーカイブ 0

名前検索     検索

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進捗状況	
フェーズ1 🔗 設定    📄 催告予測	2022/04/08	2022/05/02	<div style="width: 1%;"></div>	<input type="button" value="≡ スイート一覧(2)"/> 📄 アサイン表

32/2022 (1%)

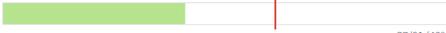
- (2) 対象のテストスイートの一覧からサイクルー一覧ボタンを押します。

テストフェーズの概要 アサイン表

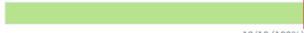
テストフェーズ名 フェーズ2

開始日 2023/04/13

終了日 2023/05/13

進行状況  37/91 (40%)

対象のテストスイート一覧

対象のテストスイート	サイクル開始日 ▲	サイクル終了日	進捗状況	サイクル一覧(0)	マルチサイクル一覧(1)
スイートC-2.0	2023/04/13	2023/04/27	 27/81 (33%)	<span>サイクル一覧(0)</span>	<span>マルチサイクル一覧(1)</span>
スイートE-1.0	2023/04/13	2023/05/13	 10/10 (100%)	<span>サイクル一覧(1)</span>	<span>マルチサイクル一覧(1)</span>
テストスイートサンプル_通信機能テスト-1.0			▲ まだデータがありません	<span>サイクル一覧(0)</span>	<span>マルチサイクル一覧(0)</span>

(3) テストサイクル一覧画面右上のテストサイクル追加ボタンを押します。

テストサイクル一覧 + テストサイクル追加

名前で検索  検索

テストサイクル名 ▲ 対象の優先度 進行状況

(4) テストサイクルの基本情報を設定します。

### テストサイクルの新規追加

テストフェーズの期間：2022/11/07～2022/12/11

**必須** テストサイクル名  
いち - 1.0 コピー 2回目テスト

**必須** サイクル開始日  
2022/11/16

**必須** サイクル終了日  
2022/12/11

**i** サイクルの期間は「25日間」です

(5) テストケースに設定されている優先度のうち、どの優先度を対象とするかを選択します。  
※テストスイート内で使用されている優先度のみ表示されます。

必須 対象の優先度

A  B  C  D  E  F  G  H  I  J

- (6) テスト担当者を指定します。フォーム上で文字入力をする、入力文字を含むユーザが候補として表示されます。

テスト担当者

太郎

QF太郎

- (7) 全ての入力を終わったら登録するボタンを押します。

## 8.2. テスト実施時に自動入力される値を設定する

本項目を設定すると、テストの結果を入力した際に設定値が自動的に備考欄に記載されます。

- (1) テストサイクル一覧画面からデフォルト値設定をクリックします。

テストサイクル名 ▲

テストケース\_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト

▼ A, B, C

テスト中

2022/04/12 ~ 2022/04/26

設定 デフォルト値設定 検証設定 進捗予測 xlsx 再テスト

- (2) テストサイクルでテスト結果を入力した際の自動入力される値を設定します。

## テスト結果のデフォルト値設定

ここで入力した内容は、テスト結果が入力された際に自動で入力されます。  
テスト結果が入力された際に該当のカラムがすでに記入済みの場合は何も行いません。

環境

Charome

バグID

備考

デフォルト値サンプル

更新する

(3) 値の入力が完了したら更新するボタンを押します。

※デフォルト値の設定がしてある場合も手入力は可能です。

※手入力とデフォルト値が重なった場合、手入力の情報が優先されます。

## 8.3. テスト結果欄の検証設定をする

テストサイクルに検証設定を行うことで、テスト結果の自由項目への表記を一致させることができます。

(1) テストサイクル一覧画面を開き、「検証設定」のリンクをクリックします。

テストサイクル名 ▲

テストケース\_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト

▼ A, B, C

📅 2022/04/12 ~ 2022/04/26

🔍 設定 📄 デフォルト値設定 **🔍 検証設定** 📄 進捗予測 📄 xlsx 🔄 再テスト

(2) 正規表現の形式で入力し設定を行います。入力が完了したら「更新する」ボタンを押します。

## テスト結果の自由項目検証設定

ここで入力した正規表現に基づいてテスト結果に入力した値の入力値チェックを行います。未入力の場合は検証しません。

環境

バグID

[#][0-9]

備考

更新する

- (3) テスト結果部に入力を行った際に、設定と一致しない表記は赤文字で表示されます。

テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグID	備考
QualityForward	2021/11/08	FAIL		111	

## 8.4. 進捗予測を管理する

テストの実施予測の設定をテストサイクルごとに行えます。設定したデータはレポート画面で収束曲線として表示されます。

### 8.4.1. 進捗予測を入力する

ここで入力した進捗予想数は期限バーの件数へ反映されます。

- (1) テストサイクル一覧画面から、進捗予測リンクをクリックします。

## テストサイクル一覧

テストサイクル名で検索

テストサイクル名 ▲

テスト中

テストケース\_100件.xlsx - 2 1回目テスト  
 ▼ A, B, C, D  
 2022/02/21 ~ 2022/03/07

(2) 進捗予想数を入力します。ここで入力する数値は「テストケースの残件数」です。

### テストケース\_100件.xlsx

	進捗予測
2022/02/21(月)	90
2022/02/22(火)	81
2022/02/23(水)	72
2022/02/24(木)	63
2022/02/25(金)	54
2022/02/26(土)	54
2022/02/27(日)	54

※入力内容はセルからカーソルが外れた時点で自動的に保存されます。

(3) 進捗予想の入力により、期限バーの予定件数が変動します。

## テストサイクル一覧

テストサイクル名で検索  + テストサイクル追加

テストサイクル名 ▲	テスト担当者	進行状況
テスト中 テストケース_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト ▼ A, B, C 2022/04/12 ~ 2022/04/26 <input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="デフォルト値設定"/> <input type="button" value="検証設定"/> <input type="button" value="進捗予測"/> <input type="button" value="xlsx"/> <input type="button" value="再テスト"/>	指定なし	<input type="text" value="32/1008 (3%)"/> <input type="button" value="▶開く"/> <input type="button" value="コメント"/>
未実施 テストケース_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト 再テスト ▼ A, C 2022/06/01 ~ 2022/06/15 <input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="デフォルト値設定"/> <input type="button" value="検証設定"/> <input type="button" value="進捗予測"/> <input type="button" value="xlsx"/> <input type="button" value="再テスト"/>	指定なし	<input type="text" value="0/15 (0%)"/> <input type="button" value="▶開く"/> <input type="button" value="コメント"/>
未実施 テストケース_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト 再テスト ▼ A, B, C 2022/04/20 ~ 2022/05/04 <input type="button" value="設定"/> <input type="button" value="デフォルト値設定"/> <input type="button" value="検証設定"/> <input type="button" value="進捗予測"/> <input type="button" value="xlsx"/> <input type="button" value="再テスト"/>	指定なし	<input type="text" value="0/9 (0%)"/> <input type="button" value="▶開く"/> <input type="button" value="コメント"/>

## 8.4.2. 進捗予測設定を初期化する

入力した進捗予測は初期化することができます。

レポートや実績推移表の予測値・テストサイクルの成分バーの期日は、進捗予測の数値を基に値が設定されています。進捗予測設定を初期化すると、これらの値が変わりますのでご注意ください。

- (1) 予測入力欄の右上にある初期化ボタンを押します。

テストケース\_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト(全1008テストケース)の進捗予測設定

	進捗予測
2022/04/12(火)	900
2022/04/13(水)	800
2022/04/14(木)	700
2022/04/15(金)	613
2022/04/16(土)	613

初期化

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

予実設定を初期化しても宜しいですか？

OK キャンセル

## 8.5. テストサイクル設定を変更・削除する

テストサイクルの情報を変更・削除する方法を説明します。テストサイクルの情報は設定画面からいつでも変更可能です。

### 8.5.1. テストサイクル設定を変更する

- (1) テストサイクル一覧画面から変更したいテストサイクル名下の設定をクリックします。

テストサイクル名 ▲

テストケース\_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト

▼ A, B, C

テスト中

📅 2022/04/12 ~ 2022/04/26

🔧 設定 📄 デフォルト値設定 📄 検証設定 📄 進捗予測 📄 xls 🔄 再テスト

- (2) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押してください。

### テストサイクルの設定

**必須** テストサイクル名  
テストスイートサンプル\_リリース前試験 - 2.0 1回目

**必須** サイクル開始日  
2019/11/01

**必須** サイクル終了日  
2019/11/15  
🕒 サイクルの期間は「14日間」です

**必須** 対象の優先度  
 A

テスト担当者  
QualityForward

**管理者向けの設定**

**必須** 状態  
未実施

更新する

※テストサイクルの状態はプロジェクト管理者またはテナント管理者のみ設定可能です。

## 8.5.2. テストサイクルを削除する

テストサイクルの削除はテストサイクル設定画面から行います。

- (1) テストサイクル設定画面の最下部にある削除ボタンを押します。

テストサイクルの削除

**注意！**  
テストサイクルを削除すると関連するテスト結果のデータが全て消去されます。  
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

自削除

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

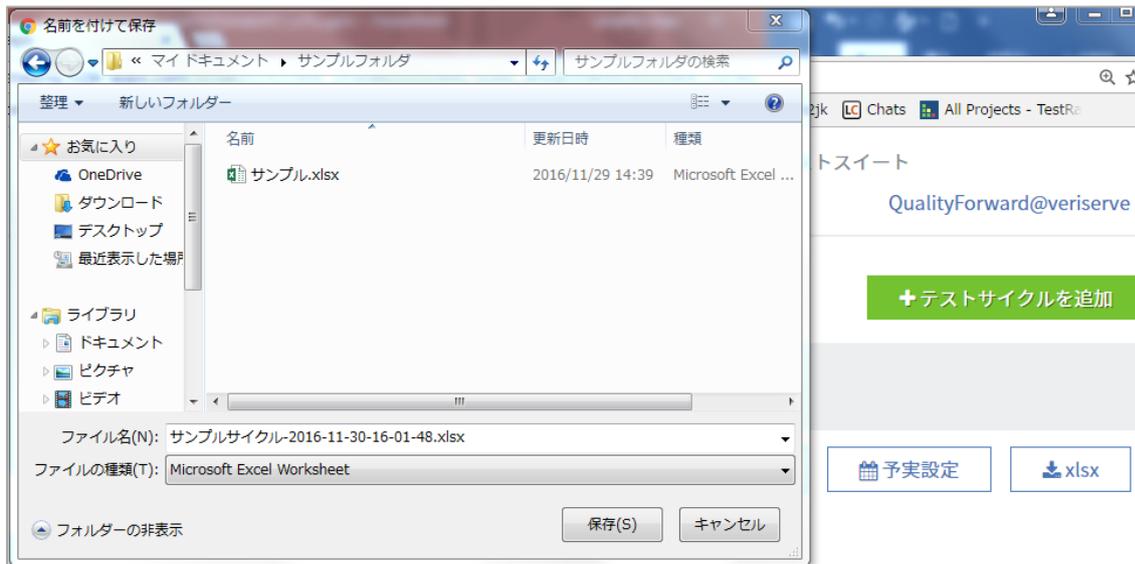
## 8.6. テストサイクルをエクスポートする

テスト結果はテストサイクルごとにエクセル形式でのダウンロードが可能です。

- (1) テストサイクル一覧画面からダウンロードしたいテストサイクルの xlsx ボタンを押します。



- (2) ダイアログボックスが表示されたらダウンロード先を選択して保存ボタンを押します。



## 8.7. テストサイクルの再テストを行う

実施済みのテストサイクルを元にテスト対象を絞り込んで再テストすることができます。FAIL になった項目や、前回実施できなかった項目などを対象としたテストサイクルを作成します。

- (1) テストサイクル一覧から再テストしたいテストサイクル名の下にある再テストをクリックします。



(2) 再テストの対象としたい条件を選択します。

テストスイートサンプル\_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テストの再テスト

■ ベースとするテストサイクル  
テストスイートサンプル\_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト

対象のテスト結果  
 PASS  FAIL  SKIP  CUT  BLOCK  N/A  Q&A

**必須** テストサイクル名  
テストスイートサンプル\_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目

**必須** サイクル開始日  
2020/06/08

**必須** サイクル終了日  
2020/06/22  
🕒 サイクルの期間は「14日間」です

**必須** 対象の優先度  
 A  B  C  D

テスト担当者

登録する

(3) 全ての入力を終えたら登録するボタンを押します。

登録する

(4) 対象を絞り込んだテストサイクルが作成されます。通常のテストサイクルと同様に実施することができます。

テストサイクル名 ▲	テスト担当者	進行状況
<b>テスト中</b> テストケース_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト ▼ A, B, C 2022/04/12 ~ 2022/04/26 設定 デフォルト値設定 検証設定 進捗予測 xlsx 再テスト	指定なし	32/1008 (3%) ▶開く コメント 0
<b>未実施</b> テストケース_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト 再テスト ▼ A, C 2022/06/01 ~ 2022/06/15 設定 デフォルト値設定 検証設定 進捗予測 xlsx 再テスト	指定なし	0/15 (0%) ▶開く コメント 0
<b>未実施</b> テストケース_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト 再テスト ▼ A, B, C 2022/04/20 ~ 2022/05/04 設定 デフォルト値設定 検証設定 進捗予測 xlsx 再テスト	指定なし	0/9 (0%) ▶開く コメント 0

## 8.8. テストサイクルの進捗情報をコピーする

テストサイクルの進捗に関連する情報をまとめてコピーすることができます。

- (1) テストサイクル一覧から、情報をコピーしたいテストサイクルの右端にあるアイコンをクリックします。

- (2) 以下のようにテストサイクルの情報がコピーされます。

```

テストサイクル名: テストケースA - 1.0 1回目テスト
サイクル開始日: 2020/06/26
サイクル終了日: 2020/06/30
対象の優先度: A
テスト担当者: QualityForward
PASS: 17件
FAIL: 2件
SKIP: 0件
CUT: 0件
BLOCK: 0件
N/A: 0件
Q&A: 0件
未実施: 82件
  
```

## 8.9. アサイン表でテスト担当者を管理する

テストフェーズに含まれる全テストサイクルのスケジュールを俯瞰し、テスト担当者を割り振ることができます。

(1) 管理したいテストフェーズ一覧の「アサイン表」ボタンをクリックします。

テストフェーズ一覧 + テストフェーズ追加

▶ アクティブ 3    ▣ アーカイブ 0

名前で検索

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進捗状況	
フェーズ1 <small>設定 欠陥予測</small>	2022/04/08	2022/05/02	<div style="width: 10%;"></div> 32/2022 (1%)	<input type="button" value="スイート一覧(2)"/> <input style="border: 2px solid red;" type="button" value="アサイン表"/>
フェーズ2 <small>設定 欠陥予測</small>	2022/05/01	2022/05/16	⚠ まだデータがありません	<input type="button" value="スイート一覧(2)"/> <input type="button" value="アサイン表"/>

(2) リストからテスト担当者を選択します。

フェーズ14のアサイン表 (2022/01/10 ~ 2022/02/21)

テスト担当者   未実施  テスト中  レビュー待ち  完了

テスト担当者	テストサイクル名 ▲	進捗
<div style="border: 2px solid red; padding: 2px;"><input type="text" value="自分にアサイン"/> ▲ <input checked="" type="button" value="担当者なし"/> <input type="text" value="自分にアサイン"/> QFtester QFtester1</div>	A-1.0 <b>テスト中</b> A-1.0 1回目テスト 📅 2022/01/21 ~ 2022/02/04	<div style="width: 22%;"></div> 21/94 (22%)
	A-1.0 <b>テスト中</b> A-1.0 2回目テスト 📅 2022/01/21 ~ 2022/02/04	<div style="width: 22%;"></div> 21/94 (22%)

(3) テスト担当者やテストサイクルステータスごとに絞り込みたい場合は、リストから担当者を選択・絞り込みたいステータスにチェックをし、「検索」ボタンをクリックします。

サンプルフェーズのアサイン表 (2021/08/09 ~ 2021/09/11)

テスト担当者   未実施  テスト中  レビュー待ち  完了

# 第9章 マルチサイクルの管理

本章では同じテストケースに対して複数の結果を記入するマルチサイクルについて説明します。テストサイクルと同様に、テストフェーズに紐づけたテストスイートごとにマルチサイクルを作成し実行することができます。

## 9.1. マルチサイクルを作成する

本項では複数のテスト対象に対して結果を記入するためのマルチサイクルを作成する方法について説明します。設定は後から変更可能です。

- (1) テストフェーズ一覧画面から、マルチサイクルを追加したいテストフェーズのスイート一覧ボタンを押します。

テストフェーズ一覧

▶ アクティブ 2   ◻ アーカイブ 0

名前検索   検索

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進捗状況	
フェーズ1 設定 警告 欠陥予測 Redmineとの疎通確認	2023/01/20	2023/02/20	<div style="width: 16%;"></div> 16/2151 (0%)	<span>≡ スイート一覧(2)</span> <span>アサイン表</span>
フェーズ2 設定 警告 欠陥予測	2023/02/14	2023/03/14	▲ まだデータがありません	<span>≡ スイート一覧(1)</span> <span>アサイン表</span>

- (2) 対象のテストスイートの一覧からマルチサイクル一覧ボタンを押します。

テストフェーズの概要

アサイン表

テストフェーズ名 フェーズ2

開始日 2023/04/13

終了日 2023/05/13

進行状況  37/91 (40%)

対象のテストスイート一覧

対象のテストスイート	サイクル開始日 ▲	サイクル終了日	進捗状況	
スイートC-2.0	2023/04/13	2023/04/27	<div style="width: 33%;"></div> 27/81 (33%)	<span>≡ サイクル一覧(0)</span> <span>≡ マルチサイクル一覧(1)</span>
スイートE-1.0	2023/04/13	2023/05/13	<div style="width: 100%;"></div> 10/10 (100%)	<span>≡ サイクル一覧(1)</span> <span>≡ マルチサイクル一覧(1)</span>
テストスイートサンプル_通信機能テスト-1.0			▲ まだデータがありません	<span>≡ サイクル一覧(0)</span> <span>≡ マルチサイクル一覧(0)</span>

- (3) マルチサイクル一覧画面右上のマルチテストサイクル追加ボタンを押します。

マルチサイクル一覧 + マルチサイクル追加

テストサイクル名で検索

テストサイクル名 ▲	対象環境	テスト担当者	進行状況
------------	------	--------	------

(4) テストサイクルの情報を設定します。

### マルチサイクルの新規追加

テストフェーズの期間：2023/01/20 ~ 2023/02/20

**必須** テストサイクル名

**必須** サイクル開始日

**必須** サイクル終了日

**必須** 対象の優先度  
 A  B  C  F

テスト担当者

(5) テストケースに設定されている優先度のうち、どの優先度を対象とするかを選択します。

※テストスイート内で使用されている優先度のみ表示されます。

**必須** 対象の優先度  
 A  B  C  F

(6) テスト担当者を指定します。フォーム上で文字入力をする、入力文字を含むユーザが候補として表示されます。

テスト担当者

太郎

QF太郎

(7) 全ての入力を終わったら登録するボタンを押します。

## 9.2. テスト実施時に自動入力される値を設定する

本項目を設定すると、テストの結果を入力した際に設定値が自動的に備考欄に記載されます。

(1) マルチサイクル一覧画面からデフォルト値設定をクリックします。

テスト中

テストケース\_500件-TestCase 2回目

▼ A, B, C, F

📅 2023/02/09 ~ 2023/02/20

🔧 設定 📄 **デフォルト値設定** 📈 進捗予測

(2) マルチサイクルでテスト結果を入力した際の自動入力される値を設定します。

テスト結果のデフォルト値設定

ここで入力した内容は、テスト結果が入力された際に自動で入力されます。  
テスト結果が入力された際に該当のカラムがすでに記入済みの場合は何も行きません。

環境  
Charome

バグID

備考  
デフォルト値サンプル

更新する

(3) 値の入力が完了したら更新するボタンを押します。

※デフォルト値の設定がしてある場合も手入力は可能です。

※手入力とデフォルト値が重なった場合、手入力の情報が優先されます。

## 9.2.1. 環境を追加する

(1) マルチテストサイクル一覧の対象のテストサイクルの「環境を追加」ボタンを押します。

マルチサイクル一覧

マルチサイクル名で検索

マルチサイクル名 ▲	テスト担当者	対象環境	進行状況
2.0 1回目テスト ▼ A, B, C 📅 2023/04/13 ~ 2023/04/27 🔗 設定 📄 デフォルト値設定 📊 進捗予測	4	設定	3/26 (11%)
	5	設定	1/26 (3%)
	指定なし	1	環境を追加 ▶ 開く 🔍 コメント
	2	設定	10/27 (37%)
	3	設定	8/27 (29%)
		3	9/27 (33%)

(2) 環境の名前を入力し「登録する」ボタンを押します。

対象環境の追加

必須 テストサイクル名

登録する

## 9.3. 進捗予測を管理する

テストの実施予測の設定を環境ごとに行えます。設定したデータはレポート画面で収束曲線として表示されます。

### 9.3.1. 進捗予測を入力する

ここで入力した進捗予想数は期限バー の件数へ反映されます。

- (1) マルチサイクル名下にある進捗予測リンクをクリックします。



- (2) 進捗予測数を入力します。ここで入力する数値は「テストケースの残件数」です。

テストケース\_500件-TestCase 2回目(全503テストケース)の進捗予測設定

	進捗予測			
	1	2	3	4
2023/02/09(木)	428	428	428	419
2023/02/10(金)	342	342	342	335
2023/02/11(土)	342	342	342	335
2023/02/12(日)	342	342	342	335
2023/02/13(月)	257	257	257	252
2023/02/14(火)	171	171	171	168
2023/02/15(水)	171	171	171	168
2023/02/16(木)	171	171	171	168
2023/02/17(金)	86	86	86	84
2023/02/18(土)	86	86	86	84
2023/02/19(日)	86	86	86	84
2023/02/20(月)	0	0	0	0

※入力内容はセルからカーソルが外れた時点で自動的に保存されます。

- (3) 進捗予想の入力により、期限バーの予定件数が変動します。

## 9.3.2. 進捗予測設定を初期化する

入力した進捗予測は初期化することができます。

レポートや実績推移表の予測値・テストサイクルの成分バーの期日は、進捗予測の数値を基に値が設定されています。進捗予測 設定を初期化すると、これらの値が変わりますのでご注意ください。

い。

- (1) 予測 入力欄の右上にある初期化ボタンを押します。

テストケース\_500件-TestCase 2回目(全503テストケース)の進捗予測設定

☺ 初期化    + サイクル一覧へ

	進捗予測			
	1	2	3	4
2023/02/09(木)	428	428	428	419
2023/02/10(金)	342	342	342	335
2023/02/11(土)	342	342	342	335
2023/02/12(日)	342	342	342	335
2023/02/13(月)	257	257	257	252
2023/02/14(火)	171	171	171	168
2023/02/15(水)	171	171	171	168
2023/02/16(木)	171	171	171	168
2023/02/17(金)	86	86	86	84
2023/02/18(土)	86	86	86	84
2023/02/19(日)	86	86	86	84
2023/02/20(月)	0	0	0	0

- (2) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

進捗予測を初期化しても宜しいですか？

OK    キャンセル

## 9.4. マルチサイクルの環境を管理する

テスト対象を追加することで、テストサイクルで複数のテスト結果を記入できるようになります。

### 9.4.1. 環境設定を変更・削除する

テストサイクルの情報を変更・削除する方法を説明します。テストサイクルの情報は設定画面からいつでも変更可能です。

#### 環境設定を変更する

- (1) マルチサイクル一覧の環境名下にある設定をクリックします。

2.0 1回目テスト  
▼ A, B, C  
📅 2023/04/13 ~ 2023/04/27  
🔗 設定 📄 デフォルト値設定 📊 進捗予測

指定なし

4 設定  
5 設定  
1 設定  
2 設定  
3 設定

(2) 環境名を編集したら更新するボタンを押します。

### 1の設定

**必須** テストサイクル名  
1

更新する

### テストサイクルの削除

**注意!**  
テストサイクルを削除すると関連するテスト結果のデータが全て消去されます。  
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

削除

## 環境を削除する

(1) マルチサイクル一覧の環境名下にある設定をクリックします。

4  
設定

5  
設定

1  
設定

2  
設定

3  
設定

テスト中

2.0 1回目テスト  
▼ A, B, C  
📅 2023/04/13 ~ 2023/04/27  
🔧 設定 📄 デフォルト値設定 📊 進捗予測

指定なし

(2) 画面下部にある削除ボタンを押します。

### 1の設定

**必須** テストサイクル名

1

更新する

### テストサイクルの削除

**注意！**

テストサイクルを削除すると関連するテスト結果のデータが全て消去されます。  
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

削除

(3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

1を削除しても宜しいですか？

OK キャンセル

## 9.5. マルチサイクル設定を変更・削除する

マルチサイクルの情報を変更・削除する方法を説明します。テストサイクルの情報は設定画面からいつでも変更可能です。

### 9.5.1. マルチサイクル設定を変更する

(1) マルチサイクル一覧画面から変更したいマルチサイクル名下の設定をクリックします。



(2) 変更したい項目の入力を終わったら、更新するボタンを押してください。

## テストケース\_500件-TestCase 2回目の設定

テストフェーズの期間：2023/01/20～2023/02/20

**必須** テストサイクル名  
テストケース\_500件-TestCase 2回目

**必須** サイクル開始日  
2023/02/09

**必須** サイクル終了日  
2023/02/20

**必須** 対象の優先度  
 A  B  C  F

テスト担当者  
QualityForward

**管理者向けの設定**

**必須** 状態  
テスト中

更新する

※マルチサイクルの状態はプロジェクト管理者またはテナント管理者のみ設定可能です。

### 9.5.2. マルチサイクルを削除する

マルチサイクルの削除はテストサイクル設定画面から行います。マルチサイクルを削除すると対象の環境も全て削除されます。

- (1) マルチサイクル一覧画面から削除したいマルチサイクル名下の設定をクリックします。

			4 設定
			5 設定
テスト中	2.0 1回目テスト ▼ A, B, C 📅 2023/04/13 ~ 2023/04/27 🔗 設定 📄 デフォルト値設定 📊 進捗予測	指定なし	1 設定
			2 設定
			3 設定

(2) 画面下部にある削除ボタンを押します。

テストフェーズの期間：2023/01/20 ~ 2023/02/20

**必須** テストサイクル名

**必須** サイクル開始日

**必須** サイクル終了日

**必須** 対象の優先度  
 A  B  C  F

テスト担当者

**管理者向けの設定**

**必須** 状態

**テストサイクルの削除**

**注意！**

テストサイクルを削除すると関連するテスト結果のデータが全て消去されます。  
それでも構わない場合のみ実行して下さい。

(3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

テストケース\_500件-TestCase 2回目を削除しても宜しいですか？

OK

キャンセル

# 第10章 テスト実行管理

本章では、テストサイクル実行の進め方と管理方法について説明します。

## 10.1. テストサイクルを実行する

テストスイート、テストフェーズ、テストサイクルの準備ができればテストの実行に入ります。

- (1) テストサイクル一覧画面から、実行したいテストの「開く」ボタンを押します。

テストサイクル一覧

テストサイクル名で検索

テストサイクル名 ▲      テスト担当者      進行状況

テストケース\_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト

テスト中      ▼ A, B, C      指定なし      32/1008 (3%)      **▶ 開く**      🔍 コメント 0      🗑️

🔗 設定    📄 デフォルト値設定    📄 検証設定    📄 進捗予測    📄 xlsx    🔄 再テスト

- (2) テスト結果はプルダウンで選択して入力できます。結果のラベルはプロジェクト作成時に設定したものが表示されます。

項目4	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境
・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・インポートしたテストケースが全て表示されること			▼	
・エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること			PASS FAIL SKIP CUT BLOCK N/A	
・エラーが発生せず、テストケー				

- (3) テスト結果を入力すると実施者と実施日が自動で入力されます。

テスト実施者	テスト実施日	テスト結果
QualityForward	2016/11/30	PASS

(4) テスト環境、バグ ID、備考欄は自由に入力可能です。

※デフォルト値の設定がある場合はデフォルト値が自動入力されます。

環境	バグID	備考
Windows7 Chrome	#000	サンプルデータ

(5) 当日のテストの実施状況はリアルタイムで更新されます。実績は日ごとに集計されレポート上に保存されます。過去の進捗実績結果の編集が必要な場合は手順 [12.2.8](#) をご参照ください。

The screenshot shows a test execution report interface. At the top, there is a breadcrumb trail: "トップ / 20190322最新アップデート / テストフェーズ一覧 / サンプルフェーズのサンプルスイート / サンプルスイート - 1.0.1回目テスト". Below this is a table with 7 columns labeled "項目1" through "項目7". The table contains 7 rows of test cases, numbered 32 to 37. Each row has a status indicator (16) and a detailed description of the test case. At the bottom of the interface, there is a progress bar and a "レビュー依頼" button. The progress bar shows a green segment and a red segment, with the text "101/101" displayed on the right.

(6) テストケースにフィルタをかけ、まとめて編集も可能です。

The screenshot shows a dialog box for filtering test cases. The dialog has a title bar with "事前条件" (Pre-conditions), "テスト手順" (Test steps), "期待動作" (Expected actions), and "テスト実施者" (Test executor). The "事前条件" section is active, showing a search field with the text "値でフィルタ:" and "検索". Below the search field are several checkboxes, all of which are checked. The checkboxes are: "機能Aが実行できる状態にする", "機能Bが実行できる状態にする", "機能Cが実行できる状態にする", and "機能Aが実行できる状態にする". At the bottom of the dialog, there are "OK" and "キャンセル" buttons. The dialog is overlaid on a table of test cases, which is partially visible in the background.

(7) テキストでフィルタをかける場合は、一度クリアをクリックしてからテキスト入力を行い、表示されたフィルタにチェックを入れます。



- (8) テストケース編集画面同様、テスト実行画面でもテキスト検索を行うことができます。Ctrl+F を押し、検索したいキーワードを入力したら Enter を押してください。

テスト条件	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	
1 正しいファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートするエクセルの拡張子が [.xlsx] であること</li> <li>テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする</li> <li>2.インポートするファイルをクリックする</li> <li>3.[登録するボタン]をクリックする</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> <li>インポートしたテストケースが全て表示されること</li> </ul>				
2 サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>インポートするエクセルの拡張子が [.xlsx] 以外であること</li> <li>テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする</li> <li>2.インポートするファイルをクリックする</li> <li>3.[登録するボタン]をクリックする</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること</li> </ul>	QualityForward	2017/12/01	PASS	
3 設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと</li> <li>項目数が2つ以上のテストケースであること</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする</li> <li>2.インポートするファイルをクリックする</li> <li>3.[登録するボタン]をクリックする</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> <li>2つ目以降の項目は無視して登録されていること</li> </ul>	QualityForward	2017/12/01	PASS	FAIL
4 設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>項目数が2つのテストスイートを作成しておくこと</li> <li>項目数が1つのテストケースであること</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.[ファイルを選択ボタン]をクリックする</li> <li>2.インポートするファイルをクリックする</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> </ul>	QualityForward	2017/12/01	SKIP	

- (9) テストサイクル上部の「装飾形式」を「あり」にすると同じ手順のテストケースの表示を薄くし見やすくすることが可能です。

テスト手順	期待動作	テスト実施者
機能B → 機能A → 機能C → 機能D → 機能E の順で遷移する	<ol style="list-style-type: none"> <li>① それぞれの画面へ遷移可能であること</li> <li>② 機能Eが実行可能であること</li> </ol>	
機能B → 機能A → 機能C → 機能E → 機能D の順で遷移する	<ol style="list-style-type: none"> <li>① それぞれの画面へ遷移可能であること</li> <li>② 機能Dが実行可能であること</li> </ol>	

### 10.1.1. 実行対象外の結果を入力する

「CUT」, 「N/A」, 「SKIP」のいずれかのテスト結果が入力されたテストケースを実行範囲から除外することができます。テスト実行範囲外のテスト結果は進捗実績などの集計から除外されません。設定方法は [4.3.10](#) を参照してください。

テストサイクルで実行対象外に指定したテスト結果を入力します。対象のテストケースはテスト件数から除外されます。

	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境
226	・バグが登録済みのRedmineと連携しておくこと ・クローズ済みのバグが存在しないこと	1.レポート画面に遷移する 2.バグ曲線グラフ下部の累計登録数を選択する	・累計クローズ数のグラフのみの表示になること	QualityForward	2022/06/20	N/A	
227	・バグが登録済みのRedmineと連携しておくこと	1.レポート画面に遷移する 2.バグ曲線グラフ下部の累計クローズ数を選択する	・累計登録数のグラフのみの表示になること	QualityForward	2022/06/20	N/A	
228	した場合 ・任意の日付で開始されるテストフェーズであること	1.フェーズの開始日を現在登録してある日付よりも早い日付に設定する 2.レポート画面に遷移する	・バグ曲線下部一番左の日付が設定した開始日と一致していること	QualityForward	2022/06/20	N/A	
229	した場合 ・任意の日付で終了となるテストフェーズであること	1.フェーズの終了日を現在登録してある日付よりも早い日付に設定する 2.レポート画面に遷移する	・バグ曲線下部一番右の日付が設定した終了日と一致していること	QualityForward	2022/06/20	N/A	
230	・登録済みのテストサイクルが全て未実施であること	1.レポート画面に遷移する	・全体の[消化数実績][進捗率]が0であること	QualityForward	2022/06/20	N/A	
231	・登録済みのテストサイクルの実施数が1件以上であること	1.レポート画面に遷移する	・全体の[消化数実績][進捗率]と実施数が一致していること ・サイクル毎の[消化数実績][進捗率]と実施数が一致していること	QualityForward	2022/06/20	N/A	

PASS 42件  
 未実施 301件  
 FAIL 11件  
 SKIP 15件  
 BLOCK 0件  
 Q&A 775件  
 (SP) 170件  
 実行対象外 170件  
 CUT 65件  
 N/A 105件

42/343
レビュー依頼
コメントを表示

## 10.1.2. テスト実行画面上にコメントを表示する

テストを実行しながらコメントの確認ややり取りを行うことができます。

	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグID	備考	添付ファイル
1	QualityForward	2022/05/20	BLOCK		#111		
2	QualityForward	2022/05/20	BLOCK		#112,#113,#111,#114		
3	QualityForward	2022/05/20	Q&A		#113,#114		
4	QualityForward	2022/05/20	Q&A		#115,#113,#111		

33/497
レビュー依頼
コメントを表示

トップ / 20220221 / テストフェーズ一覧 / フェーズの対象テストスイート一覧  
 / テストケース\_500件-TestCase-1.0のテストサイクル一覧 / テストケース\_500件-TestCase-1.0 1回目テスト

	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグID
1	QualityForward	2022/05/20	BLOCK		#111
2	QualityForward	2022/05/20	BLOCK		#112,#113,#111,#114
3	QualityForward	2022/05/20	Q&A		#113,#114
4	QualityForward	2022/05/20	Q&A		#115,#113,#111

テストケース\_500件-TestCase - ×  
1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力

**投稿**

**QualityForward** @ 2022/05/20 18:06  
コメント

**QualityForward** @ 2022/05/20 15:08  
コメントサンプルコメントサンプルコメントサ  
ンプルコメントサンプルコメントサンプル

33/

## 10.2. テスト結果にファイルを添付する

各テスト結果に複数のファイルを添付することができます。※ファイルサイズの上限は 1MB までです。マルチサイクルでも同様に各結果に対してファイルを添付することができます。

- (1) テスト結果部右端の添付ファイル欄をダブルクリックします。

テスト結果	環境	バグID	備考	添付ファイル
PASS				

- (2) ファイル添付画面が開いたら「Brows」ボタンをクリックし、添付したいファイルを選択します。

添付ファイル  Browse

**アップロード**

- (3) ファイルを選択したらアップロードボタンを押します。

添付ファイル

未アップロード  
test.docx  test.xlsx

- (4) テスト結果部の添付ファイル欄に選択したファイル名が表示されます。ファイル名をクリックするとファイルをダウンロード保存することが可能です。

テスト結果 ▼	環境 ▼	バグID ▼	備考 ▼	添付ファイル
PASS				test.docx test.xlsx

### 10.3. テストを実行しながら BTS に起票する

テストフェーズ設定画面で BTS 連携の設定が済んでいる場合、該当テストケースを右クリックすることで直接チケットの起票画面を開くことができます。

- (1) FAIL など不具合があった場合、該当のテストケースで右クリックします。

期待動作 ▼	テスト実施者 ▼	テスト実施日 ▼	テスト結果 ▼	環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> <li>インポートしたテストケースが全て表示されること</li> <li>エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること</li> </ul>	QualityForward	2020/04/07	FAIL	

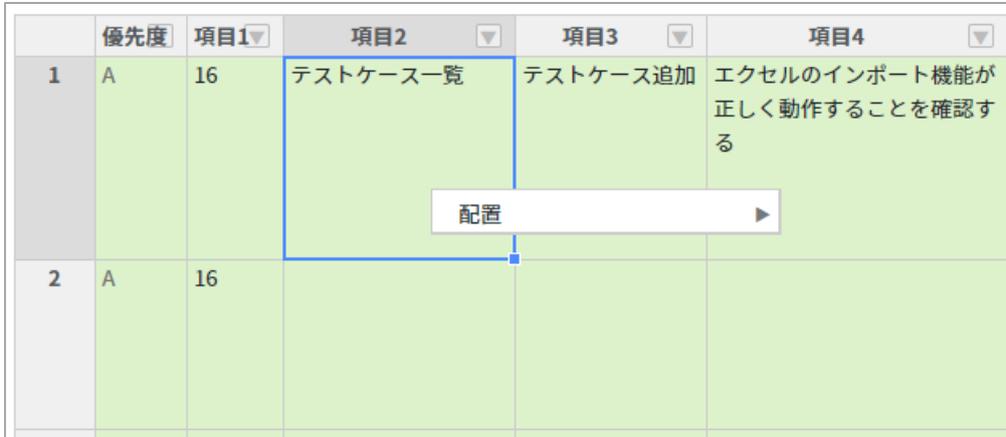
配置 ▶

- (2) チケットの起票が完了するとグラフやレポートに反映されます。

## 10.4. 文字列の配置を変更する

テスト実行画面のテストケースの文字配置を変更することができます。

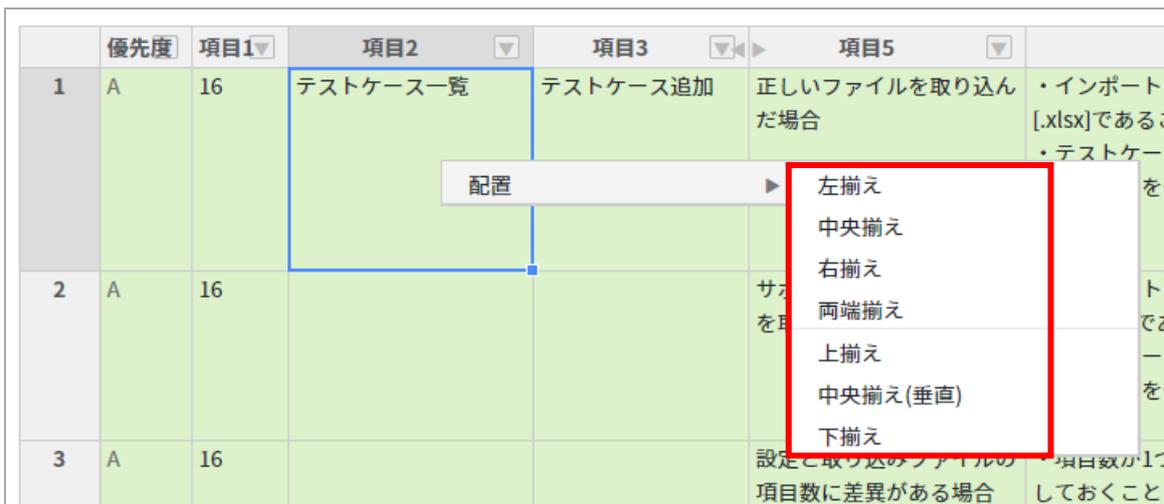
- (1) 文字の配置を変更したいセルまたは列を選択し、右クリックします。



The screenshot shows a table with columns: 優先度, 項目1, 項目2, 項目3, 項目4. Row 1 contains: A, 16, テストケース一覧, テストケース追加, エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する. A blue selection box is around the cell containing 'テストケース一覧'. A context menu is open over this cell with the option '配置' (Format) selected.

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する
2	A	16			

- (2) 変更したい配置を選択すると選択されているセルの文字の配置を変えることができます。



The screenshot shows the same table as above. The context menu is open, and the '配置' (Format) option is selected, which has opened a sub-menu. The sub-menu options are: 左揃え, 中央揃え, 右揃え, 両端揃え, 上揃え, 中央揃え(垂直), 下揃え. These options are highlighted with a red box.

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目5
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しいファイルを取り込んだ場合 ・インポート [.xlsx]であるこ ・テストケー
2	A	16			サ を
3	A	16			設定と取り込みファイルの 項目数が1つ 項目数に差異がある場合 しておくこと

## 10.5. 列の表示・非表示を切り替える

テスト実行中に表示する必要がない列は非表示にすることができます。

- (1) テスト実行画面で非表示にしたい列の項目名を右クリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目4 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい場合	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合
2	A	16				サポート対象外のファイルを取り込んだ場合

(2) 列を非表示をクリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目4 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい場合	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合
2	A	16				サポート対象外のファイルを取り込んだ場合

(3) 列を再表示する場合は、非表示になっている列の両隣の列を選択してから右クリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい場合
2	A	16			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合

(4) 列を表示をクリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい場合 配置 列を表示 列を非表示
2	A	16			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合

## 10.6. テスト結果補足の設定内容を確認する

プロジェクト設定でテスト結果補足を利用するにチェックを入れた場合、実行画面からも確認することができます。

- (1) テスト実行画面上部の操作プルダウンからテスト結果補足をクリックします。



- (2) テスト結果補足に設定した内容を確認できます。

テスト結果補足に関して	
<b>PASS</b>	
FAIL → PASS	FAIL から PASS へ変更
SKIP → PASS	SKIP から PASS へ変更
QA → PASS	QA から PASS へ変更
<b>FAIL</b>	
Q&A → FAIL	Q&A から FAIL へ変更
SKIP → FAIL	SKIP から FAIL へ変更
<b>SKIP</b>	
FAIL → SKIP	FAIL から SKIP へ変更

(3) テスト結果が入力されている場合にテスト結果補足の入力を行うことができます。

期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境
・エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること	QualityForward	2018/03/29	PASS		
・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・2つ目以降の項目は無視して登録されていること	QualityForward	2018/05/14	PASS	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px;">           FAIL → PASS            SKIP → PASS            QA → PASS         </div>	
・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・インポートしたテストケースが全て表示されること	QualityForward	2018/03/29	FAIL		

## 10.7. テストケースを編集する

テスト実行画面から、テストケースの編集画面へ遷移することができます。

(1) テストケースの編集を行う場合、テスト実行画面上部の操作プルダウンからテストケースを編集をクリックして編集画面へ進みます。

優先度	機能カテゴリ	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	操作
1	A	主機能遷移	機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能E	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能が実行可能であること	QFuser71	2020/08/17	PASS	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;">           テストケースを編集         </div> 結果のインポート 結果のエクスポート 備考を表示 テスト結果更新履歴
2	A	主機能遷移	機能A → 機能B → 機能C → 機能D	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能が実行可能であること	QFuser71	2020/08/17	PASS	
3	A	主機能遷移	機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能E	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能が実行可能であること	QFuser71	2020/08/17	PASS	

(2) テストケース編集はテストケース作成時と同様に自由に編集可能です。エクセルインポートで一括上書きも可能です。

※エクセルシートをインポート時に同じ識別 ID が存在する場合、既にあるデータにインポートデータが上書きされます。

トップ / サンプルプロジェクト / テストスイート一覧 / テストスイートサンプル\_リリース前試験 - 2.0 操作 QualityForward

**注意！**

このテストスイートには、既にテストサイクルが存在しているため読取専用になっています。  
 テストケースの編集や削除を行った場合、完了しているテストサイクルを含め関係するテストケースが書き換わります。（同じ識別IDの行が上書き、もしくは削除されます）。  
 誤字脱字やテスト手順の軽微な変更等を除き、テストスイートのアップデートには別名の新たなファイルをインポートしてください。

また、この内容を変更しても関連するテストサイクルで設定済みの対象テストケースの設定は更新されません。  
 識別IDのズレやフィルタによる調整が必要な場合は手動で更新を行う必要があります。

テストスイートサンプル\_リリース前試験 - 2.0のテストケース編集

優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順
1	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする 機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能E の順で遷移する
2	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする 機能A → 機能B → 機能C → 機能E → 機能D の順で遷移する
3	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする 機能A → 機能B → 機能D → 機能C → 機能E の順で遷移する
4	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする 機能A → 機能B → 機能D → 機能E → 機能C の順で遷移する
5	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Aが実行できる状態にする 機能A → 機能B → 機能E → 機能C → 機能D の順で遷移する

## 10.8. テスト結果をエクスポートする

テストサイクル画面に入力されたテスト結果は csv 形式にてエクスポートすることができます。

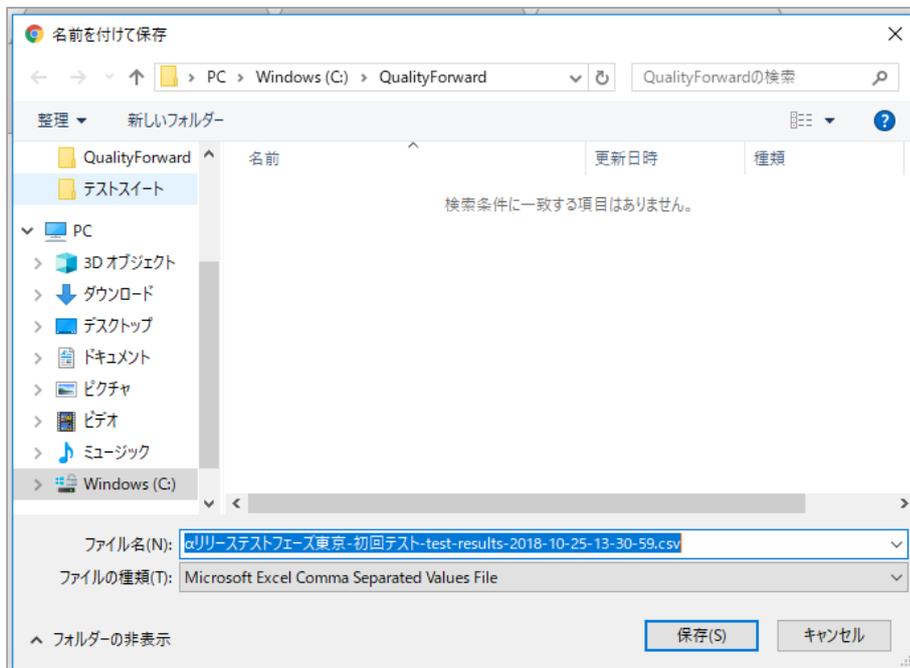
※テスト結果のエクスポートはマルチサイクルでは対応しておりません。

(1) テストサイクル画面を開き、操作メニューから結果のエクスポートを選択します。

スト / 初回テスト 操作 QualityForward@QFサポートチーム

テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テス
機能A → 機能B → 機能C 機能Eの順で遷移する	画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A → 機能B → 機能C 機能Dの順で遷移する	可能であること 画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A → 機能B → 機能C 機能Eの順で遷移する	可能であること 画面へ遷移可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A → 機能B → 機能D → 機能E → 機能C 機能Cの順で遷移する	可能であること ① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	
機能A → 機能B → 機能E → 機能C → 機能D 機能Dの順で遷移する	可能であること ① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/02/14	PASS	

(2) ダイアログボックスが開いたら保存先を選択し、保存ボタンを押します。



(3) 以下のような形式でテスト結果がエクスポートされます。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	識別ID	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
2	1	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
3	2	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
4	3	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
5	4	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
6	5	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
7	6	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
8	7	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
9	8	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
10	9	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
11	10	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
12	11	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
13	12	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
14	13	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
15	14	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
16	15	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
17	16	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
18	17	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
19	18	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
20	19	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
21	20	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
22	21	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
23	22	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
24	23	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
25	24	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				
26	25	qualityf.user+27@gmail.com	2018/2/14 0:00	PASS				

## 10.9. テスト結果をインポートする

テスト結果インポートでは、まだ結果の入っていないテストサイクルに結果を書き込むことや、既に入力してあるテスト結果に対し上書きを行うことができます。

※テスト結果のインポートはマルチサイクルでは対応していません。

(1) 以下のように csv ファイルを作成します。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	識別ID	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
2	1	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS	FAIL → PASS	Chrome	#00000	テスト結果インポート
3	2	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
4	3	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
5	4	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
6	5	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	FAIL		Chrome	#00000	
7	6	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
8	7	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
9	8	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	FAIL		Chrome	#00000	
10	9	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS	FAIL → PASS			
11	10	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
12	11	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
13	12	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
14	13	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	FAIL		Chrome	#00000	
15	14	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
16	15	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
17	16	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
18	17	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
19	18	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
20	19	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
21	20	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
22	21	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
23	22	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
24	23	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
25	24	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				
26	25	qualityf.user+27@gmail.com	2018/10/15 00:00:00	PASS				

インポートできるファイルは csv 形式になります。以下の内容をご確認のうえインポートを実施してください。アップロードエラーとなった場合、インポートは実施されません。

※対象の識別 ID に対し書き込みを行うため、識別 ID は正しく指定してください

※プロジェクトに存在しないユーザ、またはテスト実施者が無記入の場合はインポートすることができません

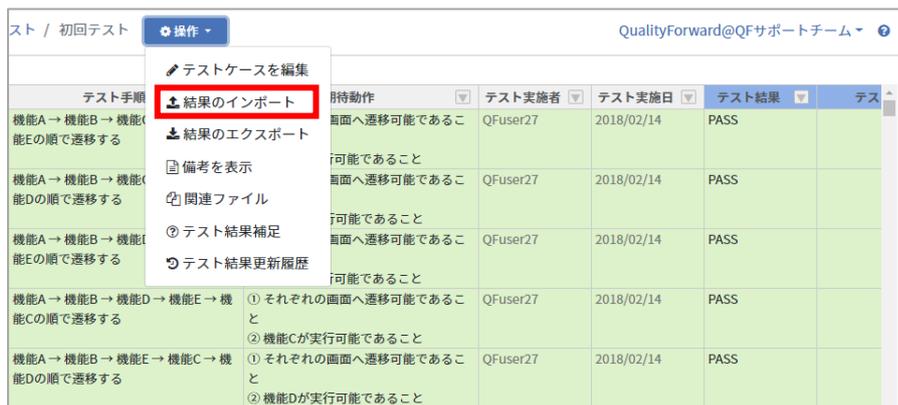
※日付の形式は「yyyy/mm/dd hh:mm:ss」です

※テスト結果、テスト結果補足は QualityForward 上の設定と、csv で指定した文字列が完全に一致している必要があります

※文字コードは「UTF-8」のみ対応しております

※インポートするテスト結果の数がテストサイクルの行数より多い場合、インポートすることができません

(2) テストサイクル画面を開き、操作メニューから結果のインポートを選択します。



(3) テスト結果インポート画面が開いたら、手順 (1) で作成した csv ファイルを指定し、登録するボタンを押します。



(4) テスト結果がインポートされました。

	テスト手順	期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境	バグID	備考
1	する 機能A → 機能B → 機能C → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS	FAIL → PASS	Chrome	#00000	テスト結果インポート
2	する 機能A → 機能B → 機能C → 機能E → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
3	する 機能A → 機能B → 機能D → 機能C → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
4	する 機能A → 機能B → 機能D → 機能E → 機能Cの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
5	する 機能A → 機能B → 機能E → 機能C → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	FAIL		Chrome	#00000	
6	する 機能A → 機能B → 機能E → 機能D → 機能Cの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
7	する 機能A → 機能C → 機能B → 機能D → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
8	する 機能A → 機能C → 機能B → 機能E → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	FAIL		Chrome	#00000	
9	する 機能A → 機能C → 機能D → 機能B → 機能Eの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Eが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS	FAIL → PASS			
10	する 機能A → 機能C → 機能D → 機能E → 機能Bの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Bが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				
11	する 機能A → 機能C → 機能E → 機能B → 機能Dの順で遷移する	① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	QFuser27	2018/10/15	PASS				

## 10.10. 掲示板でテスト状況の報告を行う

各テストサイクルには掲示板が設置されており、プロジェクト内のユーザ同士でコメントのやり取りを行うことができます。コメントボタンには投稿されたコメントの件数が表示されます。

マルチサイクルではマルチサイクルごとに掲示板が存在します。

- (1) テストサイクルまたはマルチサイクル一覧からコメントボタンを押します。

The screenshot displays the test cycle management interface. At the top, there are two test cycle entries. The first entry, 'テストケース\_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト', is in a 'テスト中' (Testing) state. The second entry, 'テストケース\_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト 再テスト', is in a '未実施' (Not Executed) state. Both entries have a 'コメント' (Comment) button with a red border and a '0' next to it, indicating no comments have been posted yet. Below this, there is a 'マルチサイクル一覧' (Multi-cycle Overview) section with a search bar and a '+ マルチサイクル追加' (Add Multi-cycle) button. The overview table shows a test cycle 'テストケース\_500件-TestCase 2回目' in a 'テスト中' state, with a 'コメント' button also highlighted in red.

- (2) 任意のメッセージを入力し、投稿ボタンを押すとコメントが投稿されます。

コメントにはメンション機能があり、投稿時に通知メールを指定の宛先に送信することができます。コメント入力欄に "@" を入力するとプルダウンメニューが表示され、プロジェクト内のユーザを選択することができます。"@all" を選択するとプロジェクト内のすべてのユーザに向けて通知メールを送信することができます。

The screenshot shows a comment input field titled 'サンプルテストサイクルのコメント一覧' (List of comments for sample test cycle). The input field contains '@' and a dropdown menu is open, listing 'all', 'userA', 'userB', 'userC', 'userD', and 'userE'. A '投稿' (Post) button is located to the right of the input field. Below the input field, there is a preview of a comment: 'sample\_user' with a green profile icon, dated '2020/11/13 15:56', and the text 'コメント投稿テスト' (Comment posting test).

- (3) プロジェクト管理者以上の権限を持つユーザはコメントの削除も行うことができます。投稿したコメントの名前の横にあるゴミ箱マークをクリックします。

サンプルテストサイクルのコメント一覧

コメントを入力

投稿

sample\_user 2020/11/13 15:56  
コメント投稿テスト

- (4) コメント削除の確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。

aegis-staging.n2jk-apps.com の内容

コメントを削除しても宜しいですか?

OK キャンセル

## 10.11. レビューのワークフロー

テストはレビューのレビューを終えたのち、完了となります。テスト実施者とテスト管理者はレビューの依頼や差し戻し、完了の通知をテスト実行画面上より行います。

各ワークフローで送信されたメッセージはコメントとして記録され、テストサイクル横の「コメント」から確認することができます。

### 10.11.1. レビューを依頼する

テストが終わったらテスト実施者はレビュー依頼をすることができます。レビュー依頼をするとレビューに指定されたメールアドレスにレビュー依頼通知が送信されます。

- (1) 対象のテストサイクルの親となるテストフェーズの設定画面を開き、レビューのメールアドレスを確認します。レビューはいつでも追加、削除することができます。

## テストフェーズの設定

### 基本設定

※テストフェーズ名

※フェーズ開始日

※フェーズ終了日

レビュワーのメールアドレス   
①メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます

- (2) レビュー依頼を出したいテスト実行画面最下部のレビュー依頼ボタンを押します。



- (3) 任意のメッセージを入力し、送信ボタンを押します。

レビュー依頼

例：機器が調達できなかったためスキップのテストがあります

※レビュー依頼メールはレビュワー設定が有る場合にのみ、レビュワーに送信されます。

- (4) レビュー依頼やレビュー完了などの通知は、メールで通知された URL、またはテストサイクル一覧画面のコメントボタンから開ける掲示板にも記載されます。

※投稿したコメントと異なり、この内容を掲示板から削除することはできません。

## 【要確認】 サンプルスイート - 1.0 1回目テストのレビュー依頼が届きました 受信トレイ ×



no-reply@cloud.veriserve.co.jp

To 自分 ▾

「サンプルフェーズ」の「サンプルスイート - 1.0 1回目テスト」に対するレビュー依頼が届きました。

■ メモ

テストが完了したため確認をお願いします。

■ テスト結果の確認はこちら

[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test\\_phases/865/test\\_suite\\_assignments/1554/test\\_cycles/1662](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1662)

■ コメントをやり取りしたい場合はこちら

[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test\\_phases/865/test\\_suite\\_assignments/1554/test\\_cycles/1662/test\\_cycle\\_comments](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1662/test_cycle_comments)

### テストサイクル名 ▲

テスト担当者

進行状況

テストケース\_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト

▼ A, B, C

📅 2022/04/12 ~ 2022/04/26

指定なし

32/1008 (3%)

▶ 開く

🔍 コメント 1

🔗 設定 📄 デフォルト値設定 📄 検証設定 📄 進捗予測 📄 xls 🔄 再テスト

### サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビューが完了しました 🕒 2019/04/04 17:26



QualityForward

テスト結果に問題がないことを確認しました。  
テスト完了とします。

レビュー依頼が行われました 🕒 2019/04/04 17:25



テスト花子

再レビューをお願いします

レビューが差し戻されました 🕒 2019/04/04 17:25



QualityForward

スキップの項目を確認してください

レビュー依頼が行われました 🕒 2019/04/04 17:24



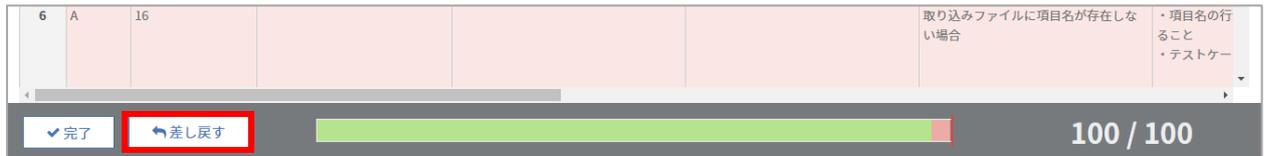
テスト花子

テストが完了したため確認をお願いします。

## 10.11.2. レビュー依頼を差し戻す

レビュー待ちのテストケースに不備があった場合、テスト実施者へレビュー依頼の差し戻しを行います。

- (1) レビュー待ちのテストサイクルを開きます。
- (2) テスト実行画面最下部の差し戻すボタンを押します。



- (3) 差し戻し理由を入力し、送信ボタンを押します。

A screenshot of a dialog box titled '差し戻し理由を記入してください' (Please enter the reason for retry). The dialog has a close button (X) in the top right corner. Inside the dialog, there is a text input field containing the example text '例：スキップの数が多すぎるので再チェックして下さい'. At the bottom right of the dialog, there is a blue '送信' (Send) button, which is highlighted with a red rectangular box.

- (4) テスト実施者へ差し戻しメールが送信され、掲示板にも差し戻しが通知されます。



サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビューが完了しました 2019/04/04 17:26

 **QualityForward**  
 テスト結果に問題がないことを確認しました。  
 テスト完了とします。

レビュー依頼が行われました 2019/04/04 17:25

 **テスト花子**  
 再レビューをお願いします

レビューが差し戻されました 2019/04/04 17:25

 **QualityForward**  
 スキップの項目を確認してください

レビュー依頼が行われました 2019/04/04 17:24

 **テスト花子**  
 テストが完了したため確認をお願いします。

### 10.11.3. レビューを完了する

テスト実行結果に不備がなければ、テストサイクルを完了とすることができます。レビューを完了したテストサイクルは閲覧専用となり、編集を行うことができなくなります。一度完了させたレビューの状態を変更するには手順 [10.12](#) を参照ください。

- (1) レビュー待ちのテストサイクルを開きます。
- (2) テスト実行画面最下部の完了ボタンを押します。



- (3) 任意のメッセージを入力したら送信ボタンを押します。

レビュー完了 ×

例：テスト結果に問題がないことを確認しました

送信

(4) レビュー完了通知がテスト実施者へ送信され、掲示板にもレビュー完了が通知されます。

**【要確認】 サンプルスイート - 1.0 1回目テストのレビューが完了しました** 受信トレイ x

**no-reply@cloud.veriserve.co.jp**  
To qualityf.user+2 ▾

「サンプルフェーズ」の「サンプルスイート - 1.0 1回目テスト」のレビューが完了しました。

- メモ  
テスト結果に問題がないことを確認しました。  
テスト完了とします。
- テスト結果の確認はこちら  
[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test\\_phases/865/test\\_suite\\_assignments/1554/test\\_cycles/1663](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1663)
- コメントをやり取りしたい場合はこちら  
[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test\\_phases/865/test\\_suite\\_assignments/1554/test\\_cycles/1663/test\\_cycle\\_comments](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1663/test_cycle_comments)

**サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧**

コメントを入力

投稿

**レビューが完了しました** 🕒 2019/04/04 17:26

**QualityForward**  
テスト結果に問題がないことを確認しました。  
テスト完了とします。

**レビュー依頼が行われました** 🕒 2019/04/04 17:25

**テスト花子**  
再レビューをお願いします

**レビューが差し戻されました** 🕒 2019/04/04 17:25

**QualityForward**  
スキップの項目を確認してください

**レビュー依頼が行われました** 🕒 2019/04/04 17:24

**テスト花子**  
テストが完了したため確認をお願いします。

## 10.12. テストサイクルの状態を変更する

プロジェクト管理者以上の権限を持つユーザは、テストサイクルの状態を変更することができます。テストサイクルの状態は未実施・テスト中・レビュー待ち・完了の4種類から選択することができます。

- (1) テストサイクル一覧画面から「設定」をクリックし、テストサイクルの設定画面を開きます。



- (2) 管理者向けの設定内の「状態」のプルダウンメニューより任意の状態を選択し、「更新する」ボタンを押します。



- (3) テストサイクル一覧画面に遷移し、テスト状態が変更されていることを確認できます。

テストサイクル名 ▲

テストケース\_1000件.xlsx - 1.0 1回目テスト  
 ▼ A, B, C  
 ☞ 2022/04/12 ~ 2022/04/26

**テスト中**

🔗 設定 📄 デフォルト値設定 📄 検証設定 📄 進捗予測 📄 xlsx 🔄 再テスト

## 10.13. 関連ファイルを確認する

テストスイート作成時にアップロードした関連ファイルをテスト実行画面からダウンロードできます。

- (1) テスト実行画面上部の操作プルダウンから関連ファイルをクリックします。

トップ / サンプルプロジェクト / テストフェーズ一覧 / testの対象テストスイート一覧 / テストスイートサンプル\_リリース前試験-2.0のテストサイクル一覧 / テストスイートサンプル\_リリース前試験-2.0 1回目テスト

優先度	機能カテゴリ	テスト観点	事前条件	テスト手順	期待動作	テスト
146	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Bが実行できる状態にする の順で遷移する	機能Eが実行可能であること ① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	Quality
147	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Bが実行できる状態にする の順で遷移する	機能Eが実行可能であること ① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Dが実行可能であること	Quality
148	A	主機能遷移	全組み合わせ	機能Bが実行できる状態にする の順で遷移する	機能Eが実行可能であること ① それぞれの画面へ遷移可能であること ② 機能Cが実行可能であること	Quality

操作

- 🔗 テストケースを編集
- 📄 結果のインポート
- 📄 結果のエクスポート
- 👤 担当者を表示
- 📄 関連ファイル**
- 🔄 テスト結果更新履歴

- (2) 関連ファイル一覧画面が表示されたら、ダウンロードしたいファイルをクリックします。

関連ファイル

📄 サンプル.docx (QualityForward : 2020/09/08)

## 10.14. テストの実行時間を確認する

テストスイートに対し、テストが実行された時間の確認ができます。テストスイート一覧画面のテストスイート名の下に直近の実行時間が表示されます

**利用可 1.0**

Mテスト インポート エクスポート レポート

**🕒 直近の実行時間：約 18.8 時間**

📅 作成日時：2018/10/01 11:03

🔗 設定 📄 コピー 📄 xlsx

※実行時間はテスト実行のチェック依頼が完了になると算出されます。

※該当のテストサイクルにおいてその日の最も遅いテスト実施日時(テスト結果を投入した実時間)から最も早いテスト実施日時を引いたものが直近の実行時間として1日ごとに算出されます。全ての日数の実行時間の累計が「直近の実行時間」となります。

## 10.15. 更新履歴管理

テスト結果の更新履歴を見ることができます。どのテストケースに対し、誰が・いつ・どのように変更を加えたかを一覧で表示します。

※更新履歴はマルチサイクルには対応していません。

(1) テスト実行画面上部の操作プルダウンからテスト結果更新履歴のリンクをクリックします。



(2) テスト結果更新履歴の一覧が表示されます。更新履歴は最初の入力の後に更新が行われた場合のみ出力されます。

The screenshot shows the 'Test Results Update History' page. It has a table with columns for date, test case, user, and update content. There are two rows of data.

日付	テストケース	ユーザ	変更内容
2017/06/29 09:50:41	7	QualityForward	{"テスト結果"=>["BLOCK", "PASS"]}
2017/06/29 09:50:42	8	QualityForward	{"テスト結果"=>["BLOCK", "PASS"]}

# 第11章 マルチサイクルの実行管理

本章ではマルチサイクルの実行管理について説明します。

## 11.1. マルチサイクルを実行する

マルチサイクルの準備ができたならテストの実行に入ります。

- (1) マルチサイクル一覧画面から、実行したいテストの「開く」ボタンを押します。



- (2) テスト結果は環境ごとにプルダウンで選択して入力できます。結果のラベルはプロジェクト作成時に設定したものが表示されます。

テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	添付ファイル	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	添付ファイル	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	添付ファイル
Qualityforward	2023/02/13	FAIL			Qualityforward	2023/02/09	PASS			Qualityforward	2023/02/10	FAIL		
Qualityforward	2023/02/10	PASS			Qualityforward	2023/02/10	FAIL			Qualityforward	2023/02/10	PASS		
Qualityforward	2023/02/10	SKIP			Qualityforward	2023/02/10	SKIP			Qualityforward	2023/02/10	SKIP		
Qualityforward	2023/02/10	CUT			Qualityforward	2023/02/10	CUT			Qualityforward	2023/02/10	CUT		
Qualityforward	2023/02/10	PASS			テストユーザー1	2023/02/10	PASS			Qualityforward	2023/02/10	PASS		

- (3) テスト結果を入力すると実施者と実施日が自動で入力されます。マルチサイクルは複数のユーザで実行することが可能です。

QualityForward	2023/02/10	CUT
テストユーザ1	2023/02/10	PASS

(4) 自由項目欄は任意に入力が可能です。

テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	添付ファイル	環境	バグID	備考
					テスト環境	#000	

### 11.1.1. テスト実行画面上にコメントを表示する

テストを実行しながらコメントの確認ややり取りを行うことができます。

	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグID	備考	添付ファイル
1	QualityForward	2022/05/20	BLOCK		#111		
2	QualityForward	2022/05/20	BLOCK		#112,#113,#111,#114		
3	QualityForward	2022/05/20	Q&A		#113,#114		
4	QualityForward	2022/05/20	Q&A		#115,#113,#111		

33/497 [レビュー依頼](#) [コメントを表示](#)

トップ / 20220221 / テストフェーズ一覧 / フェーズの対象テストスイート一覧  
 / テストケース\_500件-TestCase - 1.0のテストサイクル一覧 / テストケース\_500件-TestCase - 1.0 1回目テスト

	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境	バグID
1	QualityForward	2022/05/20	BLOCK		#111
2	QualityForward	2022/05/20	BLOCK		#112,#113,#111,#114
3	QualityForward	2022/05/20	Q&A		#113,#114
4	QualityForward	2022/05/20	Q&A		#115,#113,#111

テストケース\_500件-TestCase - ×  
1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力

**投稿**

**QualityForward** @ 2022/05/20 18:06  
コメント

**QualityForward** @ 2022/05/20 15:08  
コメントサンプルコメントサンプルコメントサ  
ンプルコメントサンプルコメントサンプル

## 11.2. テスト結果にファイルを添付する

各テスト結果に複数のファイルを添付することができます。※ファイルサイズの上限は 1MB までです。

- (1) テスト結果部右端の添付ファイル欄をダブルクリックします。

テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	添付ファイル

- (2) ファイル添付画面が開いたら「Browse」ボタンをクリックし、添付したいファイルを選択します。

添付ファイル

**Browse**

**アップロード**

- (3) ファイルを選択したらアップロードボタンを押します。

添付ファイル

未アップロード  
test.docx test.xlsx

**アップロード**

- (4) テスト結果部の添付ファイル欄に選択したファイル名が表示されます。ファイル名をクリックするとファイルをダウンロード保存することが可能です。

テスト結果	環境	バグID	備考	添付ファイル
PASS				test.docx test.xlsx

### 11.3. テストを実行しながら BTS に起票する

テストフェーズ設定画面で BTS 連携の設定が済んでいる場合、該当テストケースを右クリックすることで直接チケットの起票画面を開くことができます。

- (1) FAIL など不具合があった場合、該当のテストケースで右クリックします。

期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	環境
<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること</li> <li>「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること</li> <li>インポートしたテストケースが全て表示されること</li> </ul>	QualityForward	2020/04/07	FAIL	
<ul style="list-style-type: none"> <li>エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること</li> </ul>				

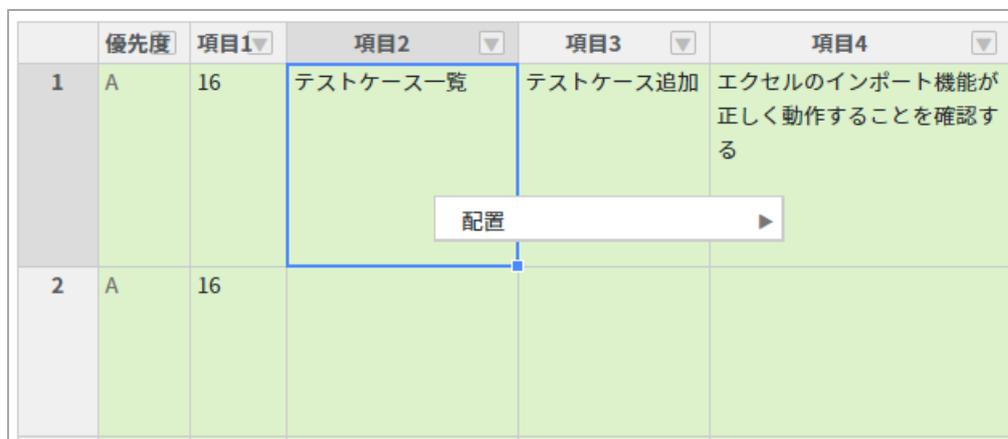
配置  
BTSに起票

- (2) チケットの起票が完了するとグラフやレポートに反映されます。

## 11.4. 文字列の配置を変更する

テスト実行画面のテストケースの文字配置を変更することができます。

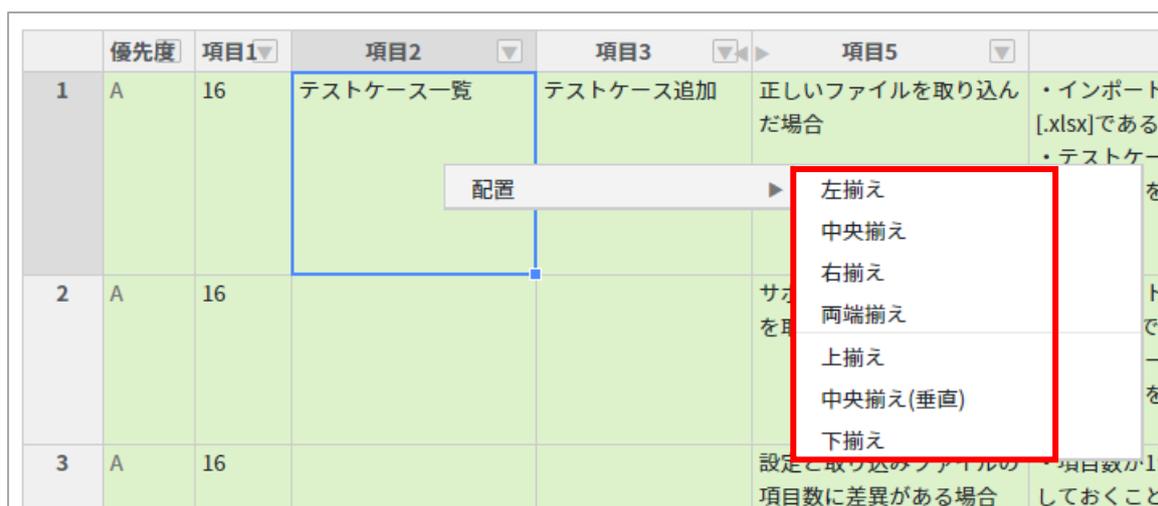
- (1) 文字の配置を変更したいセルまたは列を選択し、右クリックします。



The screenshot shows a table with columns: 優先度, 項目1, 項目2, 項目3, 項目4. Row 1 contains: A, 16, テストケース一覧, テストケース追加, エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する. A blue selection box is around the cell containing 'テストケース一覧'. A context menu titled '配置' is open over this cell.

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目4
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する
2	A	16			

- (2) 変更したい配置を選択すると選択されているセルの文字の配置を変えることができます。



The screenshot shows the same table as above. The context menu '配置' is open, and a sub-menu is visible with the following options: 左揃え, 中央揃え, 右揃え, 両端揃え, 上揃え, 中央揃え(垂直), 下揃え. These options are highlighted with a red box.

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目5
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しいファイルを取り込んだ場合 ・インポート [.xlsx]であるこ ・テストケー
2	A	16			サ を
3	A	16			設定と取り込みファイルの 項目数が1つ 項目数に差異がある場合 しておくこと

## 11.5. 列の表示・非表示を切り替える

テスト実行中に表示する必要がない列は非表示にすることができます。

- (1) テスト実行画面で非表示にしたい列の項目名を右クリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目4 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい場合	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合
2	A	16				サポート対象外のファイルを取り込んだ場合

(2) 列を非表示をクリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目4 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい場合	サポート対象外のファイルを取り込んだ場合
2	A	16				サポート対象外のファイルを取り込んだ場合

(3) 列を再表示する場合は、非表示になっている列の両隣の列を選択してから右クリックします。

	優先度	項目1▼	項目2 ▼	項目3 ▼	項目5 ▼
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい場合
2	A	16			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合

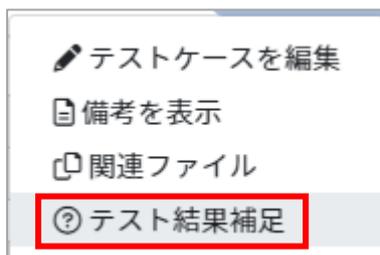
(4) 列を表示をクリックします。

	優先度	項目1	項目2	項目3	項目5
1	A	16	テストケース一覧	テストケース追加	正しい場合 配置 列を表示 列を非表示
2	A	16			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合

## 11.6. テスト結果補足の設定内容を確認する

プロジェクト設定でテスト結果補足を利用するにチェックを入れた場合、実行画面からも確認することができます。

- (1) テスト実行画面上部の操作プルダウンからテスト結果補足をクリックします。



- (2) テスト結果補足に設定した内容を確認できます。



- (3) テスト結果が入力されている場合にテスト結果補足の入力を行うことができます。

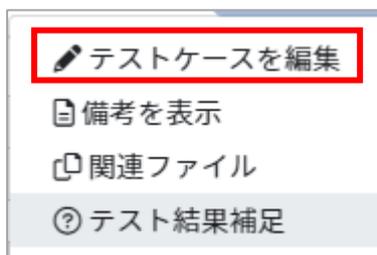
期待動作	テスト実施者	テスト実施日	テスト結果	テスト結果補足	環境
・エラーメッセージ「入力内容を確認して下さい」が表示されること	QualityForward	2018/03/29	PASS		
・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・2つ目以降の項目は無視して登録されていること	QualityForward	2018/05/14	PASS		
・エラーが発生せず、テストケース一覧画面に遷移すること ・「〇件のテストケースを追加しました」と表示されること ・インポートしたテストケースが全て表示されること	QualityForward	2018/03/29	FAIL		

FAIL → PASS  
SKIP → PASS  
QA → PASS

## 11.7. テストケースを編集する

テスト実行画面から、テストケースの編集画面へ遷移することができます。

- (1) テストケースの編集を行う場合、テスト実行画面上部の操作プルダウンからテストケースを編集をクリックして編集画面へ進みます。



- (2) テストケース編集はテストケース作成時と同様に自由に編集可能です。エクセルインポートで一括上書きも可能です。

※エクセルシートをインポート時に同じ識別 ID が存在する場合、既にあるデータにインポートデータが上書きされます。

**注意!**

このテストスイートには、既にテストサイクルが存在しているため読取専用になっています。  
 テストケースの編集や削除を行った場合、完了しているテストサイクルを含め関係するテストケースが書き換わります。(同じ識別IDの行が上書き、もしくは削除されます)。  
 誤字脱字やテスト手順の軽微な変更等を除き、テストスイートのアップデートには別名の新たなファイルをインポートしてください。

テストサイクル実行中の場合、テストケース編集後にテストサイクル側で画面を更新していただく必要があります。

テストケース\_500件-TestCase - 1.0のテストケース編集 編集を有効にする コメントを表示

sample1_1	sample1_2		sample1_3		
sample2_1	sample2_2	sample2_3	sample2_4		
優先度	ここを変更	列名かえたよ	テスト目的	テスト条件	事前条件
1	A	テストケース一覧	テストケース追加	エクセルのインポート機能が正しく動作することを確認する	正しいファイルを取り込んだ場合 ・インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと
2	A			サポート対象外のファイルを取り込んだ場合	・インポートするエクセルの拡張子が[.xlsx]以外であること ・テストケースを追加するためのテストスイートを作成しておくこと
3	A			設定と取り込みファイルの項目数に差異がある場合	・項目数が1つのテストスイートを作成しておくこと ・項目数が2つ以上のテストケースで

## 11.8. 掲示板でテスト状況の報告を行う

各マルチサイクルには掲示板が設置されており、プロジェクト内のユーザー同士でコメントのやり取りを行うことができます。コメントボタンには投稿されたコメントの件数が表示されます。

(1) マルチサイクル一覧からコメントボタンを押します。

マルチサイクル一覧 + マルチサイクル追加

テストサイクル名で検索  検索

テストサイクル名 ▲	対象環境	テスト担当者	進行状況
テスト中 テストケース_500件-TestCase 2回目 ▼ A, B, C, F 2023/02/09 ~ 2023/02/20 設定 デフォルト値設定 進捗予測	1 設定	QualityForward	22/1505 (1%) 環境を追加 ▶開く <span>コメント 4</span>
	2 設定		
	3 設定		

(2) 任意のメッセージを入力し、投稿ボタンを押すとコメントが投稿されます。

コメントにはメンション機能があり、投稿時に通知メールを指定の宛先に送信することができます。コメント入力欄に"@"を入力するとプルダウンメニューが表示され、プロジェクト内のユーザーを選択することができます。"@all"を選択するとプロジェクト内のすべてのユーザーに向けて通知メールを送信することができます。



- (3) プロジェクト管理者以上の権限を持つユーザはコメントの削除も行うことができます。投稿したコメントの名前の横にあるゴミ箱マークをクリックします。



- (4) コメント削除の確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



## 11.9. レビューのワークフロー

テストはレビューのレビューを終えたのち、完了となります。テスト実施者とテスト管理者はレビューの依頼や差し戻し、完了の通知をテスト実行画面上より行います。

各ワークフローで送信されたメッセージはコメントとして記録され、テストサイクル横の「コメント」から確認することができます。

## 11.9.1. レビューを依頼する

テストが終わったらテスト実施者はレビュー依頼をすることができます。レビュー依頼をするとレビュー者に指定されたメールアドレスにレビュー依頼通知が送信されます。

- (1) 対象のマルチサイクルの親となるテストフェーズの設定画面を開き、レビュー者のメールアドレスを確認します。レビュー者はいつでも追加、削除することができます。

テストフェーズの設定

基本設定

※テストフェーズ名: サンプルフェーズ

※フェーズ開始日: 2019/04/04

※フェーズ終了日: 2019/05/04

レビュー者のメールアドレス: qualityf.user@gmail.com  
①メールアドレスはカンマ区切りで複数指定できます

- (2) レビュー依頼を出したいテスト実行画面最下部のレビュー依頼ボタンを押します。



- (3) 任意のメッセージを入力し、送信ボタンを押します。

レビュー依頼

例：機器が調達できなかったためスキップのテストがあります

送信

※レビュー依頼メールはレビュー者設定が有る場合にのみ、レビュー者に送信されます。

- (4) レビュー依頼やレビュー完了などの通知は、メールで通知された URL、またはテストサイクル一覧画面のコメントボタンから開ける掲示板にも記載されます。

※投稿したコメントと異なり、この内容を掲示板から削除することはできません。

The image shows an email notification and a screenshot of a web application interface. The email is from no-reply@cloud.veriserve.co.jp and contains a review request for a test cycle. A red box highlights a URL for posting comments. The screenshot below shows the 'マルチサイクル一覧' (Multi-cycle Overview) page with a table of test cycles. A red box highlights the 'コメント' (Comment) button for a specific test cycle.

**【要確認】 サンプルスイート - 1.0 1回目テストのレビュー依頼が届きました** 受信トレイ x

no-reply@cloud.veriserve.co.jp  
To 自分

「サンプルフェーズ」の「サンプルスイート - 1.0 1回目テスト」に対するレビュー依頼が届きました。

- メモ  
テストが完了したため確認をお願いします。
- テスト結果の確認はこちら  
[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test\\_phases/865/test\\_suite\\_assignments/1554/test\\_cycles/1662](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1662)
- コメントをやり取りしたい場合はこちら  
[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test\\_phases/865/test\\_suite\\_assignments/1554/test\\_cycles/1662/test\\_cycle\\_comments](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1662/test_cycle_comments)

マルチサイクル一覧 + マルチサイクル追加

テストサイクル名で検索

テストサイクル名 ▲	対象環境	テスト担当者	進行状況
テストケース_500件-TestCase 2回目 ▼ A, B, C, F 📅 2023/02/09 ~ 2023/02/20 🔗 設定 📄 デフォルト値設定 📄 進捗予測	1 🔗 設定	QualityForwa rd	<input type="text"/> <input type="text"/> 22/1505 (1%)
	2 🔗 設定		
	3 🔗 設定		

環境を追加 ▶ 開く

## 11.9.2. レビュー依頼を差し戻す

レビュー待ちのテストケースに不備があった場合、テスト実施者へレビュー依頼の差し戻しを行います。

- (1) レビュー待ちのマルチサイクルを開きます。

The screenshot shows the 'マルチサイクル一覧' page. The 'レビュー待ち' (Review Pending) status is highlighted in orange. The '開く' (Open) button is highlighted with a red box.

マルチサイクル一覧 + マルチサイクル追加

テストサイクル名で検索

テストサイクル名 ▲	対象環境	テスト担当者	進行状況
テストケース_500件-TestCase 2回目 ▼ A, B, C, F 📅 2023/02/09 ~ 2023/02/20 🔗 設定 📄 デフォルト値設定 📄 進捗予測	1 🔗 設定	QualityForwa rd	<input type="text"/> <input type="text"/> 22/1505 (1%)
	2 🔗 設定		
	3 🔗 設定		

環境を追加

- (2) テスト実行画面最下部の差し戻すボタンを押します。

The screenshot shows the bottom navigation bar with three buttons: '完了' (Completed), '差し戻す' (Re-submit), and 'コメントを表示' (Show Comments). The '差し戻す' button is highlighted with a red box.

(3) 差し戻し理由を入力し、送信ボタンを押します。

差し戻し理由を記入してください ×

例：スキップの数が多すぎるので再チェックして下さい

**送信**

(4) テスト実施者へ差し戻しメールが送信され、掲示板にも差し戻しが通知されます。

**【要確認】 サンプルスイート - 1.0 1回目テストのレビュー依頼が差し戻されました**  
受信トレイ ×

 **no-reply@cloud.veriserve.co.jp**  
To qualityf.user+2 ▼

「サンプルフェーズ」の「サンプルスイート - 1.0 1回目テスト」が以下の理由で差し戻されました。

- 理由  
スキップの項目を確認してください
- 再度テストを行う場合はこちら  
[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test\\_phases/865/test\\_suite\\_assignments/1554/test\\_cycles/1662](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1662)
- コメントをやり取りしたい場合はこちら  
[https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test\\_phases/865/test\\_suite\\_assignments/1554/test\\_cycles/1662/test\\_cycle\\_comments](https://aegis-staging.n2jk-apps.com/projects/314/test_phases/865/test_suite_assignments/1554/test_cycles/1662/test_cycle_comments)

## サンプルスイート - 1.0 1回目テストのコメント一覧

コメントを入力

投稿

レビューが完了しました @ 2019/04/04 17:26



QualityForward

テスト結果に問題がないことを確認しました。  
テスト完了とします。

レビュー依頼が行われました @ 2019/04/04 17:25



テスト花子

再レビューをお願いします

レビューが差し戻されました @ 2019/04/04 17:25



QualityForward

スキップの項目を確認してください

レビュー依頼が行われました @ 2019/04/04 17:24



テスト花子

テストが完了したため確認をお願いします。

### 11.9.3. レビューを完了する

テスト実行結果に不備がなければ、テストサイクルを完了とすることができます。レビューを完了したテストサイクルは閲覧専用となり、編集を行うことができなくなります。一度完了させたレビューの状態を変更するには手順 [11.10](#) を参照ください。

- (1) レビュー待ちのテストサイクルを開きます。
- (2) テスト実行画面最下部の完了ボタンを押します。



- (3) 任意のメッセージを入力したら送信ボタンを押します。

レビュー完了 ×

例：テスト結果に問題がないことを確認しました

送信

- (4) レビュー完了通知がテスト実施者へ送信され、掲示板にもレビュー完了が通知されます。

## 11.10. マルチサイクルの状態を変更する

プロジェクト管理者以上の権限を持つユーザは、マルチサイクルの状態を変更することができます。テストサイクルの状態は未実施・テスト中・レビュー待ち・完了の4種類から選択することができます。

- (1) マルチサイクル一覧画面から「設定」をクリックし、テストサイクルの設定画面を開きます。

### マルチサイクル一覧

テストサイクル名で検索 検索

テストサイクル名 ▲

テスト中	テストケース_500件-TestCase 2回目 ▼ A, B, C, F 📅 2023/02/09 ~ 2023/02/20 <span>✎ 設定</span> <span>📄 デフォルト値設定</span> <span>📊 進捗予測</span>
------	--

- (2) 管理者向けの設定内の「状態」のプルダウンメニューより任意の状態を選択し、「更新する」ボタンを押します。
- (3) テストサイクル一覧画面に遷移し、テスト状態が変更されていることを確認できます。

## 11.11. 関連ファイルを確認する

テストスイート作成時にアップロードした関連ファイルをテスト実行画面からダウンロードできます。

- (1) テスト実行画面上部の操作プルダウンから関連ファイルをクリックします。



- (2) 関連ファイル一覧画面が表示されたら、ダウンロードしたいファイルをクリックします。



# 第12章 レポート管理

レポート画面ではプロジェクト全体、フェーズごとのテスト実施予定数や進捗状況、欠陥数やクローズ数などをまとめて確認できます。

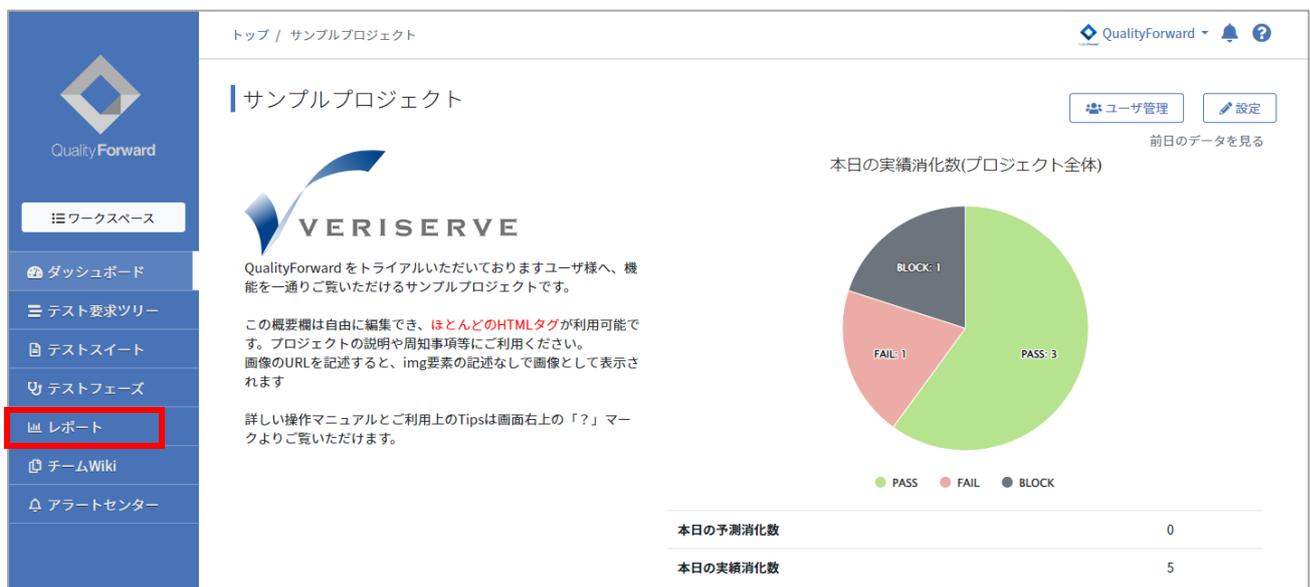
## 12.1. プロジェクト全体のレポート

プロジェクト全体の進捗状況をひと目で確認することができます。

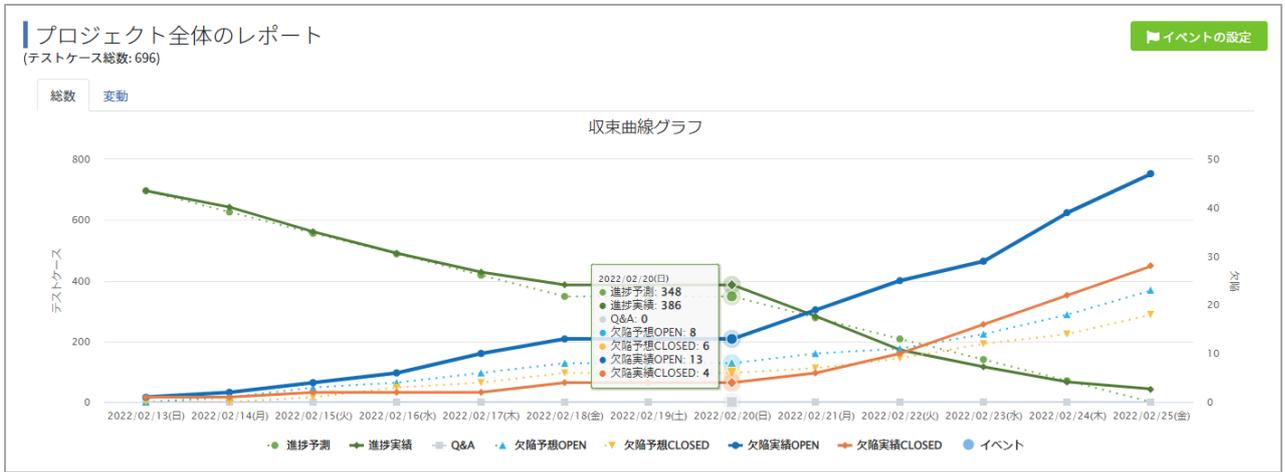
### 12.1.1. 収束曲線（総数）

進捗予測設定やテストケース数が増えたタイミングに関係なく、プロジェクト全体のテストケース数から実績を見るグラフです。

(1) ダッシュボード画面左のメニューからレポートのリンクをクリックします。



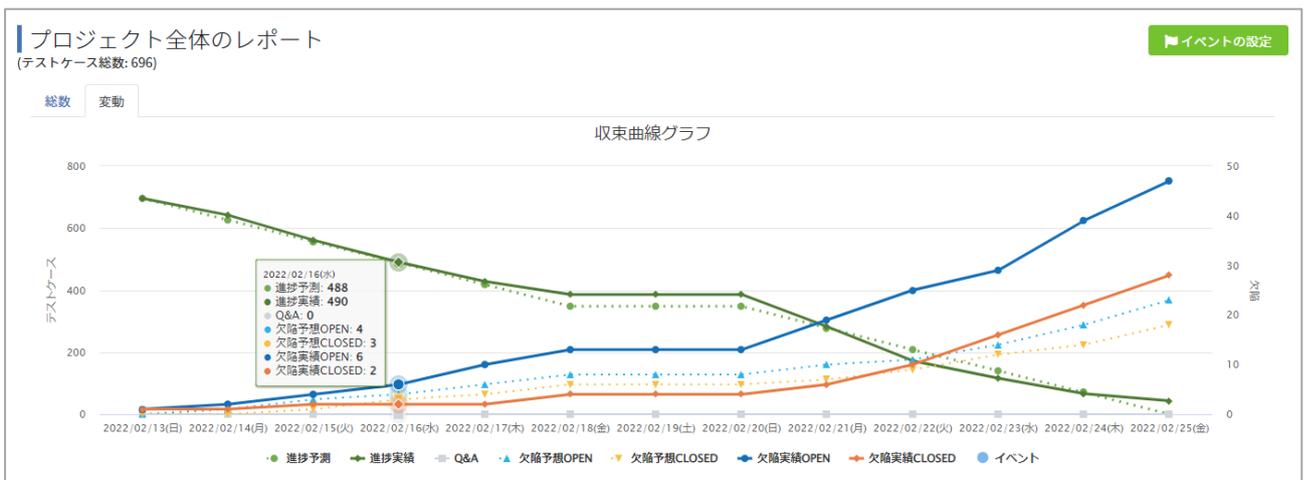
(2) カーソルを合わせると日付ごとに予定と進捗が確認できます。赤い縦線は本日を示しています。



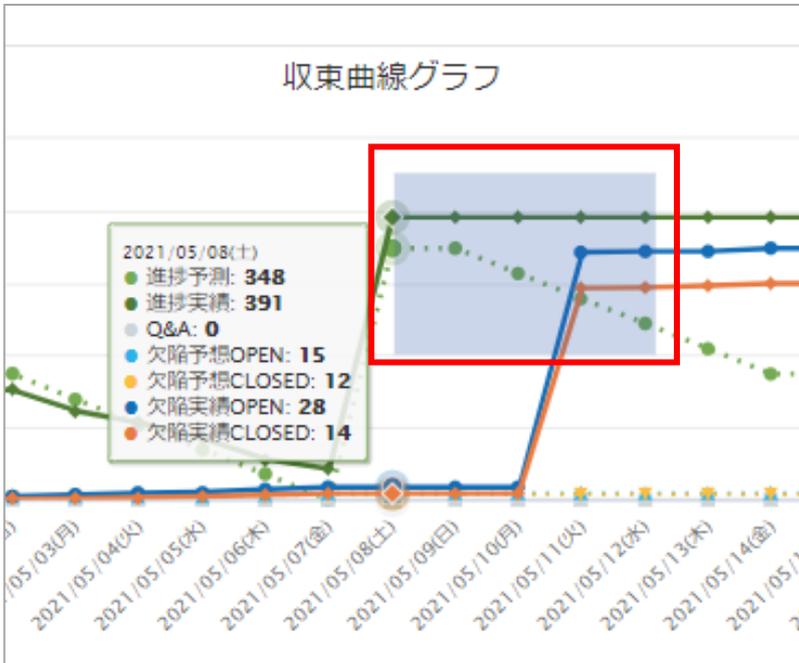
## 12.1.2. 収束曲線（変動）

変動グラフはテストケース数に増減があったタイミングで予定数が変動します。

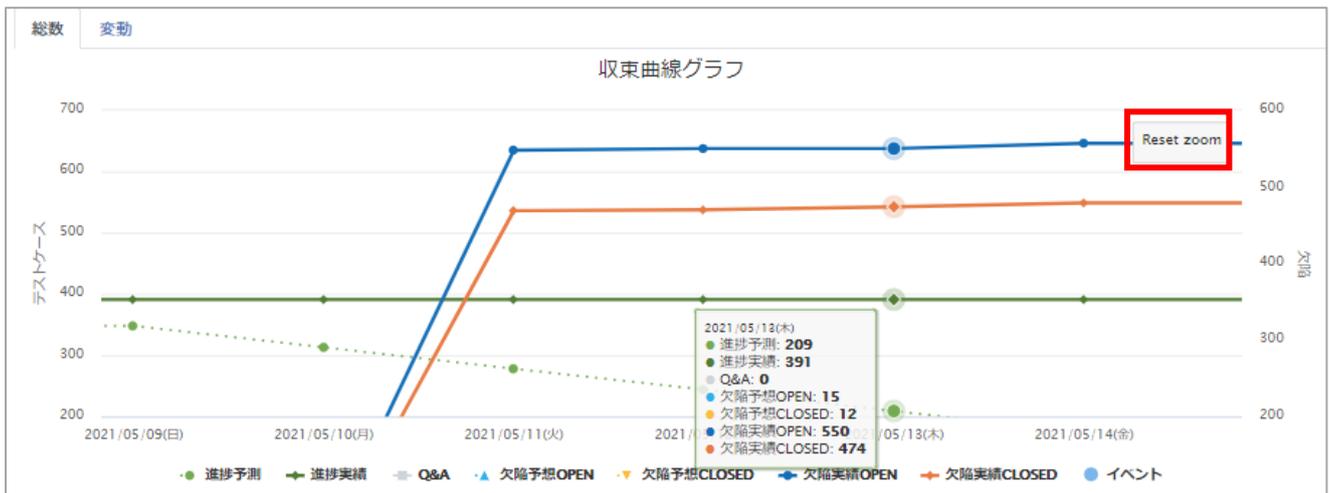
- (1) カーソルを合わせると日付ごとに予定と進捗が確認できます。



※収束曲線グラフが細かくて見づらい場合、ドラッグで範囲選択するとその部分をズームして見ることができます。

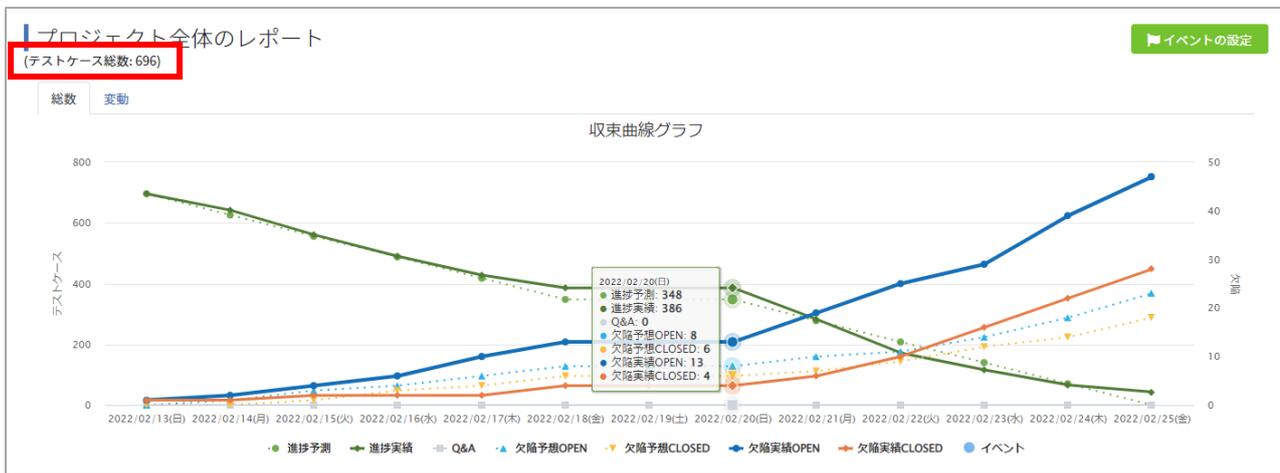


元に戻す場合はグラフ右上に表示される Reset zoom ボタンを押します。



### 12.1.3. テストケース総数を確認する

プロジェクト名横にテストケース総数が表示されます。ここで表示されるのはテストケースに優先度が入力されている・優先度がテストサイクルの対象になっているテストケースの総数です。



## 12.1.4. プロジェクト全体のカバレッジパネル

プロジェクトのテストスイートに対し、どんな機能・観点に向けたテストケースがどれくらい存在し、そのテストがどれくらい実行されているかをひとめで確認できます。

- (1) テストスイートの設定画面から、「カバレッジパネル設定の有効化」にチェックを入れます。

テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

項目1のラベル	使用中	項目1	<input type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	項目2	<input type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	項目3	<input checked="" type="radio"/>
項目4のラベル	使用中	項目4	<input type="radio"/>
項目5のラベル	使用中	項目5	<input type="radio"/>

- (2) 集計対象としたい項目の右側にあるラジオボタンを選択し、保存します。

### テスト定義の自由項目設定

カバレッジパネル設定の有効化

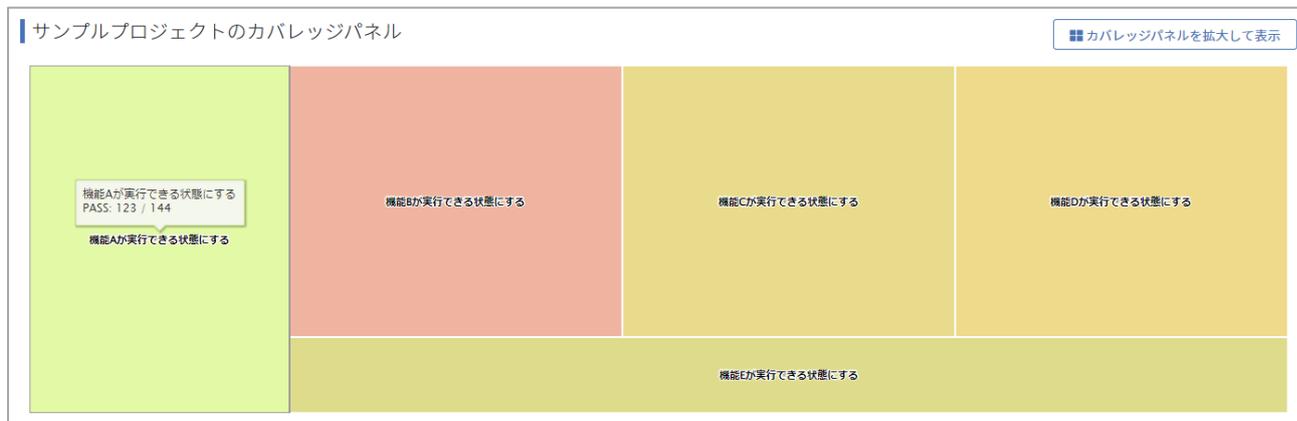
項目1のラベル	使用中	項目1	<input type="radio"/>
項目2のラベル	使用中	項目2	<input type="radio"/>
項目3のラベル	使用中	項目3	<input checked="" type="radio"/>
項目4のラベル	使用中	項目4	<input type="radio"/>
項目5のラベル	使用中	項目5	<input type="radio"/>

(3) レポート画面を開くとフェーズ一覧の下にカバレッジパネルが表示されます。

テストスイート設定画面で対象のカラムを指定してある全テストスイートから集計されます。テストがクリアした件数に応じて色が緑に変わっていきます。

カーソルを合わせると全部で何件のテストケースが存在し、何件のテストがクリアしたかを確認できます。

全てのテストがクリア（PASS 率 100%）となった場合、★マークが表示されます。



※カバレッジパネルの分母はテストケース数のユニーク数、分子はそのテストケースに対する総テスト実行回数です。テストサイクルが複数回実施される場合は PASS 率が 200%、300%と増えていき、100%ごとに★マークが増えていきます。

## 12.1.5. フェーズ一覧

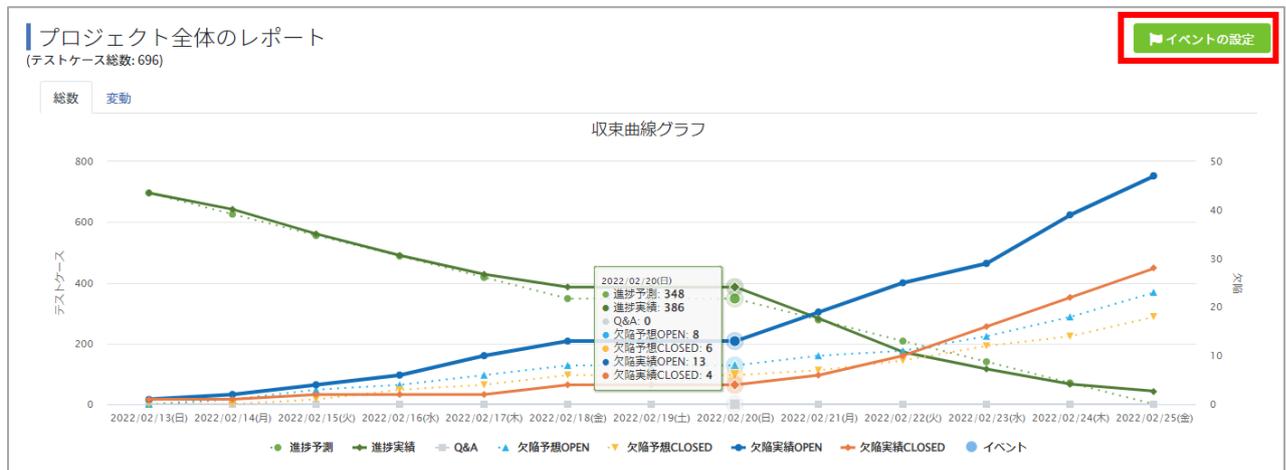
プロジェクトに登録されているテストフェーズの一覧が表示されます。

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進行状況	
αリリース向けテストフェーズ東京	2022/02/13	2022/02/25	233/348 (66%)	<a href="#">チャート</a> <a href="#">実績推移表</a>
αリリース向けテストフェーズ沖縄	2022/02/13	2022/02/25	290/348 (83%)	<a href="#">チャート</a> <a href="#">実績推移表</a>
βリリース向けフル試験	2022/02/13	2022/02/25	▲ まだデータがありません	<a href="#">チャート</a> <a href="#">実績推移表</a>

## 12.1.6. プロジェクトのイベント設定

プロジェクト全体の収束曲線グラフに対してテストのスケジュールや重要なイベントを設定し、グラフ上に表示することができます。

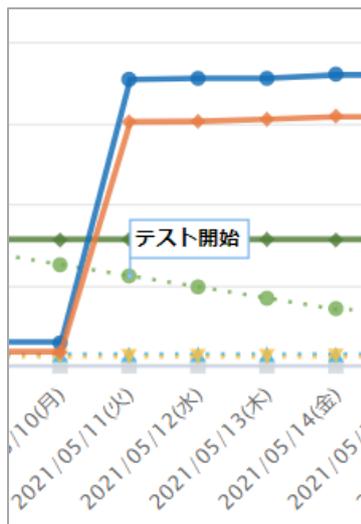
- (1) プロジェクト全体のイベント設定は、左メニューの「レポート」ボタンをクリックします。
- (2) プロジェクト全体レポート右上の「イベントの設定」ボタンをクリックします。



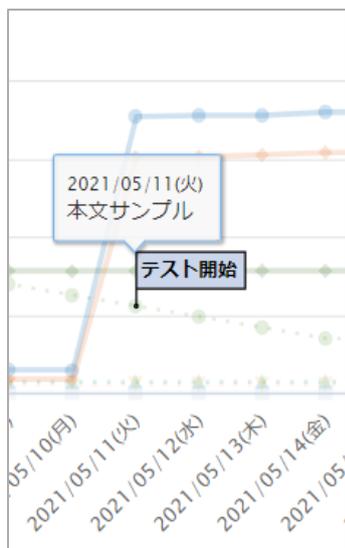
- (3) イベント一覧画面の「+新規登録」ボタンをクリックします。

プロジェクトイベント一覧		+ 新規登録
対象日	タイトル	

(4) 「対象日」に入力した日付にイベントの「タイトル」が表示されます。



(5) イベントタイトルにカーソルを合わせると内容を確認することができます。



## 12.2. フェーズごとレポート

フェーズ単位でのテスト予定と実績を確認できます。

### 12.2.1. フェーズごとのカバレッジパネル

フェーズのテストスイートに対し、どんな機能・観点に向けたテストケースがどれぐらい存在し、そのテストがどれぐらい実行されているかをひとめで確認できます。

- (1) フェーズごとのカバレッジパネルを確認する場合は、プロジェクト全体レポートのフェーズ一覧からチャートボタンを押します。

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進行状況	
αリリース向けテストフェーズ東京	2022/02/13	2022/02/25		<a href="#">チャート</a> <a href="#">実績推移表</a>
αリリース向けテストフェーズ沖縄	2022/02/13	2022/02/25		<a href="#">チャート</a> <a href="#">実績推移表</a>
βリリース向けフル試験	2022/02/13	2022/02/25	⚠️ まだデータがありません	<a href="#">チャート</a> <a href="#">実績推移表</a>

- (2) チャートページの最下部にカバレッジパネルが表示されます。

カバレッジパネルはテストスイート設定画面で対象のカラムを指定してあるテストスイートから集計されます。テストがクリアした件数に応じて色が緑に変わっていきます。

カーソルを合わせると全部で何件のテストケースが存在し、何件のテストがクリアしたかを確認できます。

全てのテストがクリア (PASS 率 100%) となった場合、★マークが表示されます。



※カバレッジパネルの分母はテストケース数のユニーク数、分子はそのテストケースに対する総テスト実行回数です。テストサイクルが複数回実施される場合は PASS 率が 200%、300%と増えていき、100%ごとに★マークが増えていきます。

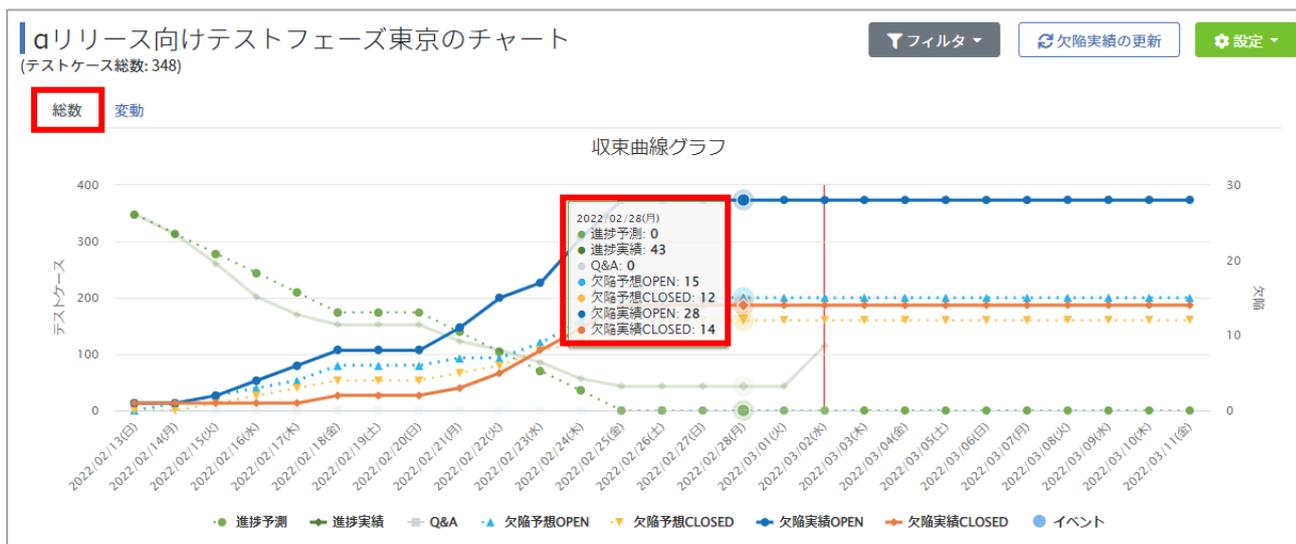
## 12.2.2. 収束曲線（総数）

進捗予測設定やテストケース数が増えたタイミングに関係なく、フェーズ全体のテストケース数から実績を見るグラフです。

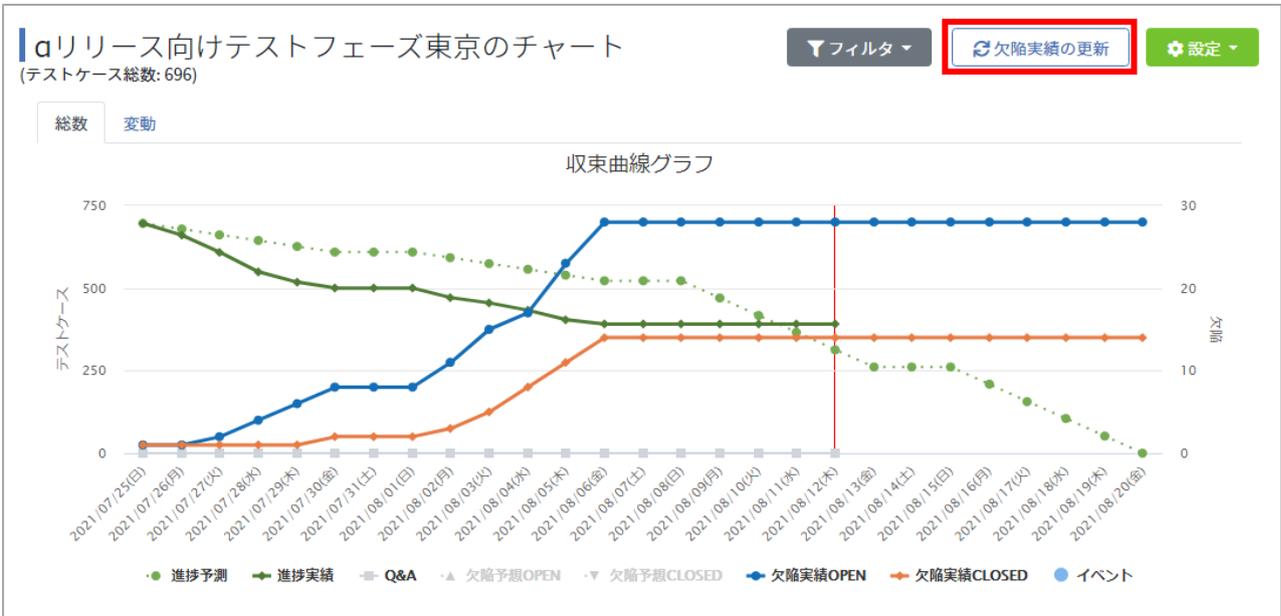
- (1) フェーズごとのレポートを確認する場合は、プロジェクト全体レポートのフェーズ一覧右側にあるチャートボタンを押します。

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進行状況	
αリリース向けテストフェーズ東京	2022/02/13	2022/02/25		<a href="#">📊 チャート</a> <a href="#">📄 実績推移表</a>
αリリース向けテストフェーズ沖縄	2022/02/13	2022/02/25		<a href="#">📊 チャート</a> <a href="#">📄 実績推移表</a>
βリリース向けフル試験	2022/02/13	2022/02/25	⚠️ まだデータがありません	<a href="#">📊 チャート</a> <a href="#">📄 実績推移表</a>

- (2) カーソルを合わせると日付ごとに予定と進捗が確認できます。



- (3) 正しいバグ数を取得するには、フェーズ設定画面で Redmine または JIRA との連携用 URL を設定したうえで画面右上の「欠陥実績の更新」をクリックします。

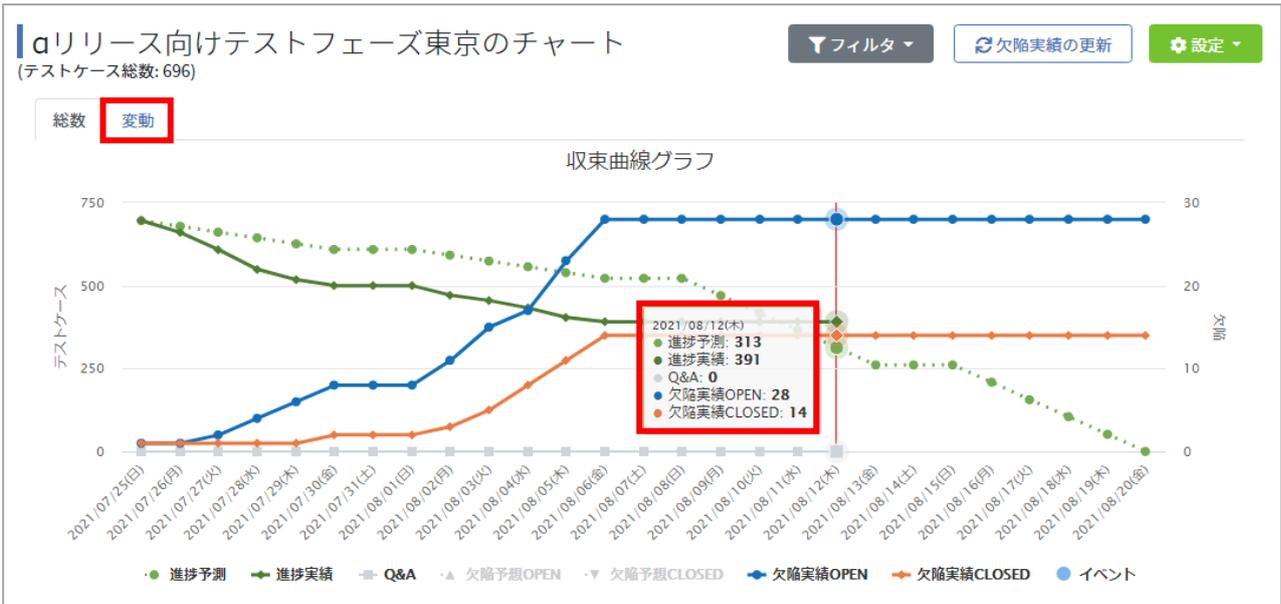


※Redmine・JIRA との同期は 8:00,12:00,18:00 の 1 日 3 回自動で行われます。「今、この瞬間」のレポートを確認したい場合は「欠陥実績の更新」ボタンをクリックしてください。

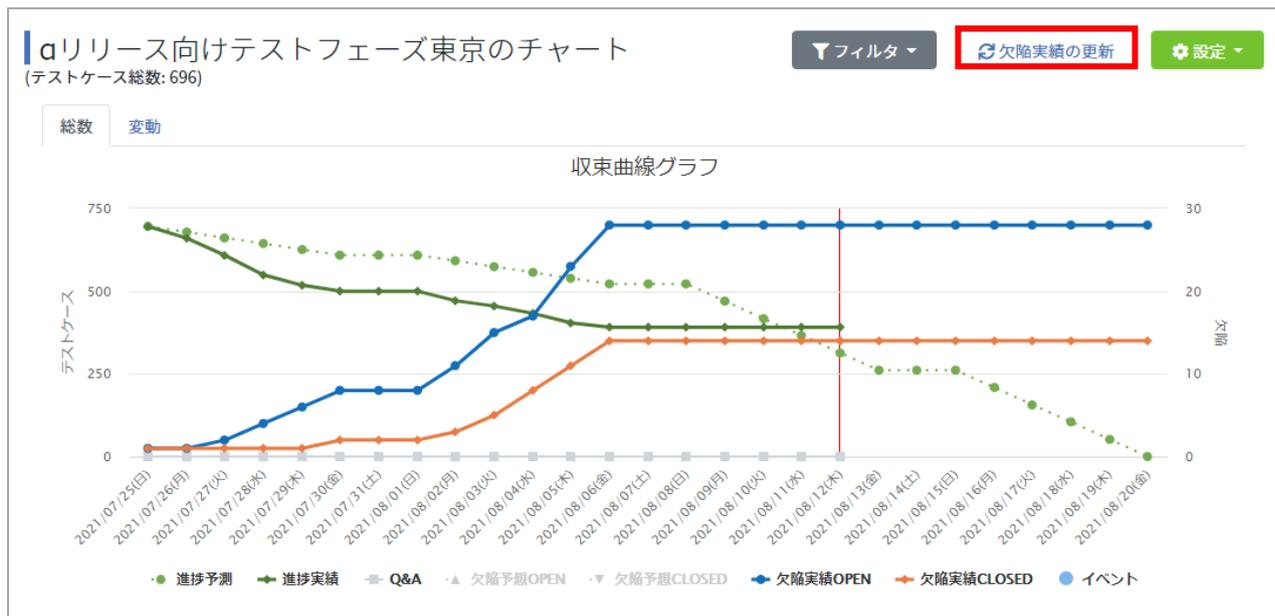
## 12.2.3. 収束曲線（変動）

変動グラフはテストケース数に増減があったタイミングで予定数が変動します。

(1) カーソルを合わせると日付ごとに予定と進捗が確認できます。



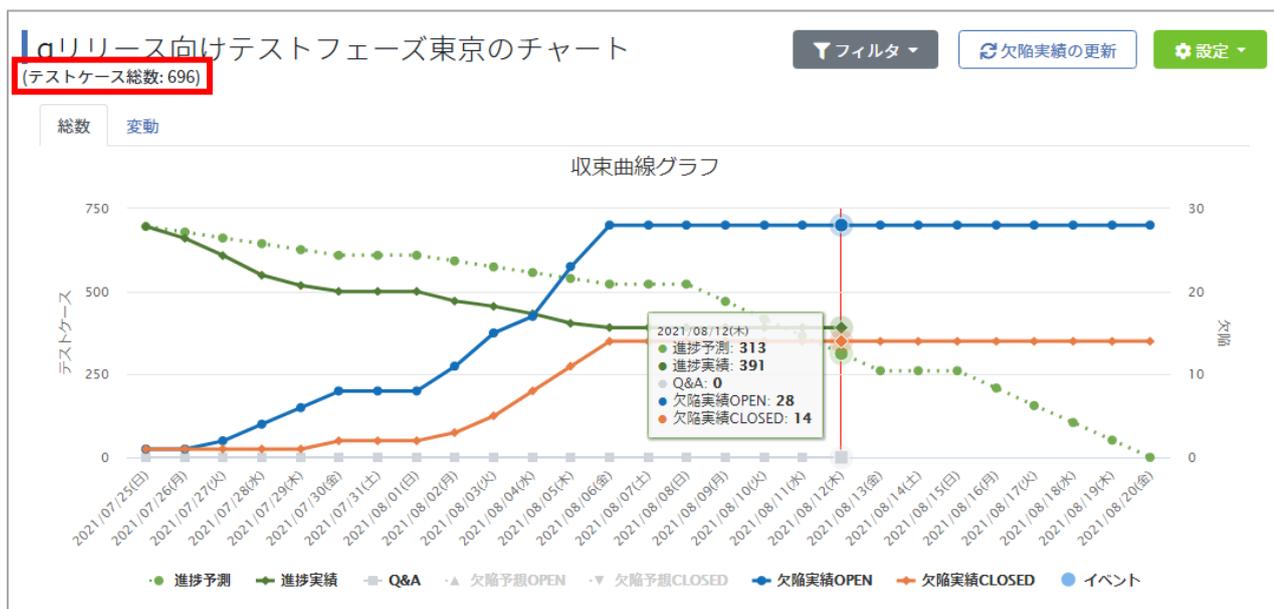
- (2) 正しいバグ数を取得するには、フェーズ設定画面で Redmine または JIRA との連携用 URL を設定したうえで画面右上の「欠陥実績の更新」をクリックします。



※Redmine・JIRA との同期は 8:00,12:00,18:00 の 1 日 3 回自動で行われます。「今、この瞬間」のレポートを確認したい場合は「欠陥実績の更新」ボタンをクリックしてください。

## 12.2.4. テストフェーズのテストケース総数を確認する

テストフェーズ名横にテストケース総数が表示されます。ここで表示されるのはテストケースに優先度が入力されている・優先度がテストサイクルの対象になっているテストケースの総数です。



## 12.2.5. チャートにフィルタをかける

テストフェーズに紐づくテストサイクルはフィルタを使用することで、任意に選択して集計することができます。集計した結果は収束曲線グラフ、積み上げグラフとして表示されます。

- (1) レポートのフェーズ一覧画面より任意のテストフェーズの「チャート」ボタンを押します。

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進行状況	
αリリース向けテストフェーズ東京	2022/02/13	2022/02/25	233/348 (66%)	<a href="#">📊 チャート</a> <a href="#">📄 実績推移表</a>
αリリース向けテストフェーズ沖縄	2022/02/13	2022/02/25	290/348 (83%)	<a href="#">📊 チャート</a> <a href="#">📄 実績推移表</a>
βリリース向けフル試験	2022/02/13	2022/02/25	⚠️ まだデータがありません	<a href="#">📊 チャート</a> <a href="#">📄 実績推移表</a>

- (2) チャート画面右上のフィルタのプルダウンメニューから「フィルタ設定」を選択します。



- (3) フィルタ設定画面の右上の「+フィルタ追加」ボタンを押します。



- (4) フィルタの作成画面にてフィルタ名を入力後、紐付けたいテストサイクルを選択して「登録する」ボタンを押してください。フィルタの登録が完了すると設定画面へ戻ります。この設定は後から変更することができます。(手順 [12.2.6](#) 参照)



(5) フィルタ設定後、チャート画面から「フィルタ」のプルダウンメニューから登録したフィルタを選択すると、設定したテストサイクルでの絞り込み結果が表示されます。



フィルタによる絞り込みが行われている場合、チャート上部に有効となっているフィルタ名が表示されます。一度作成したフィルタは登録されるため、再設定の必要はありません。

## 12.2.6. フィルタ設定を変更・削除する

フィルタは作成後、フィルタ名や紐付けるテストサイクルの変更を行うことができるほか、フィルタ自体を削除することができます。

- (1) チャート画面、フィルタのプルダウンメニュー内の「フィルタ設定」よりフィルタ設定画面へ遷移します。



- (2) 対象のフィルタの欄にある「設定」ボタンを押します。



- (3) 編集画面へ遷移します。任意の項目を変更後に「更新する」ボタンを押すと変更作業が完了します。削除の場合は画面下部、フィルタの削除の項目で「削除」ボタンを押下後、確認メッセージで「OK」を選択すると削除が実行されます。

フィルタの編集

**基本設定**

**必須** フィルタ名

**テストサイクルの紐付け**

選択可能なもの (1件)

名前で検索

**テスト中** テストスイートサンプル\_主機能遷移網羅 - 1.0 1回目テスト  
 TA  
 2020/09/25 ~ 2020/10/09

選択したもの (1件)

名前で検索

**テスト中** テストスイートサンプル\_リリース前試験 - 2.0 1回目テスト  
 TA  
 2020/09/11 ~ 2020/09/25

**更新する**

**フィルタの削除**

**注意!**  
 フィルタを削除するとレポート画面での絞り込みが行えなくなります  
 それでも構わない場合のみ実行して下さい。

**自削除**

## 12.2.7. 欠陥実績数を CSV で登録する

欠陥の OPEN、CLOSE 実績数を CSV で直接登録する方法を説明します。

- (1) 以下のフォーマットに合わせて、日付・OPEN 数・CLOSE 数を入力した CSV ファイルを作成します。

バグ情報の取込

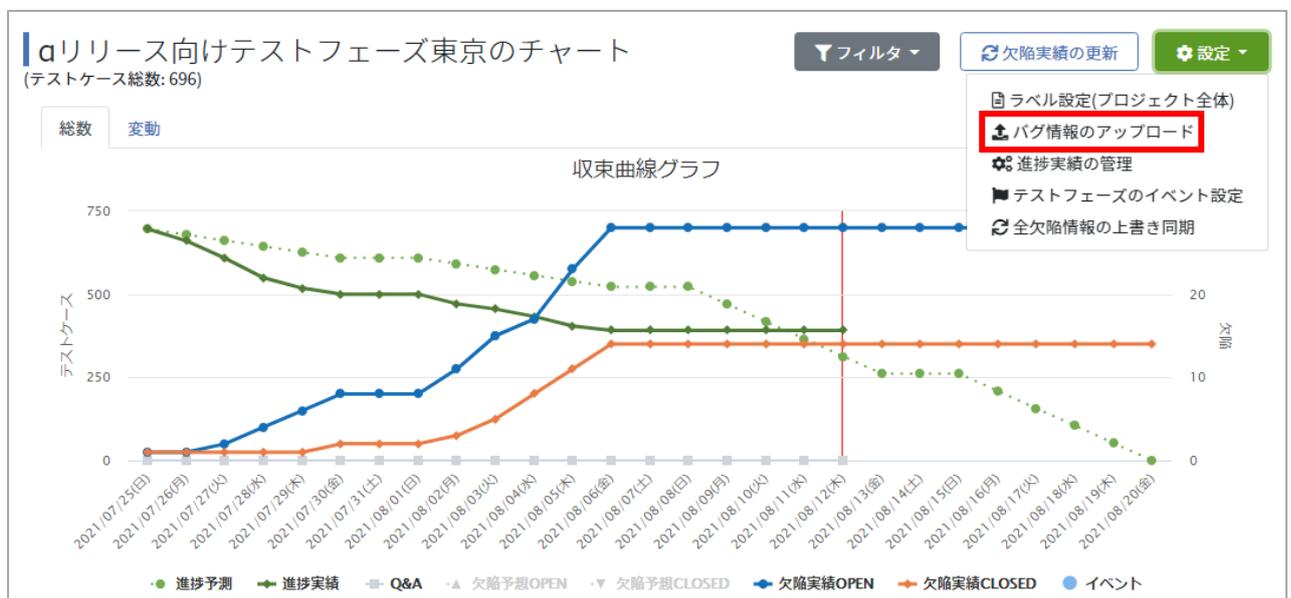
バグ情報は以下のフォーマットのCSVが取り込めます。  
 ヘッダ行は不用です。

日付	OPEN数	CLOSE数
2017-01-01	10	5
...	...	...

	A	B	C	D
1	2017/5/29	1	0	
2	2017/5/30	5	2	
3	2017/5/31	10	5	
4				
5				

※ヘッダ行は不要です。

- (2) 対象のテストフェーズレポートを開き、右上の設定メニューからバグ情報のアップロードリンクをクリックします。



- (3) バグ情報の取込ページを開いたら、ファイルを選択ボタンを押します。

バグ情報の取込

バグ情報は以下のフォーマットのCSVが取り込めます。  
ヘッダ行は不要です。

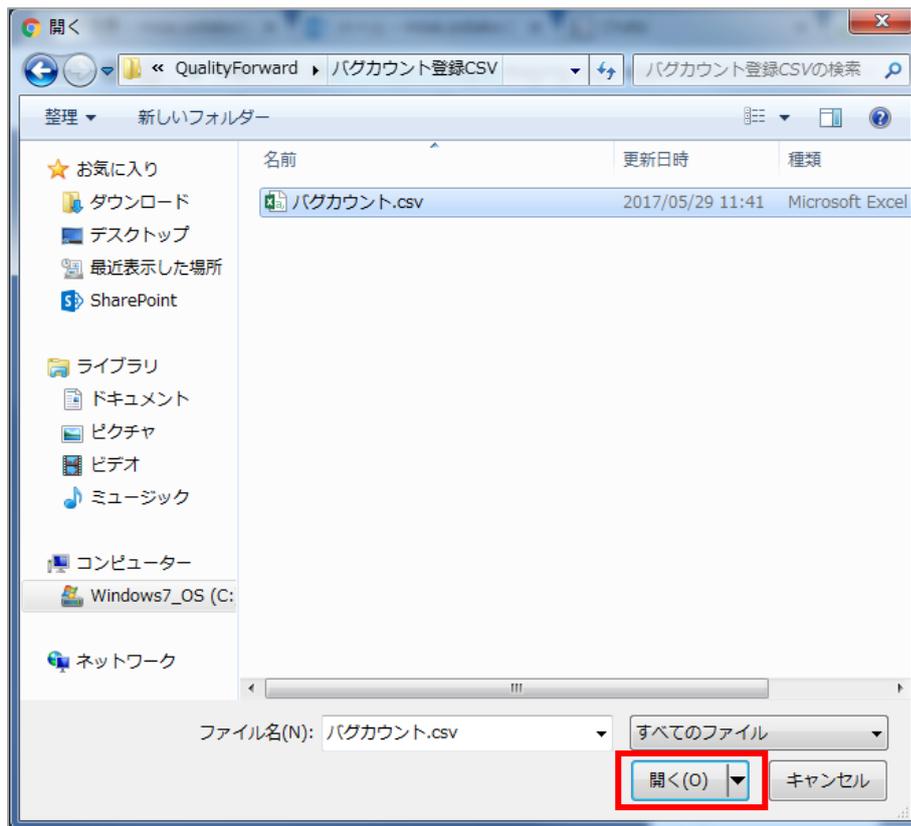
日付	OPEN数	CLOSE数
2017-01-01	10	5
...	...	...

必須 CSVファイル(.csv)

**ファイルを選択** 選択されていません

登録する

(4) 手順 (1) で用意した CSV ファイルを選択します。



(5) 登録するボタンを押します。

バグ情報の取込

バグ情報は以下のフォーマットのCSVが取り込めます。  
ヘッダ行は不用です。

日付	OPEN数	CLOSE数
2017-01-01	10	5
...	...	...

**必須** csvファイル(.csv)  
ファイルを選択 選択されていません

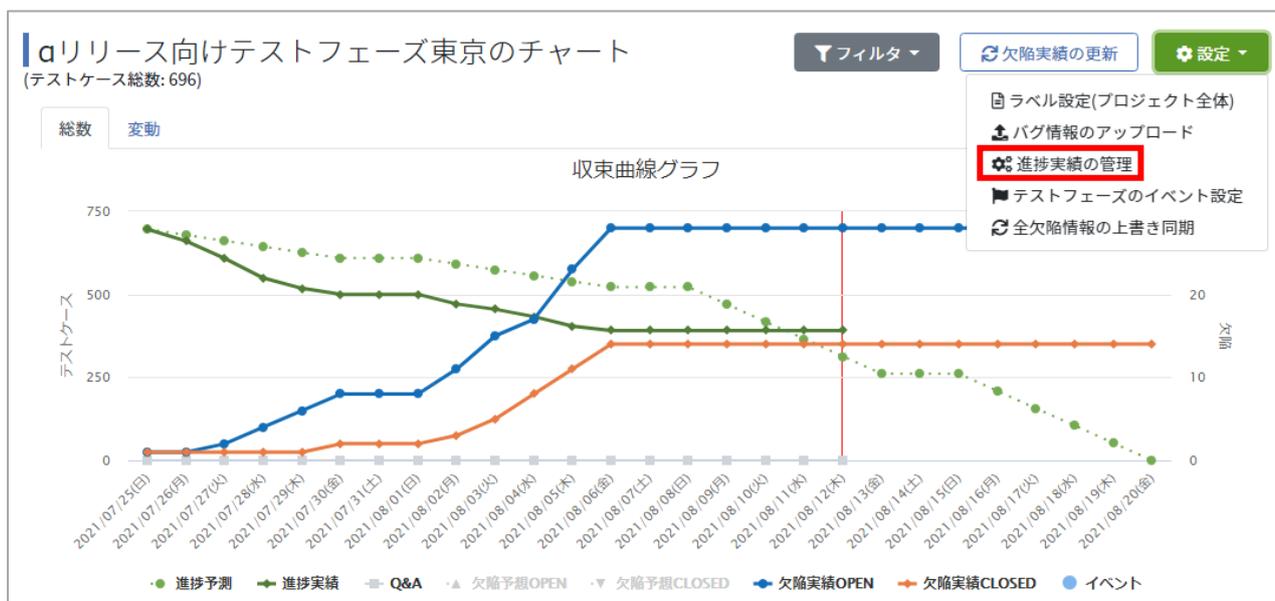
登録する

(6) 収束曲線画面へ遷移すれば登録成功です。

## 12.2.8. 過去の進捗実績結果を編集する

過去の進捗実績件数はテストサイクル単位でエクスポート・インポートし、過去の進捗実績結果を修正することができます。

- (1) 対象のテストフェーズレポートを開き、右上の設定メニューから「進捗実績の管理」をクリックします。



- (2) 進捗実績データの管理画面が表示されます。変更対象のテストサイクルの「エクスポート」ボタンを押すと、CSV ファイルのダウンロードが開始されます。

サンプルフェーズの進捗実績データの管理

テストサイクル名で検索

テストサイクル名 ▲	進行状況	進捗実績データ
<b>テスト中</b> test - 1.0.1回目テスト ▼ A, B, C, D, E, F, G, H, I, J □ 2021/02/01 ~ 2021/02/15	<div style="width: 100%; height: 10px; background-color: green;"></div>	1件 <input type="button" value="エクスポート"/> <input type="button" value="インポート"/>

- (3) エクスポートした CSV ファイルを編集します。各テスト結果の件数を任意の件数に書き換えてください。

※インポートはテスト期間のすべての日付に対して上書きを行います。日付の記載がない場合は前日の集計数で補完されるため、修正したい日の件数だけでなく、他の日付の件数も入力してください。

※テスト結果補足の実績は JSON で記述する必要があります。入力の形式は以下です。

## “補足対象のラベル”:{“項目の序列”:件数}

プロジェクトの設定画面、または実績推移表のテスト結果補足の項目順序を確認し、件数とともに CSV ファイルに入力したら更新内容を保存してください。

- (4) 編集した CSV ファイルをインポートします。実績データの管理画面から対象のテストサイクルの「インポート」を選択します。



サンプルフェーズの進捗実績データの管理

テストサイクル名で検索

テストサイクル名 ▲	進行状況	進捗実績データ
<b>テスト中</b> test - 1.0 1回目テスト ▼ A, B, C, D, E, F, G, H, I, J 📅 2021/02/01 ~ 2021/02/15	<div style="width: 19%;"></div> 7/36 (19%)	1件 <input type="button" value="エクスポート"/> <input type="button" value="インポート"/>

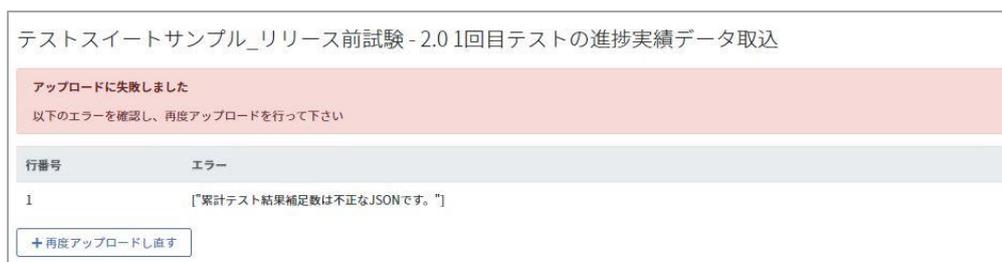
- (5) 編集した CSV ファイルを選択し、「登録する」ボタンを押します。



**必須** CSVファイル(.csv)

sample-テストスイートサンプル.csv

※インポートしたファイルのデータが不正な場合、エラー画面が表示されます。エラー内容を確認し、項目の修正を行い、再アップロードしてください。



テストスイートサンプル\_リリース前試験 - 2.0 1回目テストの進捗実績データ取込

アップロードに失敗しました

以下のエラーを確認し、再度アップロードを行って下さい

行番号	エラー
1	【累計テスト結果補足数は不正なJSONです。】

- (6) インポートしたファイルのデータに問題がなければ、実績の入れ替えが実行されます。入れ替えた進捗実績データはレポートの各グラフや実績推移表上の数値に反映されますが、テスト実行画面上のテスト結果や件数は変わりません。

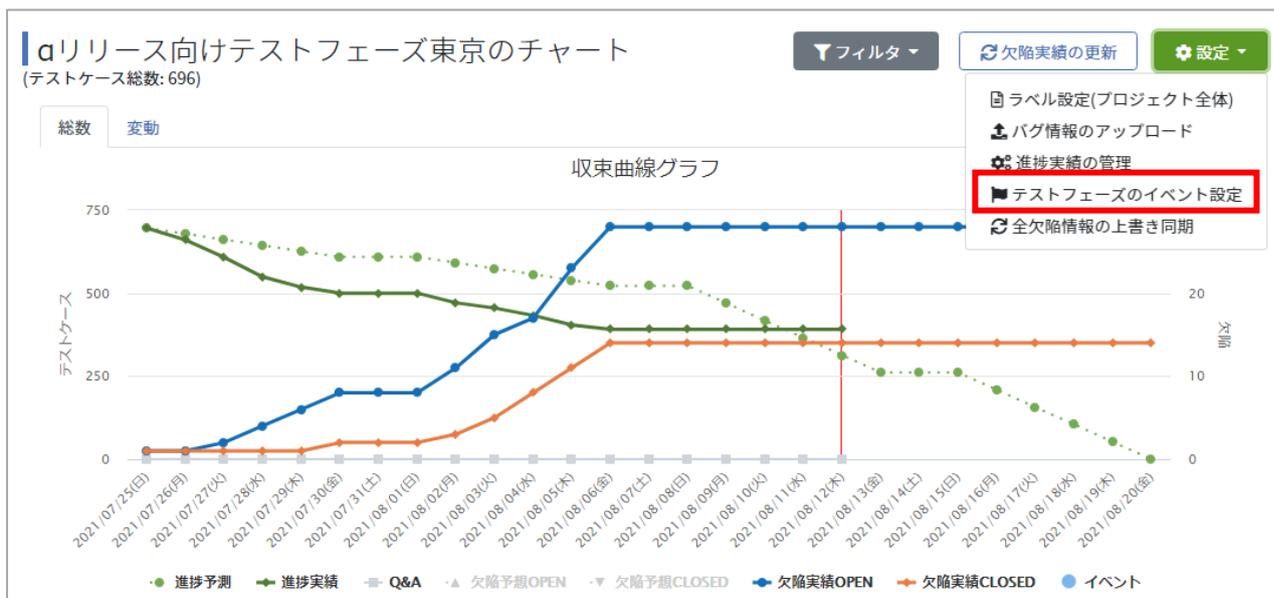
## 12.2.9. テストフェーズのイベント設定

プロジェクト全体の収束曲線グラフと同様にフェーズごとの収束曲線グラフに対し、テストのスケジュールや重要なイベントを設定し、グラフ上に表示することができます。

- (1) テストフェーズのイベント設定は、左メニューの「レポート」をクリックします。
- (2) イベントを登録したい任意のフェーズの「チャート」をクリックします。

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進行状況		
αリリース向けテストフェーズ東京	2022/02/13	2022/02/25		233/348 (66%)	<a href="#">📊 チャート</a> <a href="#">📄 実績推移表</a>
αリリース向けテストフェーズ沖縄	2022/02/13	2022/02/25		290/348 (83%)	<a href="#">📊 チャート</a> <a href="#">📄 実績推移表</a>
βリリース向けフル試験	2022/02/13	2022/02/25	⚠️ まだデータがありません		<a href="#">📊 チャート</a> <a href="#">📄 実績推移表</a>

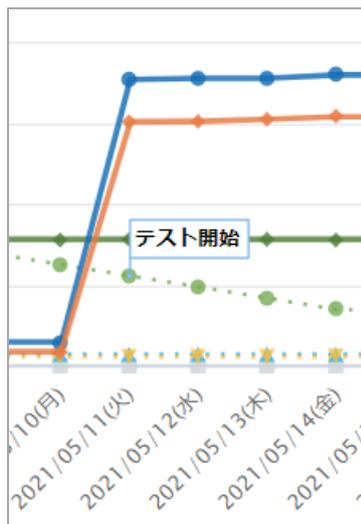
- (3) レポート右上の設定メニューから「テストフェーズのイベント設定」をクリックします。



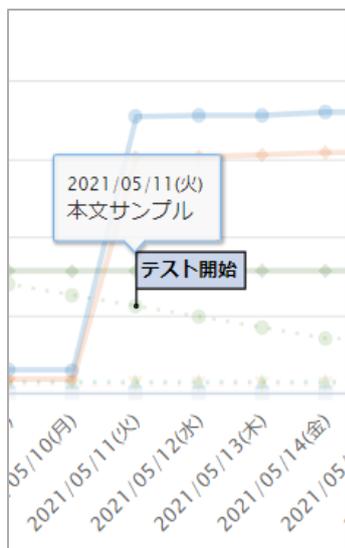
- (4) イベント一覧画面の「+新規登録」ボタンをクリックします。

プロジェクトイベント一覧		<a href="#">+新規登録</a>
対象日	タイトル	
📄 ありません		

(5) 「対象日」に入力した日付にイベントの「タイトル」が表示されます。



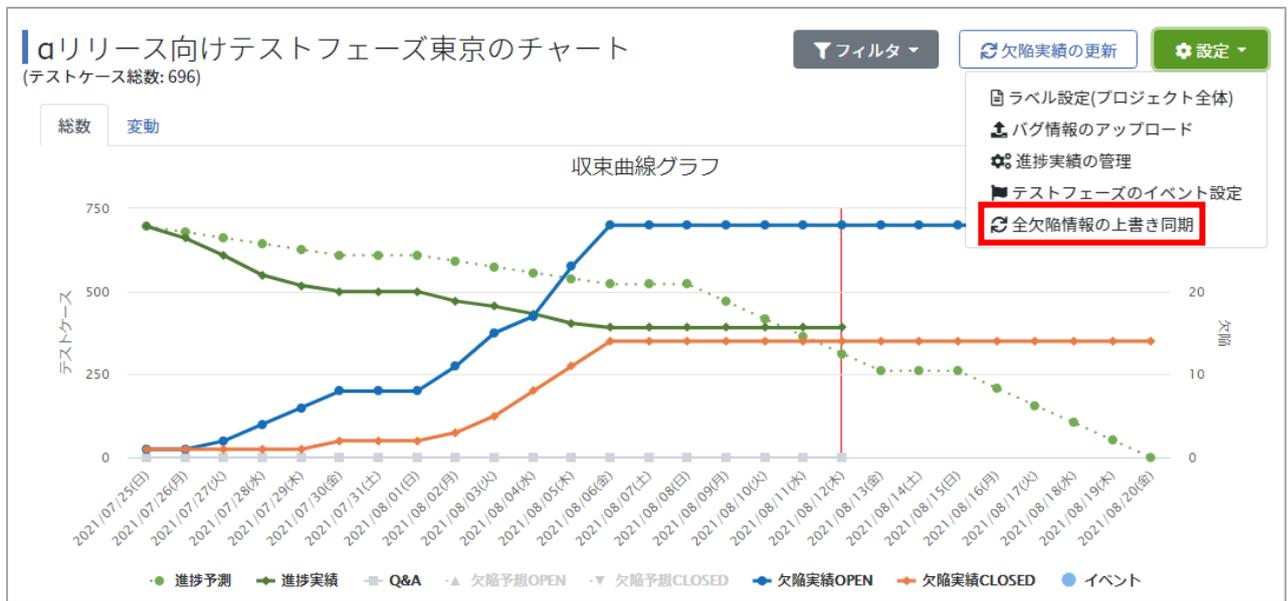
(6) イベントタイトルにカーソルを合わせると内容を確認することができます。



## 12.2.10. 全欠陥情報の上書き同期

全欠陥情報の上書き同期は、過去の欠陥 OPEN/CLOSE 情報を取得する機能です。それぞれの BTS でのチケット作成日に合わせグラフが描画されます。

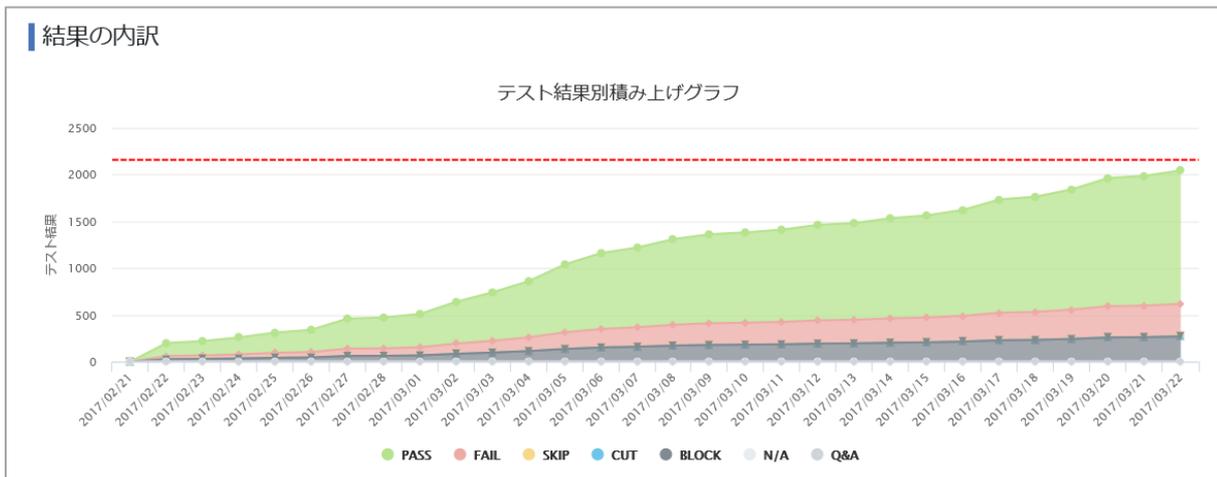
- (1) BTS 連携が設定済みのフェーズごとチャートを開きます
- (2) 右上の設定メニューから「全欠陥情報の上書き同期」をクリックします。



※「欠陥実績の更新」ボタンと違い、過去の欠陥実績を上書きするためご注意ください。

## 12.2.11. 進捗の内訳

対象のテストフェーズで実行されているテストの進捗件数のうち、どの結果が何件あるかを確認できます。



## 12.2.12. 最近のインシデント

最近のインシデント取得用の URL が設定済みの場合、最近のインシデント 10 件がレポート画

面に表示されます。「もっと見る」をクリックすることで、Redmine に遷移できます。

設定方法については「BTS 連携マニュアル（1.1.4. 最近のインシデント取得用 URL を設定する）」をご確認ください。

### 最近のインシデント

[394] bug20
<b>Normal</b> / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分
[393] bug19
<b>High</b> / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分
[392] bug18
<b>Immediate</b> / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分
[391] bug17
<b>Normal</b> / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分
[390] bug16
<b>High</b> / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分

---

[385] bug11
<b>Normal</b> / Quality Forward / 2018年04月19日 15時12分

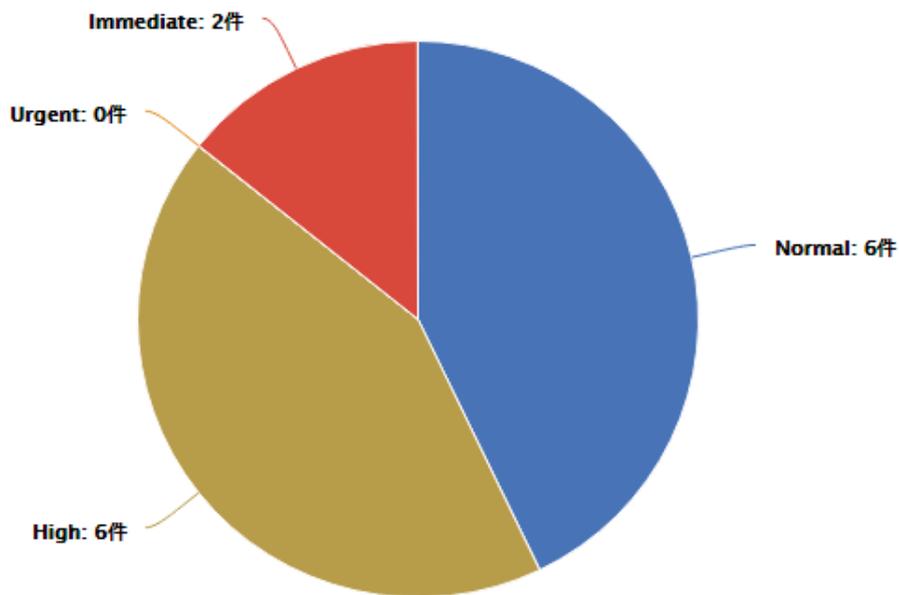
[もっと見る →](#)

## 12.2.13. バグ優先度別チャート

バグ曲線、グラフデータ取得用 URL を登録すると、登録済みのチケットのうち、どの優先度のチケットがどれだけあるかをひと目で確認できるチャートが表示されます。

設定方法については「BTS 連携マニュアル（1.1.1. バグ曲線、グラフデータ取得用 URL を設定する）」をご確認ください。

## バグ優先度別チャート

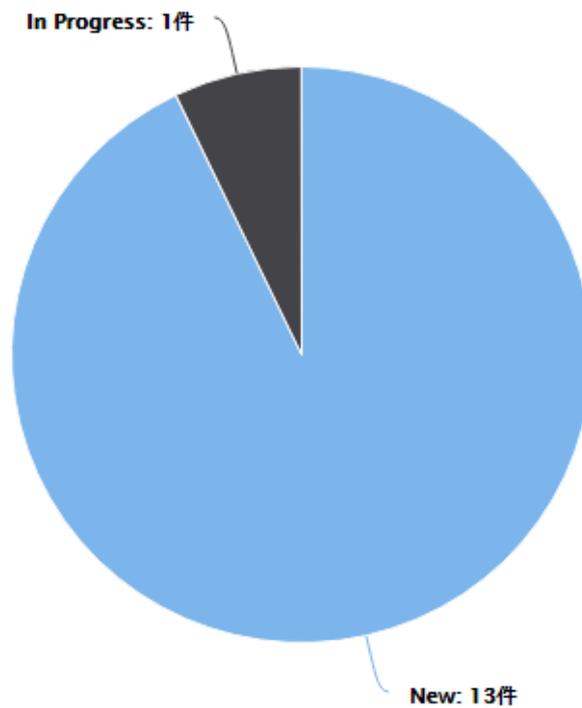


## 12.2.14. ステータス別チャート

バグ曲線、グラフデータ取得用 URL を登録すると、登録済みチケットの各ステータスが何件ずつあるかを確認できるチャートが表示されます。

設定方法については「BTS 連携マニュアル (1.1.3. バグ曲線、グラフデータ取得用 URL を設定する)」をご確認ください。

## ステータス別チャート



### 12.2.15. テストブロッカーを確認する

テストブロッカーを登録（手順 [4.3.4](#) および [6.2.5](#) 参照）している場合、BLOCK や Q&A にしたステータスのどの内容がテストの実行を妨げているのか、件数の多い順から 10 件表示することができます。

テスト結果が「BLOCK」または「Q&A」の際に、指定した列に入力された要因の集計をします。テストブロッカーが複数ある場合には、カンマ区切りで複数指定することも可能です。

テスト実施者 ▼	テスト実施日 ▼	テスト結果 ▼	環境 ▼	バグID ▼
QualityForward	2022/05/20	BLOCK		#111
QualityForward	2022/05/20	BLOCK		#112,#113,#111,#114
QualityForward	2022/05/20	Q&A		#113,#114
QualityForward	2022/05/20	Q&A		#115,#113,#111

集計結果はフェーズのチャート画面にある「テストブロkker上位 10 件」に表示されます。

テストブロkkerの上位10件	
<b>BLOCK</b>	<b>発生件数</b>
不具合番号003	19
不具合番号001	3
不具合番号002	1
<b>Q&amp;A</b>	<b>発生件数</b>
質問番号002	9
質問番号001	3

## 12.2.16. 実績推移表

テストフェーズ単位で、フェーズ全体、およびテストサイクルごとの日々の実績、進捗率を集計、記録します。

- (1) プロジェクト全体レポートのフェーズ一覧から実績を確認したいフェーズの実績推移表ボタンを押します。

テストフェーズ名 ▲	開始日	終了日	進行状況	
αリリース向けテストフェーズ東京	2022/02/13	2022/02/25		233/348 (66%) <a href="#">📊 チャート</a> <a href="#">📄 実績推移表</a>
αリリース向けテストフェーズ沖縄	2022/02/13	2022/02/25		290/348 (83%) <a href="#">📊 チャート</a> <a href="#">📄 実績推移表</a>
βリリース向けフル試験	2022/02/13	2022/02/25	⚠️ まだデータがありません	<a href="#">📊 チャート</a> <a href="#">📄 実績推移表</a>

(2) 対象フェーズとプロジェクト全体の実績推移表が表示されます。

トップ / α / レポート一覧 / サンプルテストフェーズBの実績推移表

sample\_user

サンプルテストフェーズBの実績推移表 [📄 xlsx](#)

	10/13(火)	10/14(水)	10/15(木)	10/16(金)	10/17(土)	10/18(日)	10/19(月)	10/20(火)	10/21(水)	10/22(木)	10/23(金)	10/24(土)	10/25(日)	10/26(月)	10/27(火)	10/28(水)	10/29(木)	10/30(金)	10/31(土)
全体	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実績消化数	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予測消化数	5	6	5	6	0	0	5	6	5	6	5	0	0	6	5	0	0	0	0
実績進捗率	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%
予測進捗率	8.3%	18.3%	26.7%	36.7%	36.7%	36.7%	45.0%	55.0%	63.3%	73.3%	81.7%	81.7%	81.7%	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
実績消化累計数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
予測消化累計数	5	11	16	22	22	22	27	33	38	44	49	49	49	55	60	60	60	60	60
PASS	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
PASS - FAIL→PASS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PASS - SKIP→PASS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
FAIL	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SKIP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
SKIP - NG→SKIP	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CUT	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BLOCK	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
BLOCK - NG→BLOCK	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N/A - SKIP→N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N/A - Q&A→N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
N/A - CUT→N/A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q&A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
累計バグ数	0																		
累計バグクローズ数	0																		

(3) テスト結果補足を使用している場合、テスト結果補足の結果ごとの件数も実績推移表に表示され、集計されます。

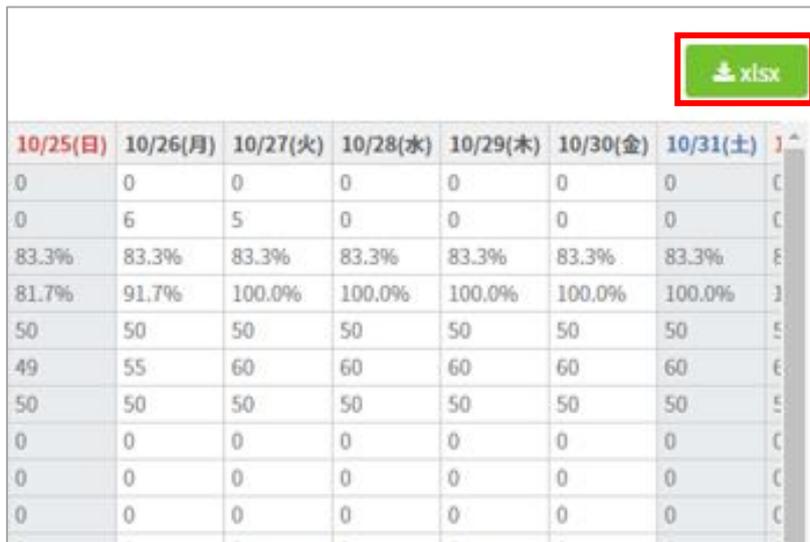
サンプルテストフェーズBの実績推移表

	10/13(火)	10/14(水)
全体	50	0
実績消化数	50	0
予測消化数	5	6
実績進捗率	83.3%	83.3%
予測進捗率	8.3%	18.3%
実績消化累計数	50	50
予測消化累計数	5	11
PASS	50	50
PASS - FAIL→PASS	0	0
PASS - SKIP→PASS	0	0
FAIL	0	0

## 12.2.17. 実績推移表をエクスポートする

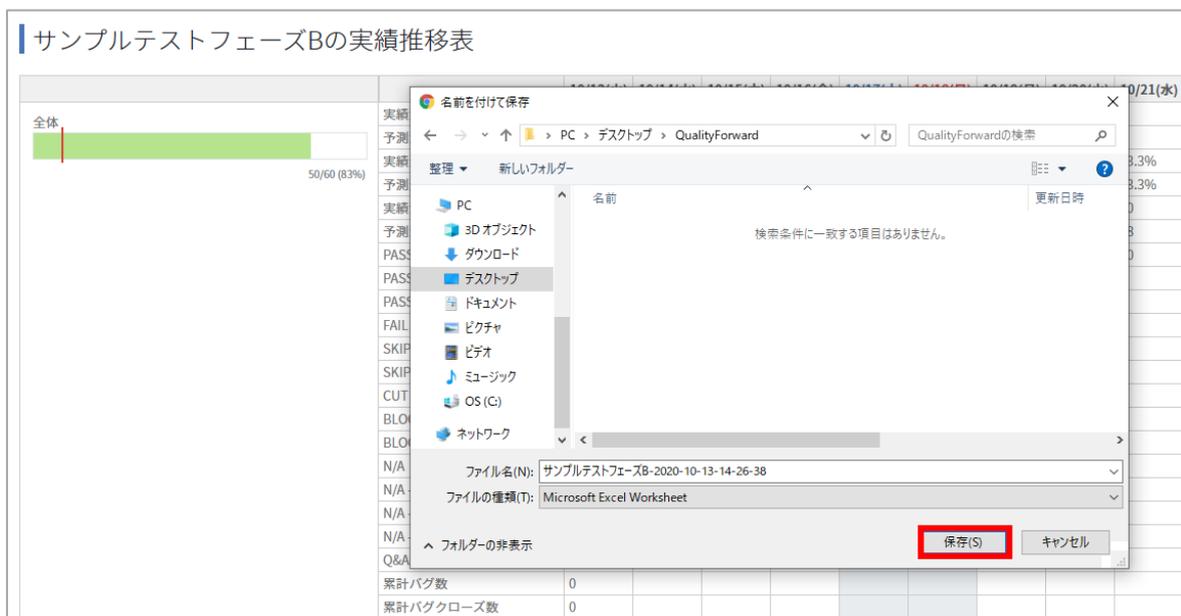
実績推移表はエクセル形式でのエクスポートが可能です。

(1) 実績推移表右上のxlsx ボタンを押します。



10/25(日)	10/26(月)	10/27(火)	10/28(水)	10/29(木)	10/30(金)	10/31(土)	
0	0	0	0	0	0	0	C
0	6	5	0	0	0	0	C
83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	83.3%	E
81.7%	91.7%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	J
50	50	50	50	50	50	50	E
49	55	60	60	60	60	60	E
50	50	50	50	50	50	50	E
0	0	0	0	0	0	0	C
0	0	0	0	0	0	0	C
0	0	0	0	0	0	0	C

(2) ダイアログボックスが表示されたらダウンロード先を選択して保存ボタンを押します。



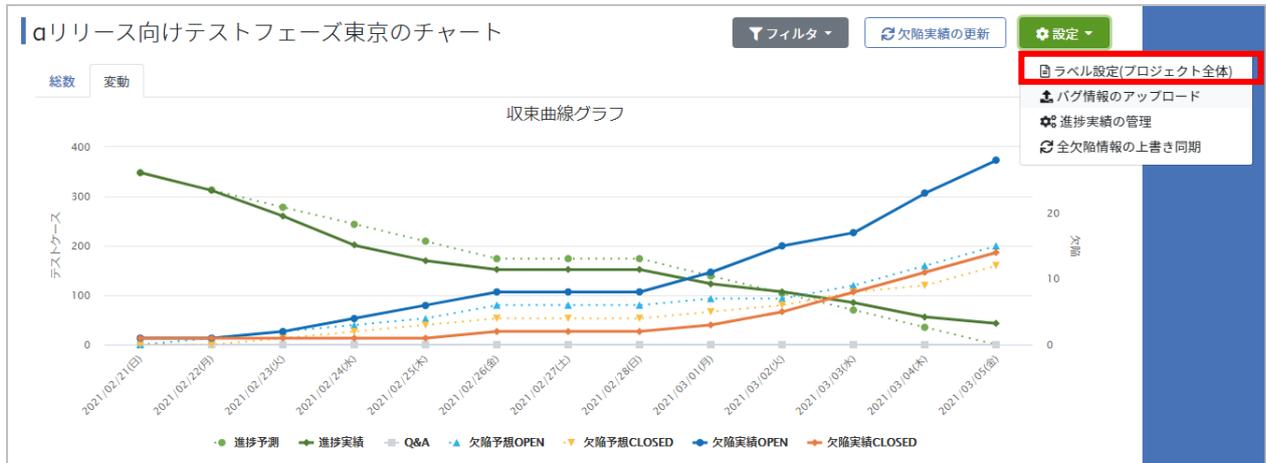
## 12.3. レポート設定

レポート画面での文言を自由に設定することができます。

### 12.3.1. フッターのラベルを変更する

レポート画面最下部のコピーライトを書き換えることが可能です。

- (1) テストフェーズのチャート画面右上の設定メニューからラベル設定をクリックします。



- (2) 基本設定のフッターラベルに設定したい文字を入力します。

レポートのラベル設定(プロジェクト全体)

基本設定

フッターラベル

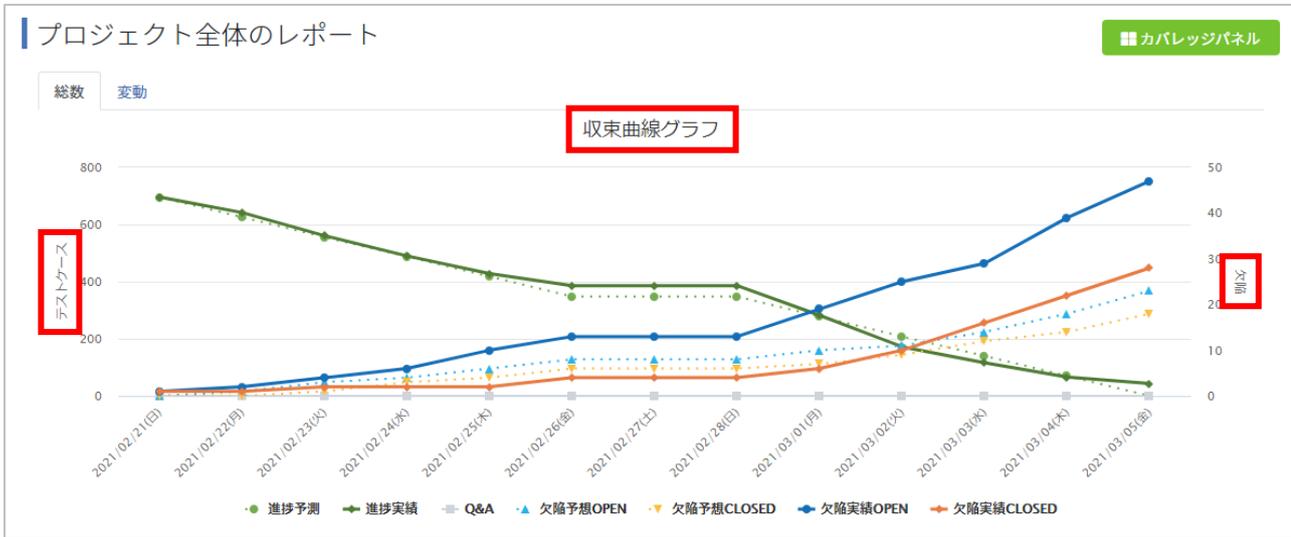
- (3) 最下部の更新するボタンを押します。

更新する

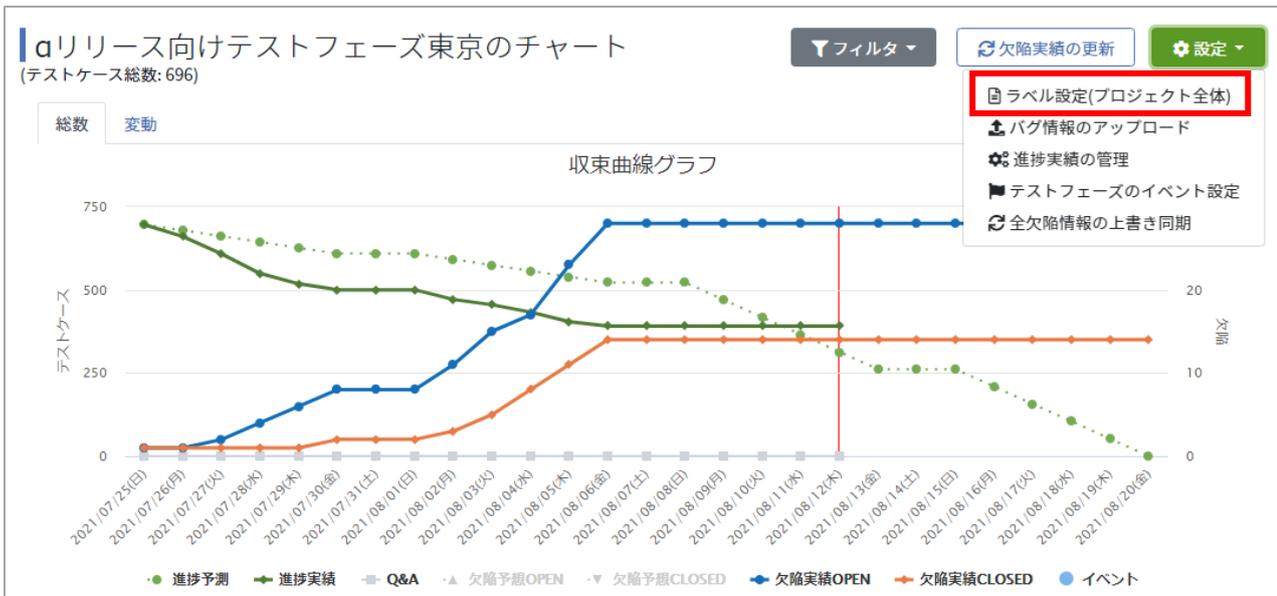
© 2020 Veriserve Corporation

## 12.3.2. レポートのラベルを変更する

レポート画面のグラフに表示させるラベルの文言を自由に設定することができます。



(1) レポート画面右上の設定メニューからラベル設定をクリックします。



(2) 収束曲線グラフ設定のそれぞれの項目に設定したい文字を入力します。

## 収束曲線グラフ設定

グラフタイトル

テストケースラベル

欠陥ラベル

進捗予想ラベル

進捗実績ラベル

Q&Aラベル

欠陥予想OPENラベル

欠陥予想CLOSEDラベル

欠陥実績OPENラベル

欠陥実績CLOSEDラベル

更新する

(3) 最下部の更新するボタンを押します。

更新する

※初期値に戻したい場合はテキストボックスを空にして更新ボタンを押します。

# 第13章 チーム Wiki の管理

チーム内の情報共有の場としてチーム Wiki をご利用いただけます。本章ではチーム Wiki の利用方法について説明します。

## 13.1. チーム Wiki の作成

チーム Wiki の作成方法について説明します。

### 13.1.1. ページを新規作成する

(1) ダッシュボード画面左のメニューからチーム Wiki のリンクをクリックします。



(2) チーム Wiki トップページ右上の編集ボタンを押します。



(3) 共有したい内容を入力します。テキスト入力のほか、Markdown 記法による文章の装飾や表組の作成、画像の挿入などが可能です。

ページの編集 ? ヘルプ

記入  プレビュー

**必須** ページ名

チームWikiへようこそ

**必須** 内容 (markdown)

チームWikiはテストチームが扱うさまざまな情報を集約出来る場所です。  
製品の基礎知識やテスト用機材の利用方法、またはチームの業務連絡など、  
任意にご活用ください。

### オススメの利用方法

左側メニューの「チームWiki」をクリックすると最初にこのページに遷移します。  
ページは自由に作成することができますが、それぞれのページへのリンクをまとめた  
ルートのページとして、このページを書き換えて、ご利用頂ければ幸いです。

### Tips

- \* Qiita マークダウン記法が利用できます。詳細は 編集 画面右上にある ヘルプ をご覧ください
- \* 目次は、見出しのレベルに合わせて自動生成されます
- \* 新しいページは ページ一覧 の画面から作成できます

更新する

添付ファイル

📄

ファイルをドロップするか  
ここをクリックして下さい

(4) プレビュータブで入力内容の確認ができます。

ページの編集 ? ヘルプ

記入  プレビュー

**必須** ページ名

チームWikiへようこそ

**必須** 内容 (markdown)

チームWikiはテストチームが扱うさまざまな情報を集約出来る場所です。  
製品の基礎知識やテスト用機材の利用方法、またはチームの業務連絡など、  
任意にご活用ください。

### オススメの利用方法

左側メニューの「チームWiki」をクリックすると最初にこのページに遷移します。  
ページは自由に作成することができますが、それぞれのページへのリンクをまとめた  
ルートのページとして、このページを書き換えて、ご利用頂ければ幸いです。

### Tips

- \* Qiita マークダウン記法が利用できます。詳細は 編集 画面右上にある ヘルプ をご覧ください
- \* 目次は、見出しのレベルに合わせて自動生成されます
- \* 新しいページは ページ一覧 の画面から作成できます

更新する

添付ファイル

📄

ファイルをドロップするか  
ここをクリックして下さい

## 13.1.2. ファイルを添付する

(1) 画像を添付したい場合は、ページ編集画面右のファイル添付エリアにファイルをドロップす

るか、クリックします。

ページの編集

? ヘルプ

記入 プレビュー

必須 ページ名

チームWikiへようこそ

必須 内容 (markdown)

チームWikiはテストチームが扱うさまざまな情報を集約出来る場所です。  
製品の基礎知識やテスト用機材の利用方法、またはチームの業務連絡など、  
任意にご活用ください。

### オススメの利用方法

左側メニューの「チームWiki」をクリックすると最初にこのページに遷移します。  
ページは自由に作成することができますが、それぞれのページへのリンクをまとめた  
ルートのページとして、このページを書き換えて、ご利用頂ければ幸いです。

### Tips

- \* Qlita マークダウン記法が利用できます。詳細は編集画面右上にあるヘルプをご覧ください
- \* 目次は、見出しのレベルに合わせて自動生成されます
- \* 新しいページは ページ一覧の画面から作成できます

更新する

添付ファイル

ファイルをドロップするか  
ここをクリックして下さい

(2) 入力を全て終えたら更新するボタンを押します。

ページの編集

? ヘルプ

記入 プレビュー

必須 ページ名

チームWikiへようこそ

必須 内容 (markdown)

チームWikiはテストチームが扱うさまざまな情報を集約出来る場所です。  
製品の基礎知識やテスト用機材の利用方法、またはチームの業務連絡など、  
任意にご活用ください。

### オススメの利用方法

左側メニューの「チームWiki」をクリックすると最初にこのページに遷移します。  
ページは自由に作成することができますが、それぞれのページへのリンクをまとめた  
ルートのページとして、このページを書き換えて、ご利用頂ければ幸いです。

### Tips

- \* Qlita マークダウン記法が利用できます。詳細は編集画面右上にあるヘルプをご覧ください
- \* 目次は、見出しのレベルに合わせて自動生成されます
- \* 新しいページは ページ一覧の画面から作成できます

更新する

添付ファイル

ファイルをドロップするか  
ここをクリックして下さい

### 13.1.3. ページを追加する

チーム Wiki に既にページが存在する場合、新たにページを追加する方法を説明します。

- (1) チーム Wiki トップページ右上のページ一覧ボタンを押します。



- (2) チーム Wiki ページ一覧右上のページ追加ボタンを押します。



- (3) ページ名と内容を入力したら更新するボタンを押します。

## 13.2. チーム Wiki を編集・削除する

チーム Wiki の情報を編集・削除する方法を説明します。ページの情報にはチーム Wiki 画面からいつでも変更可能です。

### 13.2.1. ページを編集する

- (1) チーム Wiki トップページまたはページ一覧から編集ボタンを押します。



- (2) 内容の編集が完了したら更新ボタンを押します。

## 13.2.2. ページを削除する

- (1) チーム Wiki トップページ右上のページ一覧ボタンを押します。



- (2) 消したいページの右側の削除ボタンを押します。



- (3) 確認メッセージが表示されたら OK ボタンを押します。



# 第14章 アラートセンターを利用する

テスト結果に空欄があるままレビュー依頼を送信した、特定の結果が入力されているのにレビュー依頼を送信した、進捗に一定の遅れがある場合に知らせるアラートセンター機能について説明します。

The screenshot shows the 'アラート一覧' (Alert List) page. At the top right is a button for 'アラートセンター設定' (Alert Center Settings). Below the title are two tabs: 'アクティブ 282' (Active 282) and 'アーカイブ 0' (Archived 0). There are three alert messages displayed in colored boxes:

- Yellow box:** 2020/07/08 17:21. Message: 'テスト結果に含まれてはいけない結果が入った状態でレビュー依頼が投稿、もしくは完了したサイクルがあります！' (Review request submitted with results that should not be included, or a cycle is complete). Details: 'テストケースA-1.0 2回目テスト' (Test Case A-1.0 2nd test) contains the following results:
  - FAIL Action: '自アーカイブする' (Self-archive).
- Blue box:** 2020/07/08 17:01. Message: 'テスト結果が未記入のままレビュー依頼が投稿されたサイクルがあります！' (Review request submitted with test results not recorded). Details: 'テストケースA-1.0 1回目テスト' (Test Case A-1.0 1st test) has a review request, but the specified priority test results are not recorded. Action: '自アーカイブする' (Self-archive).
- Red box:** 2020/07/08 17:00. Message: '進捗が遅れているテストフェーズがあります！' (There are test phases with delayed progress). Details: 'フェーズE' (Phase E) progress is 20% or more delayed. Action: '自アーカイブする' (Self-archive).

## 14.1. アラートを設定する

アラートセンター設定の利用するにチェックをすることで、アラートを検知することができるようになります。

アラートの設定はプロジェクト管理者以上の権限が必要となります。

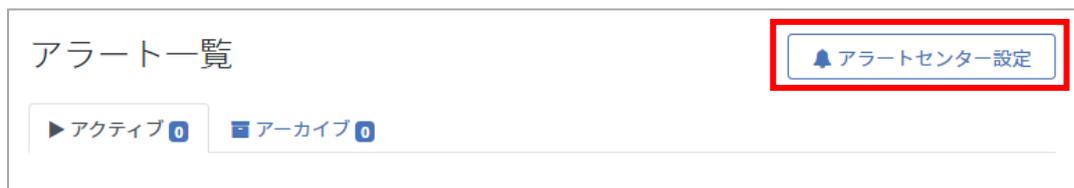
### 14.1.1. レビュー依頼時、テスト結果に空欄が残っている際に検知する

レビュー依頼送信時にテスト結果に空欄がある場合に通知します。

(1) 左のメニューからアラートセンターをクリックします。



(2) アラート一覧画面右上のアラート設定ボタンを押します。



(3) レビュー依頼時、テスト結果に空欄が残っているの「利用する」にチェックを入れます。



(4) 重要度を選択します。重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。info は青、warning は黄、danger は赤になります。



(5) 設定が完了したら更新ボタンを押します。

## 14.1.2. レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている際に検知する

レビュー依頼送信時、テスト完了時に特定のテスト結果が入力されている場合に通知します。

- (1) レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っているの「利用する」にチェックを入れます。

レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている

利用する

存在してはいけない結果

PASS  FAIL  SKIP  CUT  BLOCK  N/A  Q&A

重要度

Warning

① 重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

- (2) テスト完了時に残っていてほしくないテスト結果を選択します。

レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている

利用する

存在してはいけない結果

PASS  FAIL  SKIP  CUT  BLOCK  N/A  Q&A

重要度

Warning

① 重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

- (3) 重要度を選択します。

レビュー依頼や完了時に含まれてはいけない結果が残っている

利用する

存在してはいけない結果

PASS  FAIL  SKIP  CUT  BLOCK  N/A  Q&A

重要度

Warning

① 重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

- (4) 設定が完了したら更新ボタンを押します。

### 14.1.3. テストフェーズの進捗に遅れがある際に検知する

本日までの予定に対し、進捗率が選択した割合よりも遅れている場合に通知します。

※進捗の遅れはごと日 23:30 頃に集計され、アラートセンターに表示されます。

#### (1) テストフェーズの進捗遅れアラートの「利用する」

テストフェーズの進捗に遅れがある

利用する

アラートを出す進捗遅れ割合

20% ▼

重要度

Danger ▼

①重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

#### (2) アラートを出す進捗遅れ割合を選択します。

テストフェーズの進捗に遅れがある

利用する

アラートを出す進捗遅れ割合

20% ▼

重要度

Danger ▼

①重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

#### (3) 重要度を選択します。

テストフェーズの進捗に遅れがある

利用する

アラートを出す進捗遅れ割合

20% ▼

重要度

Danger ▼

①重要度はアラートセンター上での色分けに利用されます。Infoは青、warningは黄、dangerは赤になります。

(4) 設定が完了したら更新ボタンを押します。

## 14.2. アラートをアーカイブする

解決済みのアラートはアーカイブし、アラート一覧画面を整理することができます。

(1) アラート一覧のアクティブタブから、アーカイブしたい通知のアーカイブするボタンを押します。



The screenshot shows the 'Alerts Overview' (アラート一覧) interface. At the top right is a button for 'Alert Center Settings' (アラートセンター設定). Below the title are two tabs: 'Active' (アクティブ) with 282 items and 'Archived' (アーカイブ) with 0 items. The main area displays three alerts, each with a red 'Archive' (アーカイブする) button. The first alert is yellow and dated 2020/07/08 17:21, with a 'FAIL' result. The second is blue, dated 2020/07/08 17:01. The third is pink, dated 2020/07/08 17:00.

アラート一覧

アラートセンター設定

▶ アクティブ 282    📁 アーカイブ 0

◎ 2020/07/08 17:21  
テスト結果に含まれてはいけない結果が入った状態でレビュー依頼が投稿、もしくは完了したサイクルがあります！  
テストケースA-1.0 2回目テスト には以下のテスト結果が含まれていました。

- FAIL

🗑️ アーカイブする

◎ 2020/07/08 17:01  
テスト結果が未記入のままレビュー依頼が投稿されたサイクルがあります！  
テストケースA-1.0 1回目テスト でレビュー依頼がありましたが、指定の優先度のテスト結果の記入が完了していません。

🗑️ アーカイブする

◎ 2020/07/08 17:00  
進捗が遅れているテストフェーズがあります！  
フェーズE の進捗が 20% 以上遅れています。

🗑️ アーカイブする

(2) アーカイブした通知は、アラート一覧のアーカイブタブに表示されます。

▶ アクティブ 394

📁 アーカイブ 3

🕒 2020/07/08 17:00

**進捗が遅れているテストフェーズがあります！**

アーカイブ日時: 2020/07/09 10:15 (QualityForward)

フェーズEの進捗が20%以上遅れています。

🏠 [アーカイブから戻す](#)

🕒 2020/07/08 17:01

**テスト結果が未記入のままレビュー依頼が投稿されたサイクルがあります！**

アーカイブ日時: 2020/07/09 10:15 (QualityForward)

テストケースA-1.0 1回目テストでレビュー依頼がありましたが、指定の優先度のテスト結果の記入が完了していません。

🏠 [アーカイブから戻す](#)

🕒 2020/07/08 17:21

**テスト結果に含まれてはいけない結果が入った状態でレビュー依頼が投稿、もしくは完了したサイクルがあります！**

アーカイブ日時: 2020/07/09 10:15 (QualityForward)

テストケースA-1.0 2回目テストには以下のテスト結果が含まれていました。

- FAIL

🏠 [アーカイブから戻す](#)